

熊坂賢次研究室卒業論文

2000 年の男性タレント認知構造分析
ーネットワークリサーチとデータマイニングの適用ー

慶應義塾大学 環境情報学部 4 年

学籍番号 70140805

伊藤 江里

目次

第1章 背景と目的……………2

第2章 調査システムとデータの概要……………6

2-1.調査システムについて……………7

2-1-1.iMap とは

2-1-2.iMap への登録方法

2-1-3.アイテムとは

2-1-4.トピックとは

2-1-5.自分史の作成方法

2-1-6.自分史の見方

2-1-7.社会分析への展開

2-2.回答データについて……………13

2-2-1.調査対象(ユーザ)

2-2-2.分析対象(アイテム)

第3章 分析方法……………15

3-1.データクリーニング……………16

3-1-1.補正前の順位

3-1-2.補正前の SUBGENRE 平均グラフ

3-1-3. SUBGENRE 標準偏差グラフ

3-1-4.信頼区間の過程

3-1-5.補正後の SUBGERNE 平均グラフ

3-1-6.SUBGENRE 補正後の順位

3-1-7.他ジャンルとの重複アイテム補正

3-1-8.世代間の平均支持度による補正.

3-1-9.補正後の順位

3-1-10.補正後のユーザ

3-2.レイヤー分割……………25

3-2-1.実数分布

3-2-2.対数分布

3-2-3.平方根分布

3-2-4.最適レイヤー分割方法の選択

3-2-5.アイテムの一覧

3-3.クラスタリング……………37

3-3-1.アイテム間得点の算出方法

3-3-2.単純得点によるクラスタリング

3-4.クラスターツリー作成……………39

3-4-1.相関ルール

- 3-4-2.信頼度差と信頼度比
- 3-4-3.レイヤー間の接続方法

第4章 結果と解釈……………41

4-1. アイテム間得点によるクラスタリング……………42

- 4-1-1.レイヤー1
- 4-1-2.レイヤー2
- 4-1-3.レイヤー3
- 4-1-4.レイヤー4

4-2. 完成したクラスターとその説明……………48

- 4-2-1.レイヤー1
- 4-2-2.レイヤー2
- 4-2-3.レイヤー3
- 4-2-4.レイヤー4

4-3. クラスターツリー分析……………55

- 4-3-1.領域 1「明石家さんま」
- 4-3-2.領域 2「福山雅治」
- 4-3-3.領域 3「SMAP」
- 4-3-4.領域 4「江口洋介」
- 4-3-5.領域 5「Kinki Kids」
- 4-3-6.領域 6「ビートたけし」

第5章 総括と展望……………68

謝辞……………70

参考文献・参考資料……………71

第 1 章

背景と目的

第1章 背景と目的

世の中には様々なランキングが溢れている。しかしその内容は、大きく分けるとふたつしかない。専門家など人物による主観的なランキングか、データを集計した客観的なランキングか、である。

主観的なランキングは作成者の解釈が新しいものや面白いものが多い。例えば、ランキングではないが『EMOTIONAL PROGRAM BIBLEー市場分析、ブランド開発のためのマーケティング・メソッドー』『ブランドの達人』と言った書籍がそれにあてはまるだろう。人が「～系」と言ったように系統付けられる様は、確かに読み物としては面白く、切り口は美しいが、そこにあるのは自明性であり、発見は少ない。主観的なランキングのデメリットはそこに存在する。もし仮に発見があったとしても、その裏づけがない限り、それはただの感想にすぎず、説得力を持たない。

客観的なランキングは確実性と説得力を持っている点で優れている。オリコンのCD売り上げランキングやタレントの好感度調査の結果は常に明確であり、選択の指標などに適している。『DATA WATCH』も客観的なランキングを扱った雑誌であり、テーマやアンケートの選択肢などは新鮮で興味深いが、順位付け以外の結果はなく、どこか閉鎖的で無味乾燥であることは否めない。

もし客観的なデータを主観的な解釈で読み解くことができれば、両者のデメリットを補完しあい、メリットを最大限引き出した“間主観的”な分析ができるのではないか。“間主観的”とは熊坂賢次による造語であるが、今最も重要な視点であると私は考える。何かを想像することとデータを整理することという今まで分離していたプロセスが同時に行われれば、無意味な集合は可能性に、自明性は説得力に変化するはずである。

またこれだけ人々の嗜好が多様化・複雑化する中で、単に1位からの順位付けを行ったところで、現象や傾向は読み取れない。必要なのは縦方向の形式的なランキングではなく、全ての繋がり及び関係性を可視化した広がりのあるマッピングである。

“間主観的”なデータ分析の対象として選択したのは「男性タレント」である。テレビを取り巻く環境が大きく変わりつつある今、同じく出演者であるタレントの存在そのものも変化している。俳優や芸人というくくりでは説明できないようなタレントが当たり前存在し、かつては確かに存在したタレントの中での差別化の枠は取り払われつつある。2000年当時の男性タレントの認知構造を分析し、過去の構造をあらためて確認することで、現在起こっている変化を解明する。

第 2 章

調査システムとデータの概要

- 2-1. 調査システムについて
- 2-2. 回答データについて

第2章 調査システムとデータの概要

2-1. 調査システムについて

本論に用いたデータは下記の調査システム「iMap.gr.jp」によって取得したものである。

2-1-1. iMap とは

iMap.gr.jp (通称 iMap) は、慶應義塾大学環境情報学部熊坂賢次研究室の開発した社会調査サイトである。このサイトは、現代日本のライフスタイル構造を計量的に把握することを目指して開発された。

その背景には、高度消費化によって極度に細分化の進んだ日本文化の存在が挙げられる。現代においてその構造を捉えるためには、映画・音楽・マンガ・ゲームといった一般名詞レベルのジャンル選好データだけでは、もはや不十分である。したがって個別具体的な固有名詞、それも有名性の低い、マニアックなものまで調査項目に盛り込むことが要求された。さらにそれらのランキングだけでなく、それを支持する人々の関連性から社会分析を行うために、膨大な被験者（調査協力者、サンプル）数の確保にも迫られた。それらの実現は、質問紙調査を基本とする従来型社会調査法では、回答・集計の両コスト面からして不可能である。これに替わる方法として最適なのはインターネットを利用した調査法だといえよう。このような背景から筆者の属する熊坂研究室において iMap が開発されたのである。

iMap の調査期間は、2000 年 10 月から 2004 年 6 月までであり、延べ 16,030 名の登録ユーザを数えた¹。ただし多くの回答が寄せられたのは開設当初のキャンペーン時の 3 ヶ月間であり²、本論に「2000 年」という限定を加えたのはそのためである。

¹ 回答トランザクションの総数は 590 万件である。

² 2000 年 10 月～12 月。懸賞を用意した。

図.2-1

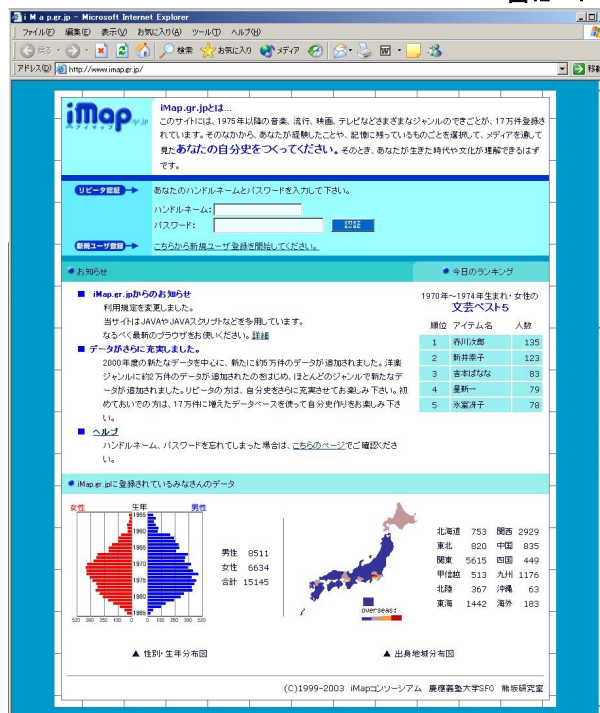
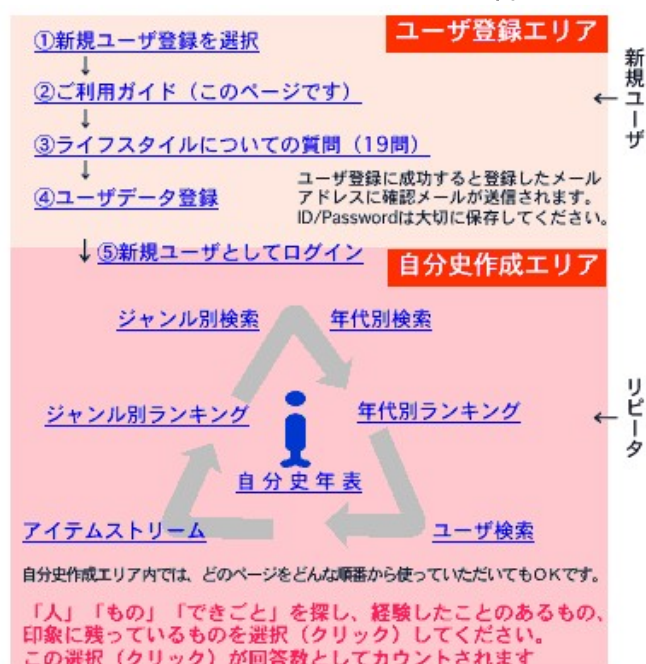


図.2-2



2-1-2. iMap への登録方法

iMap でのユーザ登録方法と、登録後の回答手順について説明する。右図にある通り、社会調査サイト iMap は、「ユーザ登録エリア」と「自分史作成エリア」とに大別される。それぞれのエリアの持つ特性は以下の通りである。

「ユーザ登録エリア」は、従来の社会調査においても頻繁に用いられてきた、客観的属性としての「性別」「年齢」「地域」や、主観的属性としての「生活意識」「価値意識」などを尋ねるエリアである。すべての設問に答えることが必須の条件とされるという意味において、従来型社会調査と共通するようなエリアだといえる。全質問に答え終わると、ユーザは「ハンドルネーム」と「パスワード」を与えられる。これにより、それまで答えた情報を保持しながら、何度でもログイン/ログアウトすることが可能となる。

本論では極力客観的な分析を目指した。そのため、基本的に用いた属性は、このうち以下の入力フォームに示された、「生年」「性別」という2つの情報である。

図.2-3



他方「自分史作成エリア」は、後述する iMap の独自項目「アイテム」や「トピック」について回答するエリアである。iMap が「自分史作成サイト」と呼ばれる所以もここにあり、これらアイテムやトピックによって各ユーザは自分の歴史を振り返ることになるのである。

2-1-3. アイテムとは

iMap における「アイテム」は、『ディスタクシオン』(1979)において「生活様式空間」を構成しているとされた、「趣味」の概念に限りなく近い。つまり「文化的・社会的事象」であり、社会的に認知されているレベルの人・物・出来事を表象した、固有名詞である。

アイテムには、映画作品もあれば、ニュースで目にする政治事件もあり、小説もあれば歌手もある。「文化的・社会的重要な事象」に限られるとはいっても、その範囲はむしろ森羅万象に近い。しかしそれではあまりにも曖昧模糊としてしまうため、アイテムに「ジャンル」という上位概念を設定し、ユーザが答えたり、フィードバック結果を見たりしやすいように配慮した。右の表がその全 34 ジャンルである³。当然、単一のジャンルに帰属させることが難しいア

表.2-1

GENRE ID	ジャンル名	ITEM数	TOPIC数
1	邦 楽	1,260	8,474
2	洋 楽	616	2,998
3	文 芸	577	12,634
4	マ ン ガ	862	3,914
5	知 識 ・ 芸 術	1,665	14,331
6	邦 画	533	754
7	洋 画	905	1,149
8	飲 食 も の	444	378
9	グ ッ ズ	1,458	1,930
10	自 動 車	409	0
11	情 報 メ デ ィ ア	290	502
12	雑 誌	744	0
13	ラ ジ オ	482	936
14	野 球	412	3,044
15	サ ッ カ ー	506	3,442
16	格 闘 技	197	833
17	ス ポ ー ツ 他	599	1,834
18	男 性 タ レ ン ト	671	9,625
19	女 性 タ レ ン ト	587	6,425
20	海 外 男 優	385	6,066
21	海 外 女 優	273	2,877
22	T V ド ラ マ	465	979
23	T V ア ニ メ	743	1,667
24	T V バ ラ エ テ ィ	394	578
25	都 市 ・ 空 間	769	370
26	政 治 ・ 経 済	318	2,269
27	社 会 ・ 世 相	564	3,754
28	ビ デ オ ア ニ メ	195	208
29	ゲ ー ム	771	1,631
30	服 飾 ブ ラ ン ド	358	0
31	服 飾 ス タ イ ル	158	158
32	流 行 語	418	418
33	キ ャ ラ ク タ ー	348	105
34	海 外 旅 行	2,613	0
合 計		21,989	94,283

³ 2002 年に改編があり、35 ジャンルとなった。

(2000/12 現在)

アイテムも存在する⁴。これらについては複数のジャンルに属させることでその解決が図られている。

本論の分析対象はこの「アイテム」である。

2-1-4. トピックとは

本論の直接的な分析対象ではないが、iMap においてアイテム同様、重要な項目である「トピック」についても説明する。

例えば「あなたの中で明石家さんまが記憶に残っているのは、何年から何年までですか？」などと尋ねられて、即座に思い出せる人は少ないであろうし、このような記憶を時間的範囲として認知している人もいないだろう。ましてや、アイテム一つ一つにこのような設問を用意されたのでは、誰もが判断に窮するに違いない。このとき、当該アイテムと関連した年代自体も項目としてセットすることが要求される。たとえば、「明石家さんま『オレたちひょうきん族(フジ)出演』(1981)」や「明石家さんま『大竹しのぶと離婚(1992)』』という様にである。このように年代属性を持ち、それぞれのアイテムに時間変数を加える事象をサイト iMap 内では「トピック」と呼んでいる。

2-1-5. 自分史の作成方法

従来型社会調査と違い、iMap ではすべてのアイテムやトピックについて回答する必要はない。加えて、その答え方についても、様々な順序が用意されている。一つ目は、「アイテム」から回答していく方法であり、これは「ジャンル別検索」と呼ばれる。

①「ジャンル別検索」を選択する。

②34「ジャンル」の中から1つの「ジャンル」を選択する。

③「サブジャンル」⁵を選択する。

④「アイテム」を選択する。

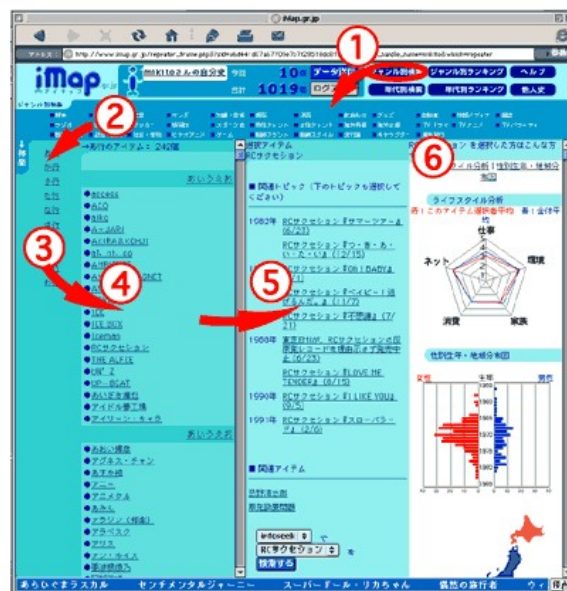
⑤その「アイテム」の「トピック」を選択する。

⑥その「アイテム」を選択した人たちの集計データが表示される。

なお、④については⑤に行かずに他の「アイテム」

を次々に選択していくことも可能であり、⑤においては「関連アイテム」⁶が表示され、それらを選択することも可能である。

図.2-4



⁴ 本論の「男性タレント」については、歌手としても有名で「邦楽」にも登録されるべきアイテムが多い。

⁵ 50音の一つ。

⁶ 例えば音楽バンドであれば、そのメンバーなどが「関連アイテム」として表示される。

二つ目の方法は「トピック」から回答していく方法であり、それは「年代別検索」と呼ばれる。

①「年代別検索」を選択する。

図.2-5

②1975 年～1999 年の中から 1 つの「年代」を選択する。

③「ジャンル」を選択する。

④「トピック」を選択する。

⑤その「トピック」を持つ「アイテム」を選択する。

⑥その「トピック」を選択した人たちの集計データが表示される。

なお、④については⑤に行かずに他の「トピック」を次々に選択していくことも可能であり、⑤においては「関連トピック」⁷も選択可能となる。

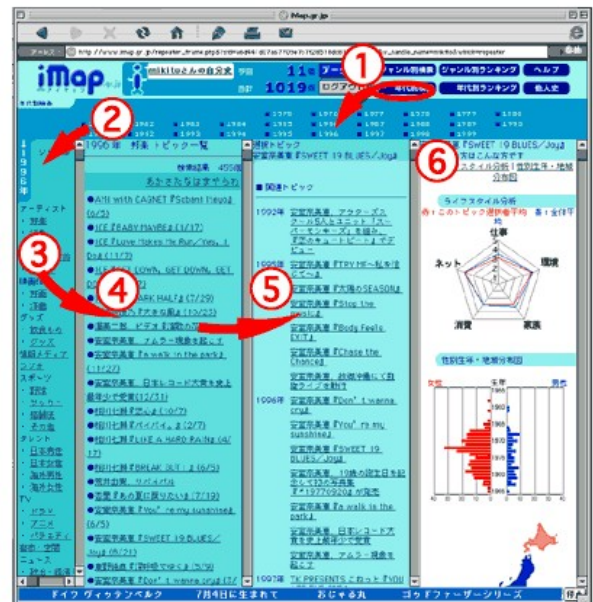


図.2-6

そして第三の方法は、「間主観性」を重視した選択方法、すなわち、他人のデータを見ることで自らの「記憶」が喚起され、そのことによってアイテムやトピックを選択していく方法である。「アイテムストリーム」、「ユーザ検索」などがこれに相当する。

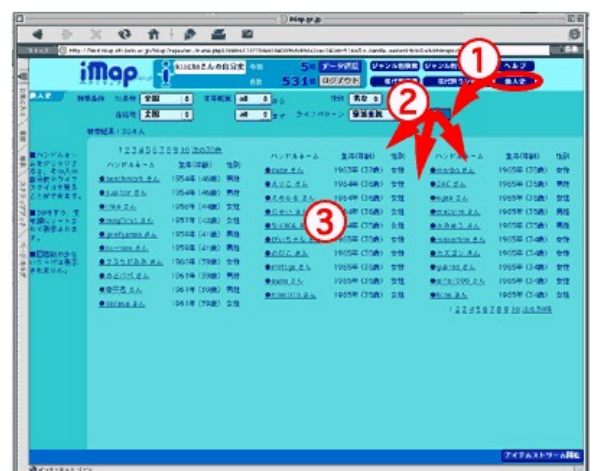
「アイテムストリーム」とは、画面の下方に流れている、他人が答えた「アイテム」のことであり、それらをクリックすることで回答することも可能である。

「ユーザ検索」とは、他人史、つまり、他人の答えたトピックデータの中から、自分も該当するトピックを選択する方法である。

①「他人史」を選択する。

②検索したいユーザの条件を選択する。

③「他人史」の見たいうーザを選択する。



⁷ その「トピック」を持つ「アイテム」の、他の「トピック」。

2-1-6. 自分史の見方

iMap という「自分史年表」とは、正確には「個人の歴史年表」ではない。アイテムやトピックというメディアを介して個人の歴史を表現したものである。

それらの回答情報を基に、行に「年代」、列に「ジャンル」をとって表にしたものが「カルチャーマトリクス」である。これは、回答率によって色分けされており、自分がどのジャンルに対して関心が高く、また、どの年代に強い記憶の集合があるかを明示化したものである。iMap を「自分地図」と直訳する際、それと最も符合するもの、それがこのカルチャーマトリクスである。

図.2-7

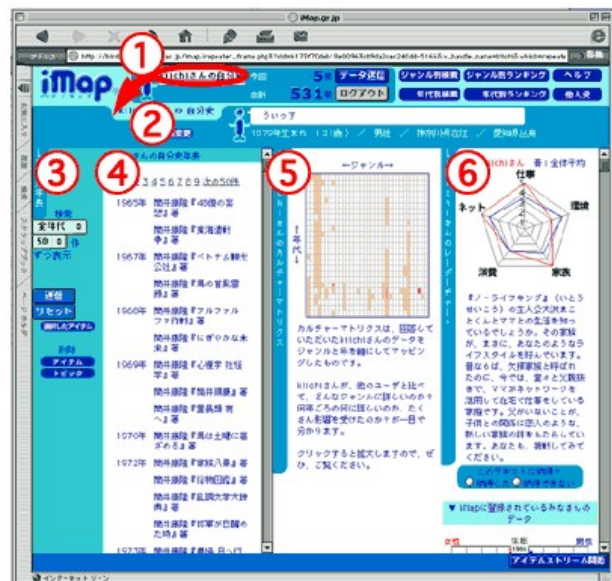


「自分史年表」と「カルチャーマトリクス」とはセットであり、iMap の中では次のような手順を踏んで表示することが可能である。

図.2-8

- ①「自分史」を選択する。
- ②自分の「基本属性」が表示される。
- ③「自分史年表」の表示条件を選択する。
- ④「自分史年表」が表示される。
- ⑤「カルチャーマトリクス」が表示される。
- ⑥「ライフスタイル分析」が表示される。

カルチャーマトリクスの各セルをクリックすれば、年代とジャンルで絞り込まれたそのセル内のトピック一覧を見ることができる。ちなみに⑥は先に述べた主観的属性から「自立」「役割」「消費」「ネット」「環境」の価値意識の変数を合成し、それを基に作成した「レーダーチャート」と、その解説文(熊坂賢次作成)である。



2-1-7. 社会分析への展開

上述のように、カルチャーマトリクスは個人分析する際に重要な情報を提供してくれる。これを1ユーザの情報に限定することなく全ユーザの情報と重ね合わせると、「集団的カルチャーマトリクス」として文化的・社会的地図が描けるに違いない。そしてそれは、「自分史年表」との対比で述べるなら、「歴史」そのものを語りうる「文化・社会年表」となるはずである。

その文化・社会年表を、「年代」(横軸)と「ジャンル」(縦軸)それぞれの集積で序列化したものが、

「ジャンル別ランキング」と「年代別ランキング」である。ジャンル別ランキングは特定ジャンルにおけるアイテムのラインキング、年代別ランキングは特定年におけるトピックのランキングを意味する。この 2 つは、決して歴史の教科書に載っているような固定されたものではなく、日々変動するものである。iMap の調査は 2000 年までの事象に対する、2000 年時点のユーザの回答をメインとしている。そのため、そこで得られたデータも、可変動的な文化的・社会的構造における 2000 年時点での切り取られた構造となる点に留意されたい。

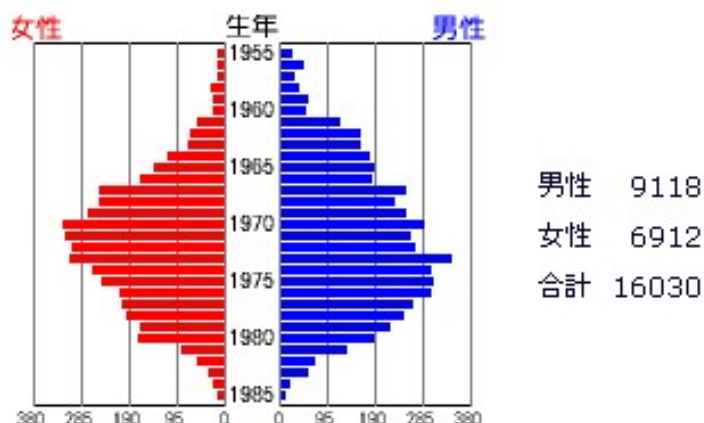
2000 年時に iMap のジャンル「男性タレント」のアイテムについて回答したユーザの回答情報を基に、その当時の男性タレントの社会的認知構造を可視化し、分析するのが本論の主題である。

2-2. 回答データについて

ここでは iMap 全体の回答データについて述べる。

2-2-1. 調査対象（ユーザ）

iMap は無作為抽出を行っておらず、インターネット利用者ならば誰でも自由に参加できる。そのため、回答者の生年・性別分布は以下のようなになる。図からも明らかなように高齢者や若年層の回答者はほとんどなく、多くは生年 1965 年～1980 年の、2000 年時点で 20 歳～35 歳⁸に集中している。だが、男女比に関しては概ね格差がないと言えるだろう。



調査後に集計したところ、総ユーザ数は 16,030 名であり、男女構成は男性 9,118 名（56.9%）、女性 6,912 名（43.1%）であった。ただし先述の通り、iMap の回答データが安定しているのはキャンペーン期間中の 3 ヶ月間である。よってその間の登録ユーザだけに限定したい。その場合の総ユーザ数は 10,402 名、男女構成は男性 5,713 名（54.9%）、女性 4,689 名（45.1%）となり、さらに男女格差が縮小する。

2-2-2. 分析対象（アイテム）

調査終了時の総アイテム数は 29,944 アイテムであるが、これも同様にキャンペーン期間に限定すると 21,031 アイテムとなる⁹。

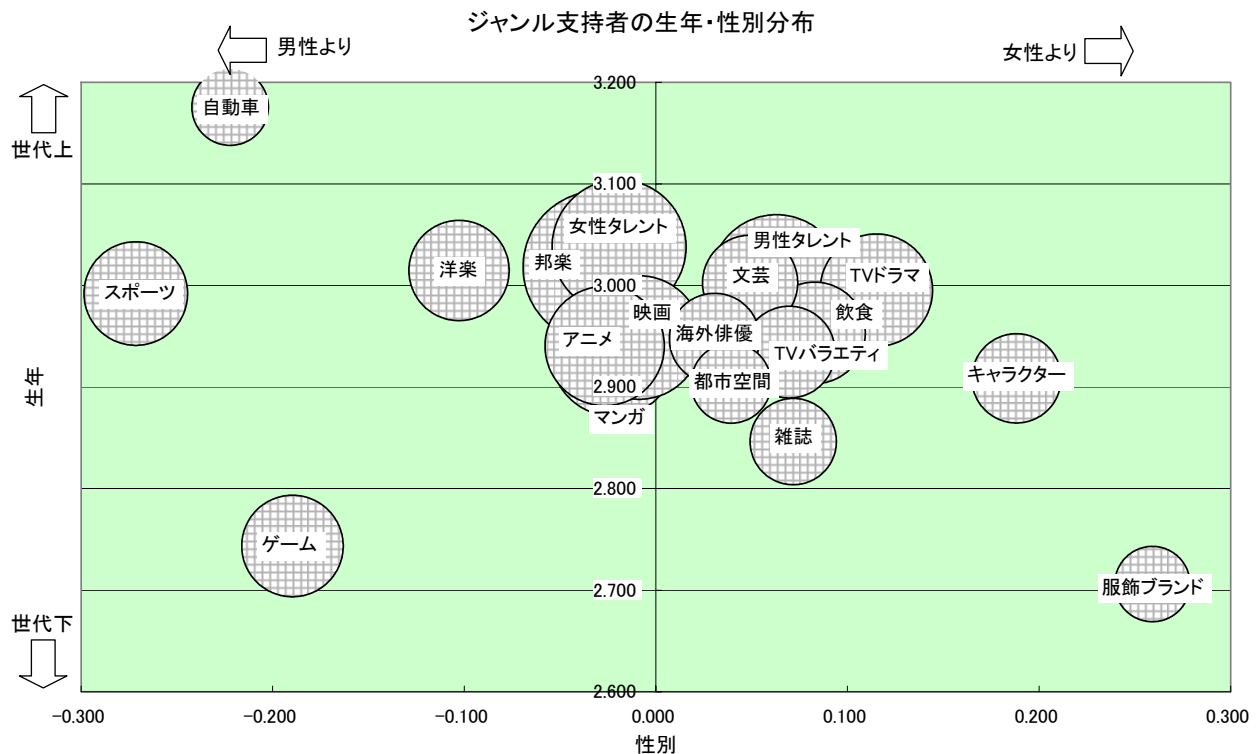
前節で男女比に遜色はないと記述したが、それを現象面から証明すべく、以下の図を作成した。これはユーザ数が均等になるように世代を 5 つに区切り¹⁰、男性を-1、女性を+1 として、各ジャンルが支持者の年齢・性別の違いによってどのように配置されるかを示したものである。

⁸ 現在では 25 歳～40 歳。

⁹ 前掲のジャンル別アイテムの合計と値が異なるのは、複数のジャンルにまたがるアイテムをグループ化しているため。

¹⁰ 第 1 世代＝1954 年～1966 年、第 2 世代＝1967 年～1970 年、第 3 世代＝1971 年～1974 年、第 4 世代＝1975 年～1978 年、第 5 世代＝1979 年～1990 年。ちなみに iMap では 1954 年以前生まれのユーザはすべて 1954 年として置き換えられる。

図.2-10



性別について検証する前に、まず世代について検証してみる。相対的な指数であるが、概ね納得できる結果ではあるまいか。収入を得ていない学生などでは自動車を購入することは難しいため、ジャンル「自動車」の配置はかなり上方¹¹である。他方、1980年代半ばに勃興した新ジャンルであるテレビゲームは当然若い世代に支持されるため、「ゲーム」はかなり下方に位置するし、ブランド人気が高まったのがバブル期、多様化が進んだのがその崩壊後であったことを思えば、ジャンル「服飾ブランド」の支持者が相対的に若いことも説得的である。このように回答数の偏りが著しい世代についても相対的に見れば iMap は現状を正しく切り取っていると判断できる。

次に本題の性別についても検証を行いたい。「自動車」「スポーツ」「ゲーム」が男性に支持され、「キャラクター」や「服飾ブランド」が女性に支持されているのは自明である。また「洋楽」も男性支持が比較的強いジャンルであり、テレビは女性のメディアと言われる点からも「TVドラマ」や「TVバラエティ」が女性寄りである点も納得できよう。ハリウッドスターへの憧れも女性の方が強い点は容易に想像されるし、男性タレントと女性タレントを比較すれば、男性はより「女性タレント」に傾倒し、女性はその逆であることも自然であり、これらの現状的な裏づけからして、世代の偏りはかなり致命的だが、男女比については補正せずともほとんど支障がないと断言してもよいと思われる。

補足として、下図の散布図の円の大きさは支持者の人数を反映している。これもより普遍的な「邦楽」で最も多く、「女性タレント」「男性タレント」「映画」「マンガ」「アニメ」と続く。この点にも、iMap のデータが文化的状況を正しく写し取った結果である根拠が示されている。

¹¹ 世代が上の人たちに支持されている。

第 3 章

分析方法

- 3-1. データクリーニング
- 3-2. レイヤー分割
- 3-3. クラスタリング
- 3-4. クラスターツリー作成

第3章 分析方法

本章は、実証分析の最重要課題とも言えるデータ分析に関する章である。次章の解釈はすべてここで提出されたデータに基づくため、本章でのデータハンドリングが本論全体の成功の可否を握っていると言っても過言ではない。iMap のデータは従来型の紙媒体で得られたデータとは本質的に異なるため、独自の解析作業を必要とする。参考にしたのは小野田[2004]の「認知構造分析モデル」であり、それは以下の5プロセスから成る。

- 1. データクリーニング
ノイズが多い欠点をもつインターネット社会調査の限界を補う、統計的データ補正
- 2. レイヤー分割
認知度的類似性ではなく、本質的特性を分析するための階層生成
- 3. クラスタリング
有機的な関係性を再現する、アイテム間得点を利用した次元の縮約
- 4. クラスタツリー
相関ルールを利用した、レイヤーの異なるクラスター同士の結合による全体構造の可視化
- 5. メディアマップ
自己組織化マップ(SOM)を利用した、解釈的領域規定と意外性の発見

本章はこのプロセスに準じて論述する。

表.3-1

3-1. データクリーニング

iMap によって得られたデータが抱える根本的な問題として、「序列効果」「見せかけの認知度」がある。

「序列効果」とはアイテムの表示順に伴うバイアスを意味する。全回答を強要しない iMap ではユーザがすべてのアイテムに目を通すことは期待できない。そのため回答は特定箇所へ偏る。iMap は50音順にアイテムを序列化しているため、50音の冒頭箇所「あいう…」で始まるアイテムに回答が集中する傾向にある。

他方「見せかけの認知度」とはサンプリング、特に10代・20代・30代…といった世代別層化抽出を行わないことに起因する問題である。iMap ではユーザの世代属性に偏重があるため、母体となるユーザ比率から回答数が強い影響を受ける。

それら全ジャンルに共通する問題に加え、男性タレントでは「複数ジャンルにおけるアイテム重複」という問題もある。これら

RANK	ITEM_NAME	カウント
1	SMAP	1582
2	Kinki Kids	1521
3	織田裕二	1471
4	イモ欽トリオ	1422
5	明石家さんま	1365
6	福山雅治	1276
7	郷ひろみ	1168
8	江口洋介	1162
9	木村拓哉	1143
10	いしだ壱成	1117
11	及川光博	1110
12	近藤真彦	1077
13	嘉門達夫	1062
14	泉谷しげる	1036
15	藤井フミヤ	1002
16	とんねるず	955
17	玉置浩二	944
18	石原裕次郎	936
19	ザ・ドリフターズ	936
20	稲垣吾郎	908
21	猿岩石	888
22	嵐	879
23	反町隆史	838
24	香取慎吾	834
25	沢田研二	828
26	袁川翔	818
27	内村光良	808
28	長瀬剛	800
29	沖田浩之	800
30	伊武雅刀	784

3 つのバイアスを補正するために、以下のデータクリーニングを行った。分析・解釈の精度はすべてこの成果に依存する。そのため、以下のプロセス入念に行った。

3-1-1.補正前の順位

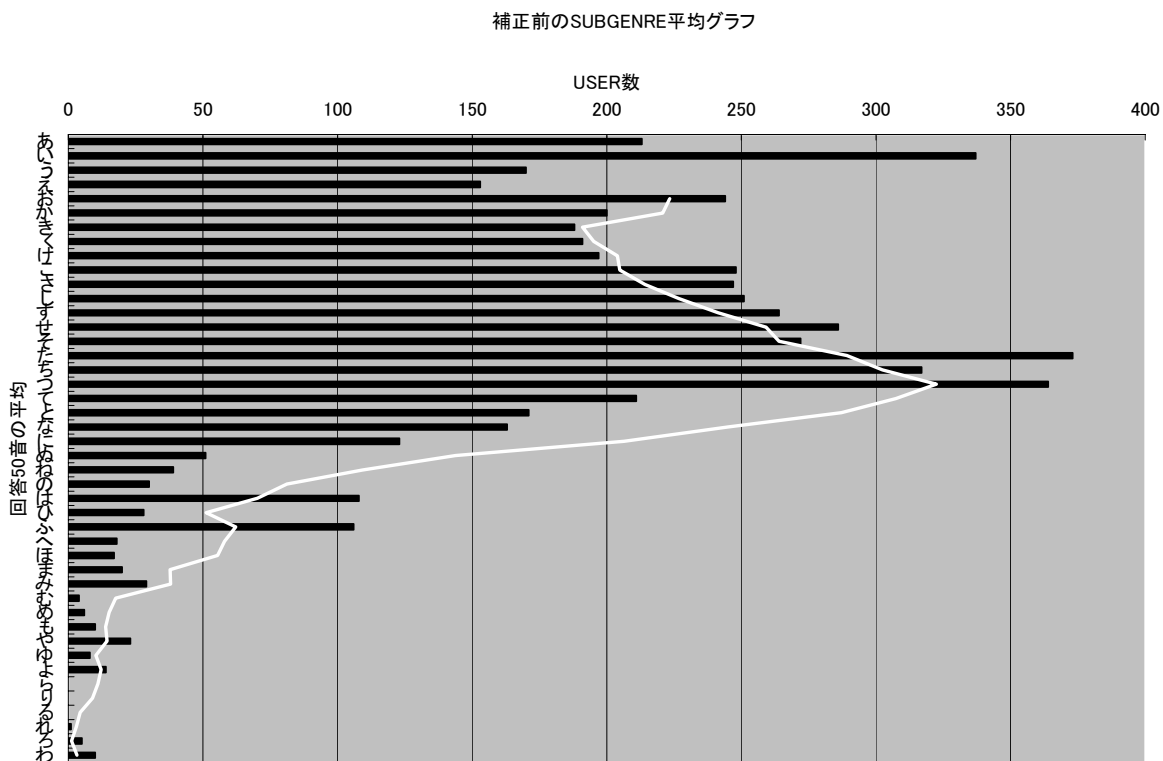
データクリーニングを行う前のアイテムランキングは右の通りである。

このランキングは純粋にユーザのクリック数により導き出されたものである。上位 30 位だけでもあ行のアイテムが 13 あることから、序列効果の影響を強く受けていることがわかる。よって、序列効果を軽減するためのデータクリーニングを行わなくてはならない。

3-1-2.補正前の SUBGENRE 平均グラフ

データクリーニングを行う前のユーザごとの回答アイテムの 50 音分布グラフが以下である。なお白線は 5 区間の移動平均である。(以下の図も同様)

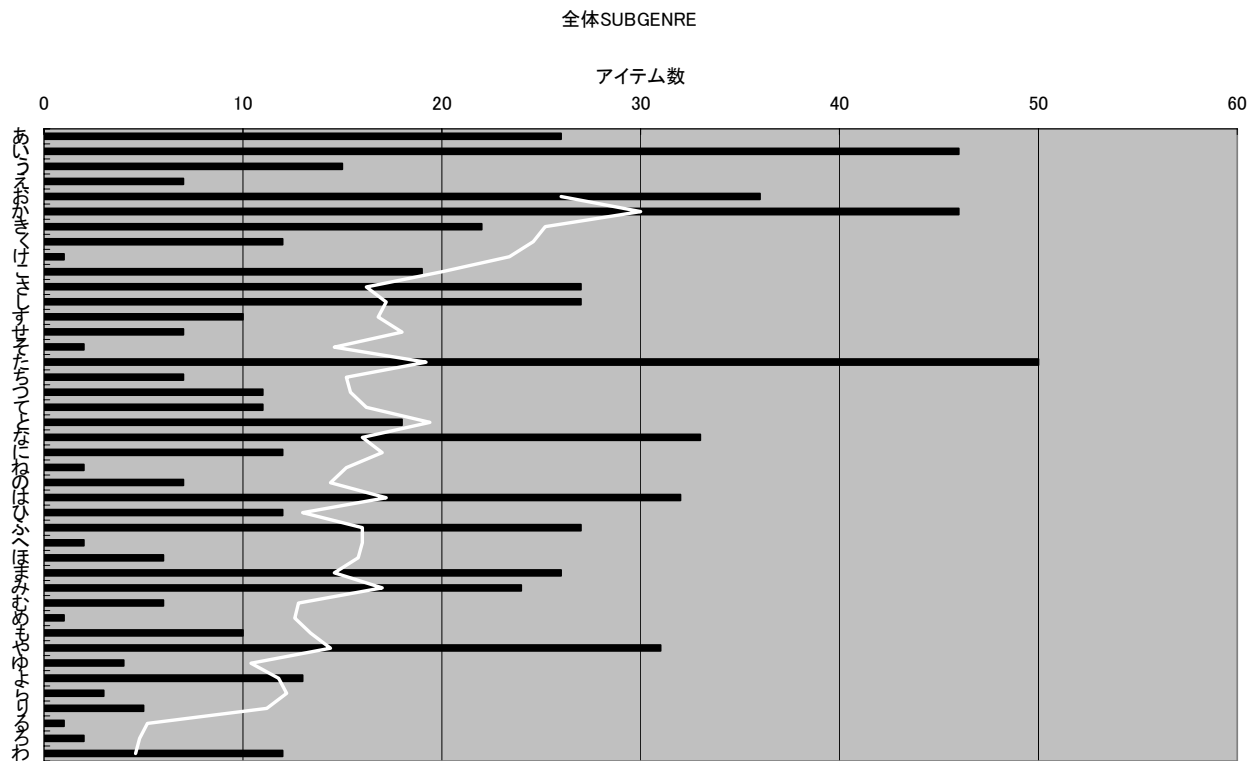
図.3-1



あ行からた行にかけての平均が非常に高くなっており、回答の偏りが見て取れる。比較として、iMap のジャンル「男性タレント」に登録されているアイテムの 50 音ランキングのグラフを作成した。(図 3-2) あ行が多いことを除けば概ねばらついていると言えるが、いくつか例外もある。「た」で始まるアイテム自体が元から多いため、ユーザごとの平均が高くなっているとわかる。また、「つ」で始まるアイテ

ムについては、数自体は 11 と少ないが、「つんく」や「筒井道隆」「堤真一」と言った認知度が高いアイテムが多いため平均値が上がっていると言える。

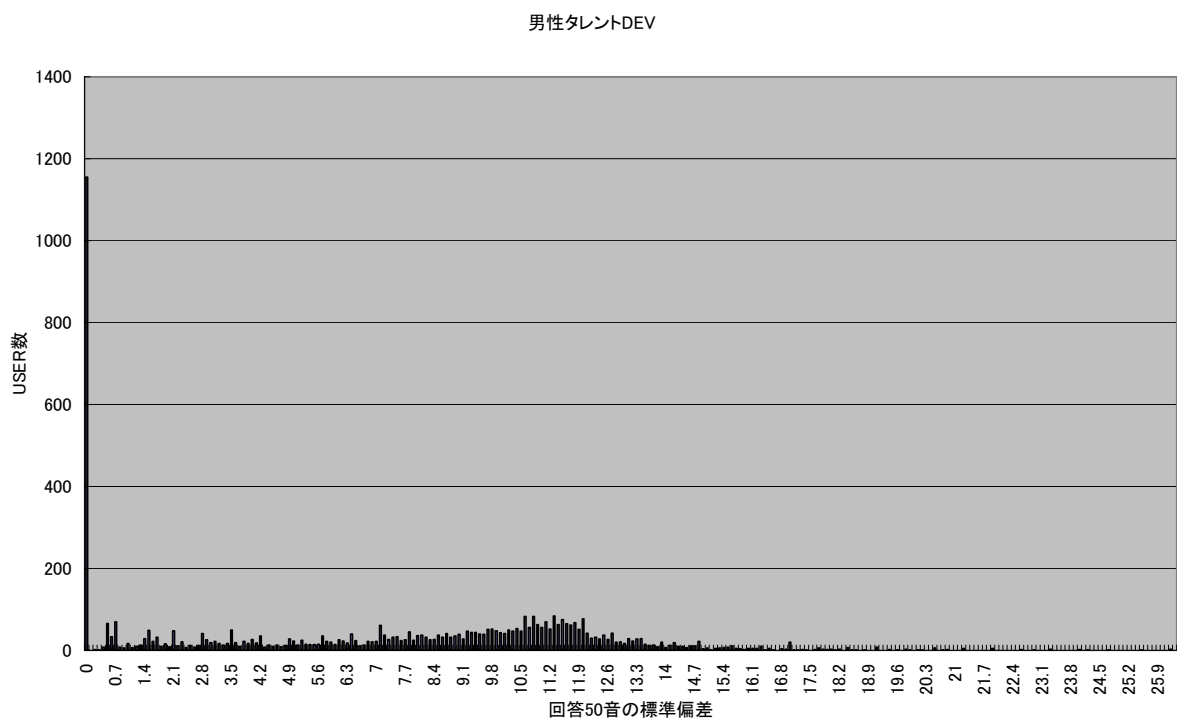
図.3-2



3-1-3.SUBGENRE 標準偏差グラフ

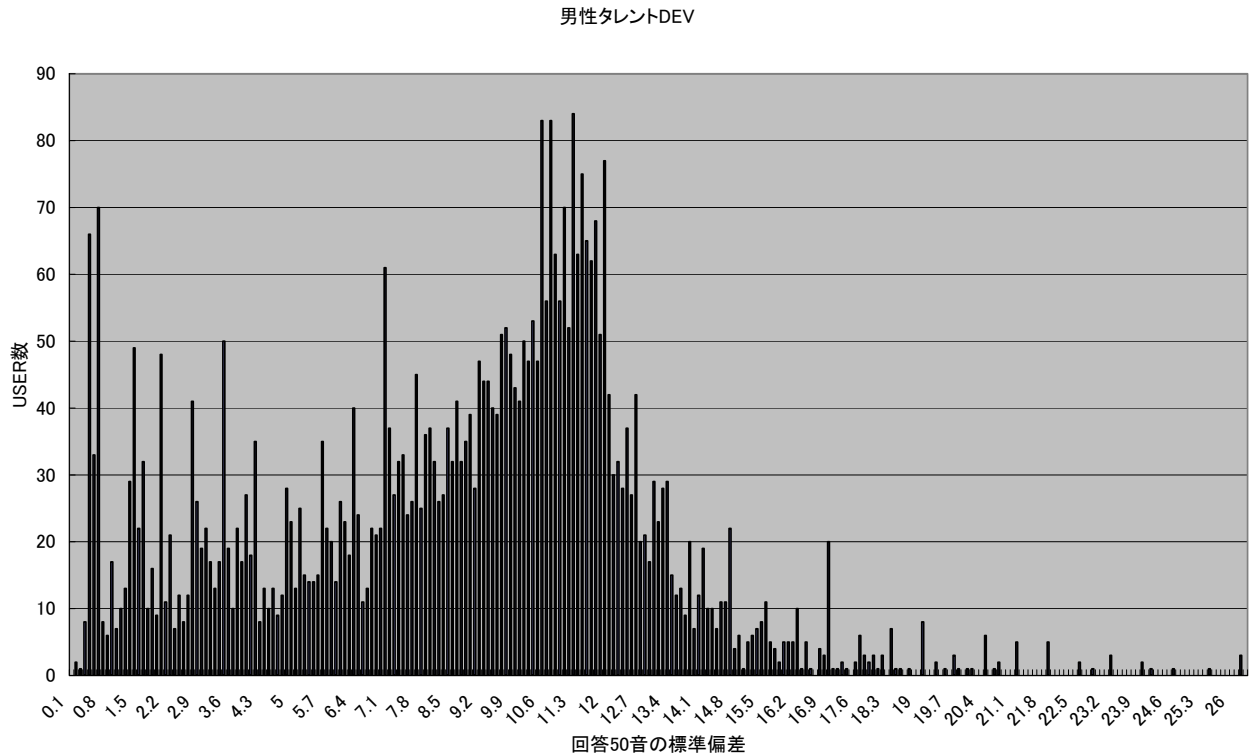
次に、回答 50 音の標準偏差をグラフ化した。

図.3-3



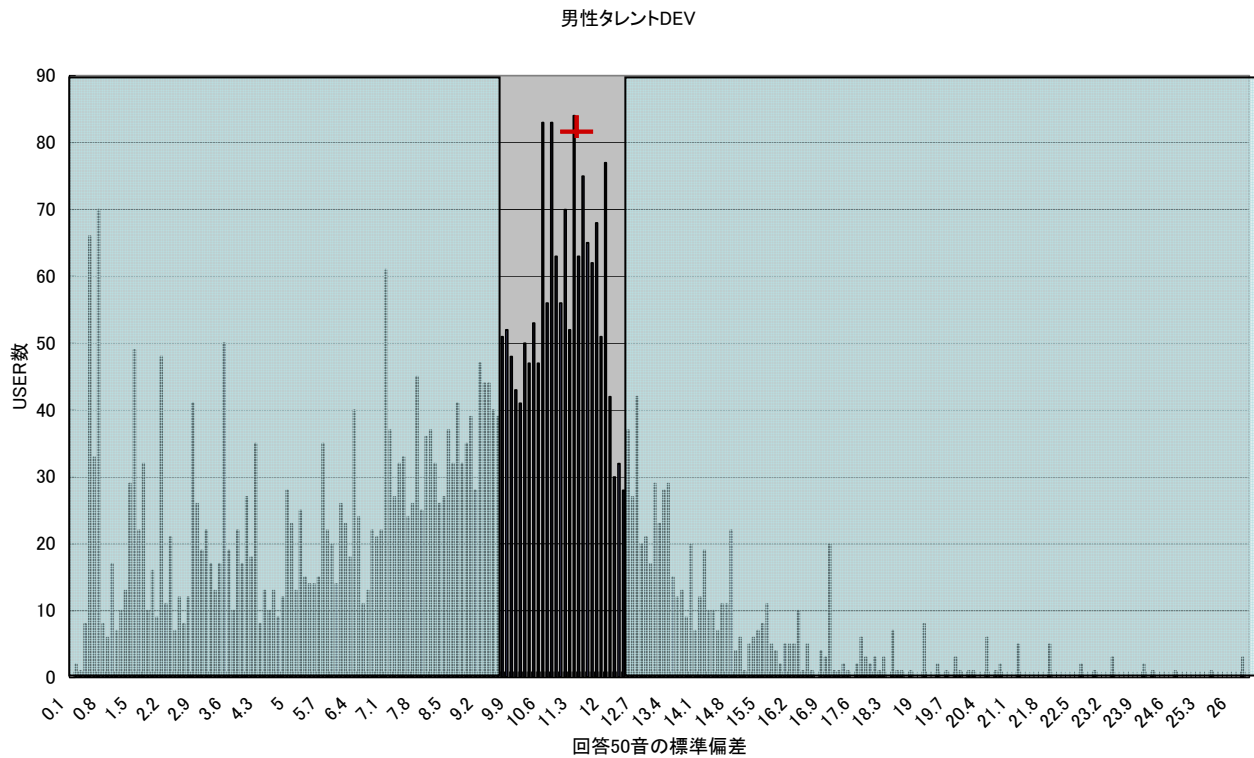
標準偏差が0のユーザつまりは一つの音しか答えていないユーザが1155名存在し、偏りの原因となっていることがわかる。よって、標準偏差=0のユーザを削除するのは当然である。そのクリーニングを施し、新たにグラフ化したものが以下である。

図.3-4



標準偏差=0を削除するとユーザは4,555名になり、グラフはかなり正規分布に近似した。しかし他のジャンルと比較するとまだ前半部分に強度の偏りが残存する。これは「邦楽」などにも共通する特徴であり、誰もが答えやすいジャンルとは、ライトユーザ¹²の多いジャンルでもあるためだ。したがって他ジャンルよりも厳しいクリーニングを行う必要がある。

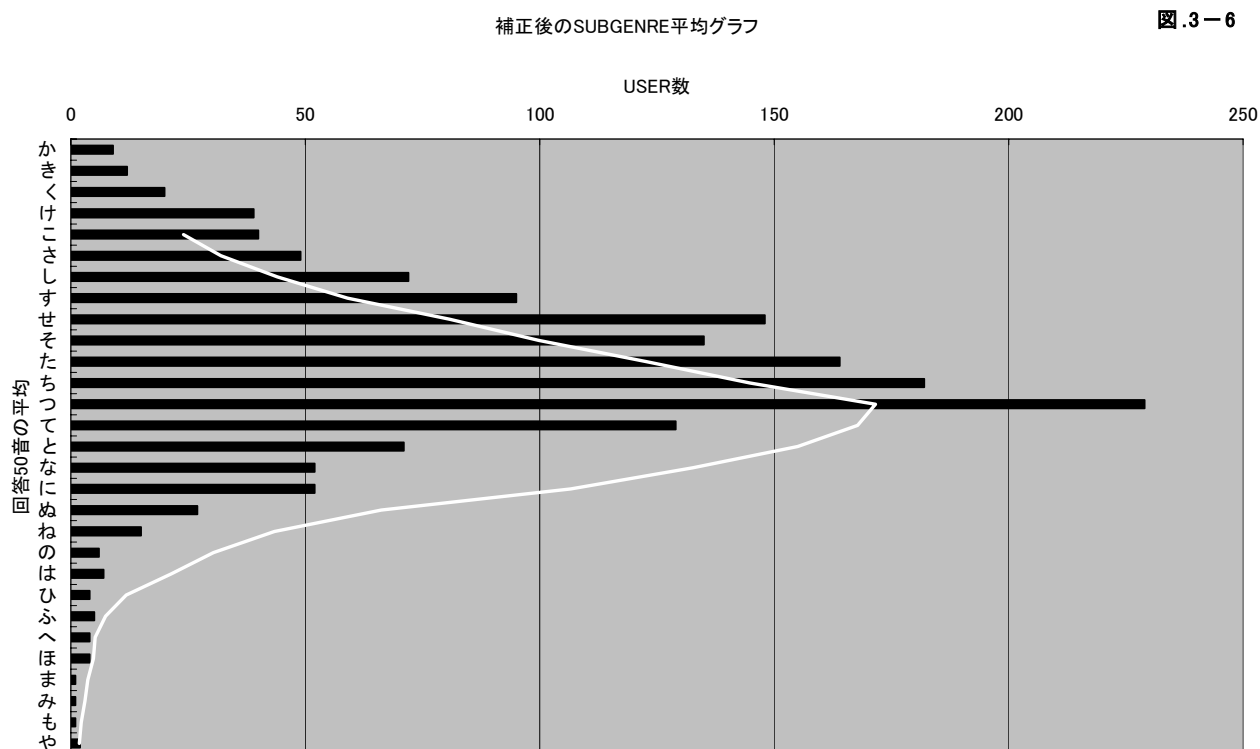
¹² 数問回答ただけで回答をやめてしまうユーザ。



このグラフの最頻値は 11.3 であり、推定最頻値も同じく 11.3 であると仮定した(上図の+地点)。この推定最頻値を目安に、棄却域を確定した。ただし、データのバイアスが強いと、通常ジャンルでは両側 50%片側 25%のところ、両側 75%片側 37.5%のより強度なクリーニングを施した。この時の信頼区間は、標準偏差が 9.9 以上 12.7 以下であった。

3-1-5. 補正後の SUBGERNE 平均グラフ

以上のデータクリーニングを行った結果、SUBGERNE 平均グラフは以下の通りになった。



補正前に目立ったあ行への偏りがなくなり、グラフは正規分布に近似した。補正前にも高かった「つ」の平均は変わらずに高く、認知度の高いアイテムが集まっていると再確認できた。データクリーニングを経て回答の偏ったユーザは削除され、ユーザ数は 1,575 名になった。

3-1-6. SUBGENRE 補正後の順位

序列効果補正後のアイテムランキング上位 30 位では、あ行のアイテムが 13 から 8 に減少し、全体としても順位を明らかに下げている。そして全体としてアイテム名の 50 音がばらついてきた。補正前も 1 位であった SMAP は依然順位を変えないが、補正前は 6 位であった福山雅治が 2 位に急浮上した。

表.3-2

RANK	ITEM_NAME	カウント
1	SMAP	773
2	福山雅治	754
3	Kinki Kids	703
4	森井フミヤ	627
5	明石家さんま	625
6	織田裕二	594
7	とんねるず	569
8	木村拓哉	565
9	郷ひろみ	548
10	ザ・ドリフターズ	538
11	玉置浩二	513
12	イモ欽トリオ	503
13	近藤真彦	498
14	江口洋介	491
15	反町隆史	487
16	長瀬剛	480
17	嘉門達夫	464
18	ビートたけし	461
19	及川光博	457
20	TOKIO	454
21	猿岩石	453
22	いしだ壱成	452
23	香取慎吾	436
24	浜田雅功	433
25	沢田研二	432
26	つんく	430
27	V6	429
28	西城秀樹	428
29	稲垣吾郎	423
30	泉谷しげる	419

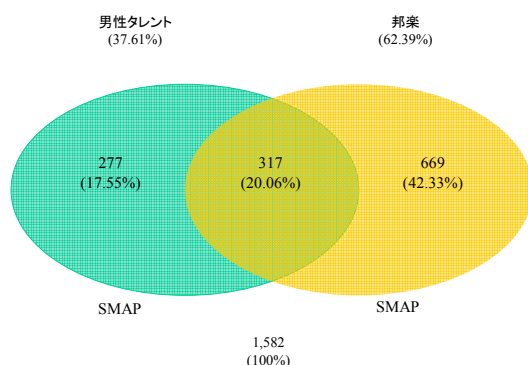
3-1-7. 他ジャンルとの重複アイテム補正

序列効果以外の必要な補正として、同一のアイテムが「男性タレント」以外のジャンルにも属している場合が挙げられる。「男性タレント」としての活動などを考慮した結果、表.3-3 にあるアイテムに補正が必要であると判断した。そのほとんどが歌手としてジャンル「邦楽」に重複して登録されているものである。

表.3-3

ITEM_NAME	ITEM_NAME	ITEM_NAME	ITEM_NAME
伊藤十三	伊藤麻之助	寺尾聰	室利正雄
小林聖星	伊藤雅刀	神任三郎	大瀧憲孝一
矢沢永吉	稲垣吾郎	渡田繁兵	沢田研二
富田和歌	水原正敏	諸星和巳	中村孝一
Kinki Kids	円広志	小本茂光	中島正広
SMAP	猿岩石	小野寿昭	中山秀征
TOKIO	津田浩之	小林旭	中島きよし
V6	細山雄三	少年隊	中村雅俊
V6/20th Century	嘉門達夫	松崎しげる	長瀬剛
V6/Coming Century	鶴岡千	鶴島茂	定岡正二
あおい輝彦	郷ひろみ	旭木等	田原俊彦
いしだ壱成	西岡秀隆	津田裕二	田中雅
イモ欽トリオ	吉田栄作	真田広之	横倉也
クレーンキーンパワーズ	及川光博	水谷豊	横切隆
ザ・ドリフターズ	橋本真	杉本雅志	森井フミヤ
ザ・ぼんち	郷ひろみ	杉本木郎	石原謙一
サブがき隊	玉置浩二	鹿島公則	反町隆史
つんく	近藤真彦	清水宏次朗	武田高治
デーモン小暮	梅田吉彦	西城秀樹	福山雅治
とんねるず	香取慎吾	西川金助	平田満
スプチュン	高橋克典	西田敏行	藤岡高輝
やしきたかじん	佐藤敏彦	石原裕次郎	北島三郎
ローリー	三浦友和	泉谷しげる	木村拓哉
衣川閑	山本洋一	嵐なき剛	野村
渡井隆	山本雄二	嵐	野口五郎

図.3-7



補正の方法として、「男性タレント」は 37.61%、「邦楽」は 42.33% の割合でカウントが振り分けられるという傾向を利用した。(図.3-7) によって、補正前のカウントに 37.61% を掛けたものが、ジャンル「男性タレント」における正規のカウントとなり、その結果アイテムの順位は右の通りに変動した。「邦楽」

との重複があった「SMAP」「福山雅治」「Kinki Kids」「藤井フミヤ」などは軒並み順位を下げ、「明石家さんま」が1位に、「江口洋介」が5位に急浮上するなど、かなり大幅に入れ替わった。

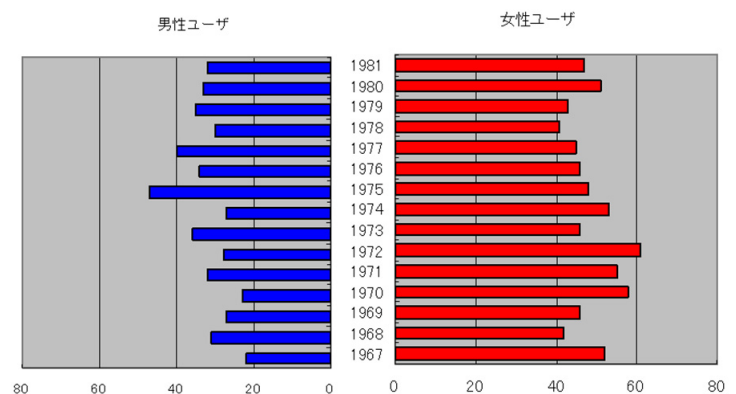
3-1-8. 世代間の平均支持度による補正

1～7で行った補正に加えて、世代間の平均支持度に基づく補正を行った。これは、序列効果と共に iMap が抱える問題である「見せかけの認知度」を解決するためである。繰り返しになるが、「見せかけの認知度」とは iMap の登録ユーザの比率は右の様に 1960 年～1980 年生まれが高いため、一見するとユーザが多いそれらの層の認知度が高く見えてしまう現象のことである。この「見せかけの認知度」を解決するために、以下の手順を踏んだ。

まず、総務省の人口統計の比率と比較しても有意差のない、安定したユーザ数を確保できる 1967 年生まれから 1981 年生まれにユーザを限定した。この時点でユーザ数は 1,575 名から 1,211 名となった。これが本研究の調査対象人数である。

次に、この 1967 年生まれから 1981 年生まれのユーザを、3 年刻みで 5 つの世代に区分した。そして世代ごとのアイテムの回答数を出し、それを世代の人数で割った世代支持率を算出した。さらにその加重平均つまり全世代平均支持率(以降単純に「平均支持率」と呼ぶ)を求めた。平均支持度の算出には直接関係ないが、同様に性別についてもこの作業を行い傾向を確認したところ、「Kinki kids」は 9.6%と女性に強く支持され、「とんねるず」は -3.22%と男性支持の傾向がみえるように妥当な結果が示された。

図.3-8



3-1-9. 補正後の順位

全てのデータクリーニングを終えた順位は以下の通りである。

表.3-4

RANK	ITEM_NAME	平均支持率	男性支持率	女性支持率	性差	世代1支持率	世代2支持率	世代3支持率	世代4支持率	世代5支持率
1	明石家さんま	38.41%	37.32%	42.92%	5.60%	40.00%	38.52%	40.86%	41.95%	30.71%
2	福山雅治	34.43%	30.61%	39.37%	8.77%	32.73%	38.13%	35.02%	35.17%	31.12%
3	SMAP	31.75%	30.82%	37.60%	6.78%	33.64%	35.41%	33.46%	31.36%	28.63%
4	江口洋介	31.49%	26.62%	35.42%	8.80%	33.64%	31.13%	32.68%	31.36%	24.90%
5	Kinki Kids	31.34%	27.04%	36.65%	9.60%	28.18%	35.41%	32.30%	31.78%	29.05%
6	ビートたけし	28.41%	28.72%	30.65%	1.93%	29.09%	24.90%	32.68%	29.24%	12.86%
7	藤井フミヤ	26.43%	26.00%	32.97%	6.97%	27.73%	31.13%	35.02%	25.42%	23.24%
8	浜田雅功	26.40%	26.83%	30.38%	3.55%	25.00%	28.40%	25.68%	29.66%	25.73%
9	イモ欽トリオ	26.25%	23.90%	23.43%	-0.47%	31.82%	35.02%	28.02%	13.14%	23.24%
10	内村光良	26.18%	23.69%	29.29%	5.60%	30.45%	23.74%	27.24%	23.73%	26.14%
11	織田裕二	25.48%	27.88%	27.79%	-0.09%	24.55%	25.68%	33.46%	26.27%	23.24%
12	とんねるず	25.18%	27.88%	24.66%	-3.22%	20.00%	26.85%	29.57%	23.73%	20.33%
13	木梨憲武	24.77%	21.59%	30.11%	8.52%	28.18%	24.51%	24.12%	26.69%	25.73%
14	木村拓哉	24.51%	18.66%	31.61%	12.95%	25.00%	28.02%	22.57%	23.73%	17.43%
15	ザ・ドリフターズ	24.22%	26.83%	23.02%	-3.81%	25.45%	26.85%	26.85%	20.76%	21.16%
16	堂本剛	24.06%	15.93%	32.29%	16.36%	20.91%	22.57%	26.07%	26.27%	22.41%
17	近藤真彦	23.96%	20.34%	25.20%	4.87%	28.64%	29.57%	21.40%	17.80%	23.24%
18	玉置浩二	23.87%	24.53%	23.71%	-0.82%	25.45%	24.90%	24.12%	21.61%	24.48%
19	郷ひろみ	23.21%	24.53%	23.43%	-1.10%	26.82%	24.51%	19.84%	22.88%	18.26%
20	堂本光一	22.96%	15.93%	30.79%	14.86%	24.55%	24.12%	24.12%	23.73%	21.99%
21	ユースケ・サンタマリア	21.97%	19.08%	27.66%	8.58%	18.18%	21.79%	23.74%	25.00%	21.16%
22	嘉門達夫	21.89%	25.16%	18.80%	-6.36%	20.91%	23.74%	23.74%	18.64%	19.09%
23	石橋貴明	21.74%	23.90%	24.39%	0.49%	21.36%	24.90%	22.96%	22.46%	17.01%
24	及川光博	21.69%	15.72%	28.75%	13.02%	19.55%	24.12%	24.51%	21.61%	21.99%
25	反町隆史	21.01%	17.40%	23.84%	6.44%	20.00%	21.01%	22.57%	19.49%	22.41%
26	長瀬剛	20.73%	21.59%	19.89%	-1.70%	25.00%	20.23%	19.07%	17.37%	18.26%
27	TOKIO	20.62%	18.45%	23.84%	5.39%	15.45%	21.01%	21.79%	22.46%	15.77%
28	ダウンタウン	20.47%	23.27%	23.57%	0.30%	20.91%	20.23%	22.57%	22.88%	18.67%
29	ウッチャンナンチャン	20.18%	19.50%	23.02%	3.53%	20.00%	21.40%	21.79%	18.64%	12.86%
30	稲垣吾郎	20.09%	13.42%	26.02%	12.60%	20.91%	21.40%	22.96%	16.10%	19.09%

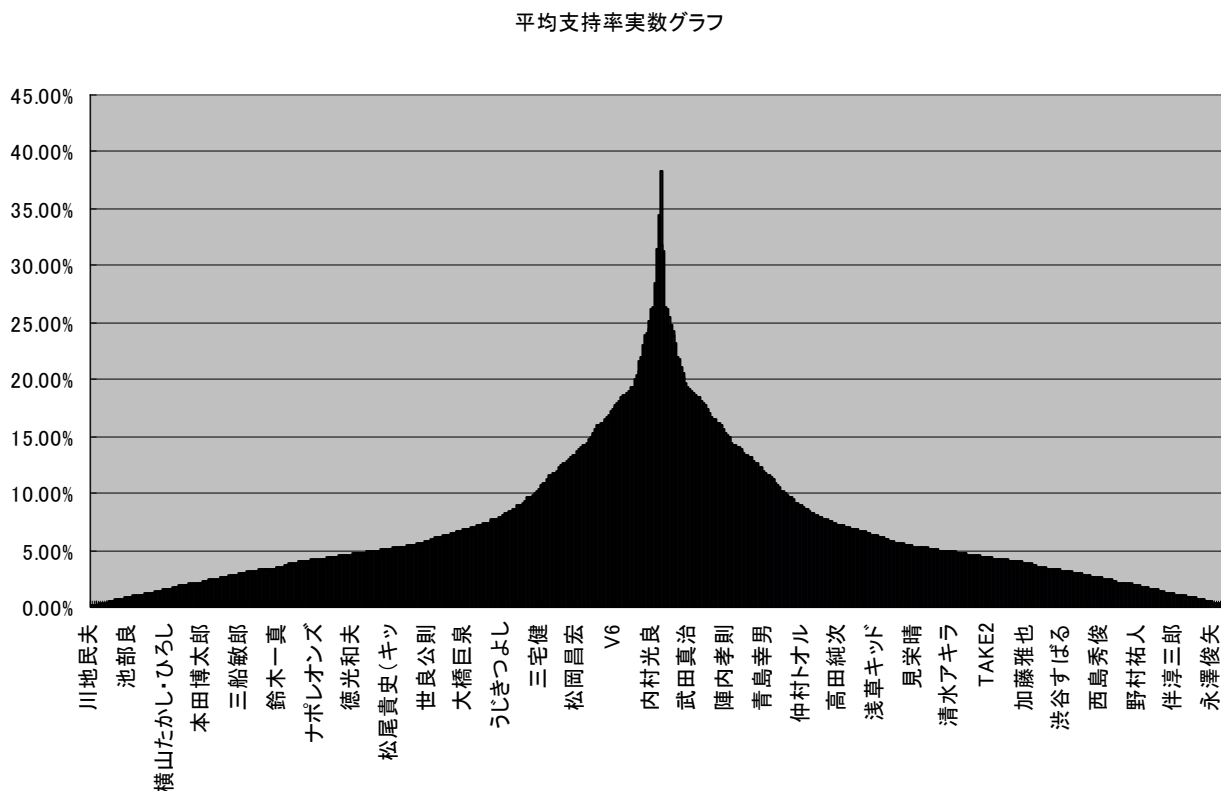
ユーザの世代や性別によるバイアスが補正され、5位までは変化がないもののビートたけしと藤井フミヤが入れ替わるなどかなり大幅に順位は変動し、どの世代にもまんべんなく支持されているアイテムが上位に来了。これが見せかけではない本来の認知度に基づく2000年時に20歳から35歳だった人々の男性タレント認知度順位である。

3-2. レイヤー分割

iMapに登録されている男性タレントの総数は803アイテムであるが、クリーニングを行い選別された671アイテムをそのまま分析させたのでは、「ジップの法則」と呼ばれるべき乗分布となってしまう。有名性の高いアイテムと有名性の低いアイテムとの間には、数倍という次元を超えた計り知れない格差が存在するのであり、それらを同時に扱ったのでは分析として成り立たないことは自明である。その問題を解決し、より多くの男性タレントを分析対象とするためには、まずは認知度が比較的同等であるアイテム同士に階層区分するプロセスが必要である。上述のように実数値ではレイヤーを等分割することは意味を成さないため、その値を対数化したもの、平方根化したものを用意し、妥当な分割方法を探ることにした。

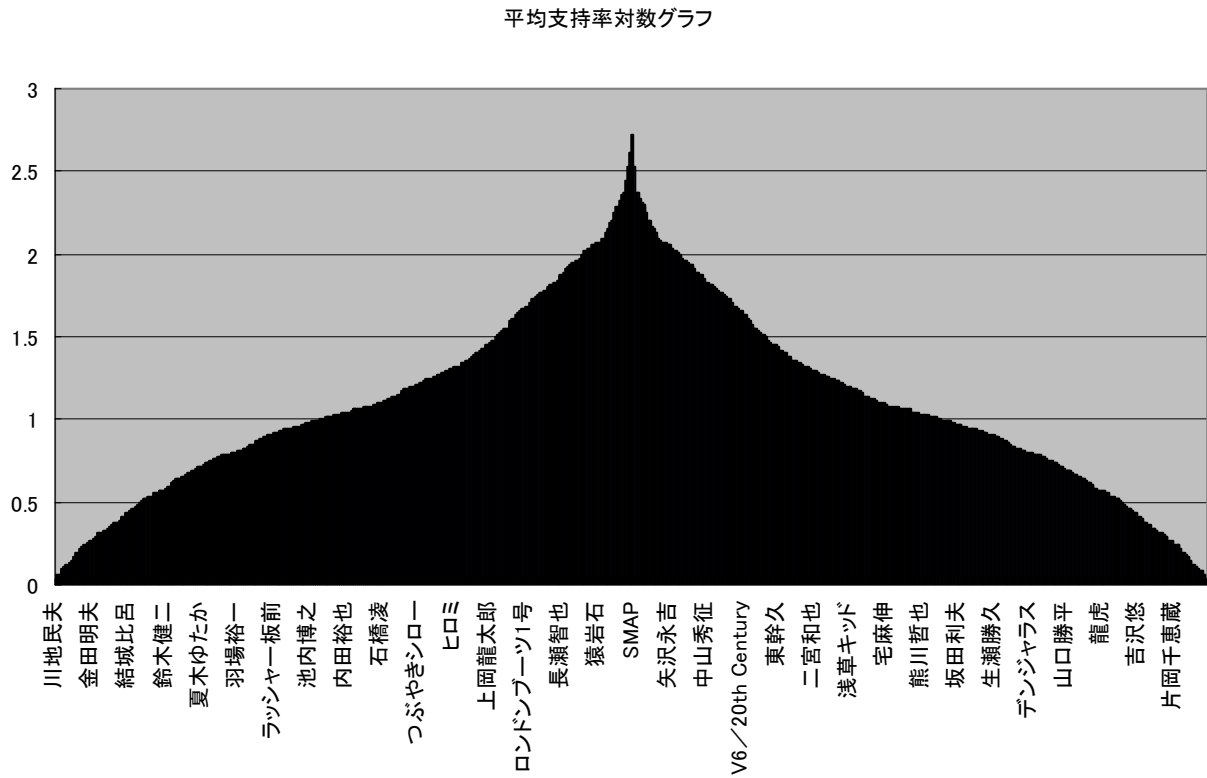
3-2-1. 実数分布

図.3-9



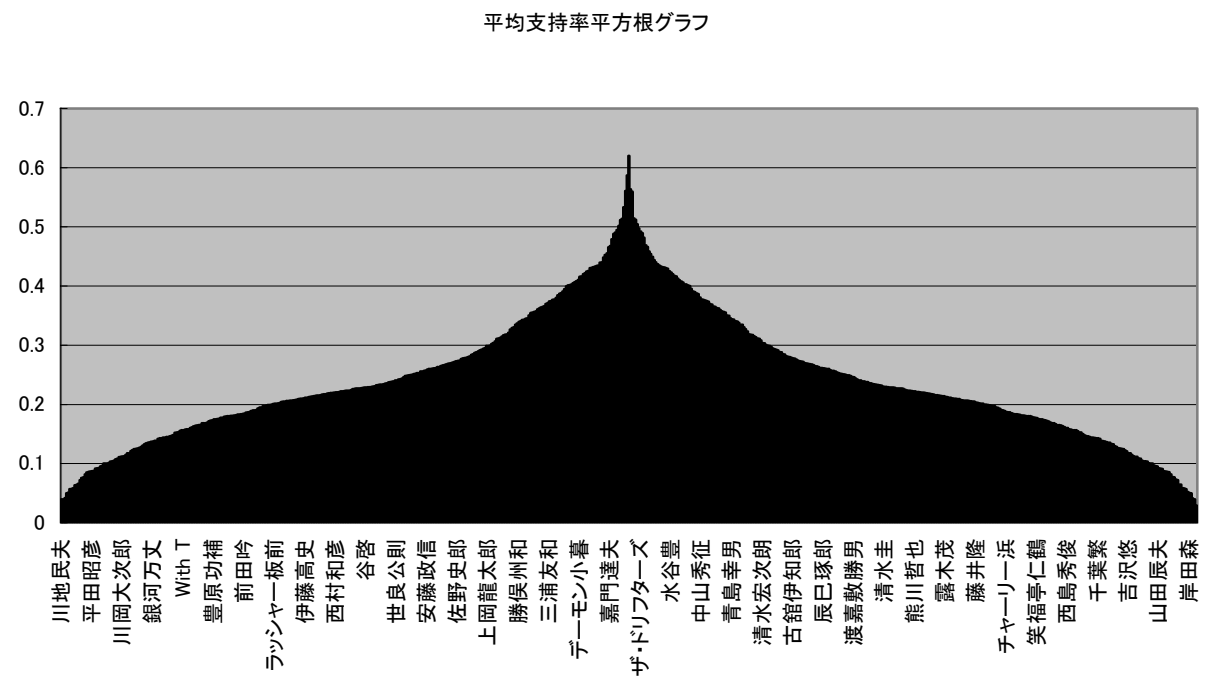
3-2-2. 対数分布

図.3-10



3-2-3. 平方根分布

図.3-11



3-2-4. 最適レイヤー分割方法の選択

上図を参照し、私が最適だと判断した分割方法は「平方根分布 6 分割」である。対数 5 分割(表.3-5)及び平方根 5 分割(表.3-6)では、有効とされるアイテム数が 550 を超えるため、それに伴いレイヤー1 に属するアイテムが多く、及川光博や嘉門達夫など話題性や時代性によって上位に来たアイテムまでもがレイヤー1 に属するため不適當であると考えた。

また、対数 6 分割(表.3-7)でも同様にレイヤー1 に属するアイテムが 18 と多い上に、レイヤー2 とレイヤー3 のアイテム数の差が小さく、分析には相応しくないと判断した。

一方採択した平方根 6 分割(表.3-8)は、レイヤー1 アイテムが明石家さんま、福山雅治、SMAP、江口洋介、Kinki Kids、ビートたけしの 6 個であり、最上位レイヤーとして誰が見ても納得できるアイテムが並び、レイヤー2 以降のアイテム数のバランスも問題なく、レイヤー分割方法として最適であった。

対数 5 分割 表.3-5		
レイヤー	アイテム数	合計
1	24	
2	111	
3	302	
4	120	557

平方根 5 分割 表.3-6		
レイヤー	アイテム数	合計
1	13	
2	82	
3	169	
4	321	585

対数 6 分割 表.3-7		
レイヤー	アイテム数	合計
1	18	
2	77	
3	94	
4	231	420

平方根 6 分割 表.3-8		
レイヤー	アイテム数	合計
1	6	
2	52	
3	98	
4	239	395

3-2-5. アイテムの一覧

レイヤーを 6 つに分けたが、下位 2 レイヤーについてはデータの不安定性を過分の残すため、上位 4 レイヤーを分析対象とした。これによりアイテム数は 671 から 395 となった。各レイヤーに帰属するアイテム数は、レイヤー1 は 6 アイテム、レイヤー2 は 52 アイテム、レイヤー3 は 98 アイテム、レイヤー4 が 239 アイテムである。

表.3-10

関値

RANK	LAYER	ITEM_NAME	平均支持率	男性支持度	女性支持度	性差	対数値	
1	1	明石家さんま	38.41%	37.32%	42.92%	5.60%	0.6197289	
2	1	福山雅治	34.43%	30.61%	39.37%	8.77%	0.5868029	
3	1	SMAP	31.75%	30.82%	37.60%	6.78%	0.5634894	
4	1	江口洋介	31.49%	26.62%	35.42%	8.80%	0.5611350	
5	1	Kinki Kids	31.34%	27.04%	36.65%	9.60%	0.5598418	
6	1	ビートたけし	28.41%	28.72%	30.65%	1.93%	0.5330231	0.516441
7	2	藤井フミヤ	26.43%	26.00%	32.97%	6.97%	0.5141244	
8	2	浜田雅功	26.40%	26.83%	30.38%	3.55%	0.5137765	
9	2	イモ欽トリオ	26.25%	23.90%	23.43%	-0.47%	0.5122993	
10	2	内村光良	26.18%	23.69%	29.29%	5.60%	0.5116293	
11	2	織田裕二	25.48%	27.88%	27.79%	-0.09%	0.5047534	
12	2	とんねるず	25.18%	27.88%	24.66%	-3.22%	0.5017473	
13	2	木梨憲武	24.77%	21.59%	30.11%	8.52%	0.4976883	
14	2	木村拓哉	24.51%	18.66%	31.61%	12.95%	0.4950737	
15	2	ザ・ドリフターズ	24.22%	26.83%	23.02%	-3.81%	0.4920886	
16	2	堂本剛	24.06%	15.93%	32.29%	16.36%	0.4905094	
17	2	近藤真彦	23.96%	20.34%	25.20%	4.87%	0.4895148	
18	2	玉置浩二	23.87%	24.53%	23.71%	-0.82%	0.4885253	
19	2	郷ひろみ	23.21%	24.53%	23.43%	-1.10%	0.4817660	
20	2	堂本光一	22.96%	15.93%	30.79%	14.86%	0.4791254	
21	2	ユースケ・サンタマリア	21.97%	19.08%	27.66%	8.58%	0.4687621	
22	2	嘉門達夫	21.89%	25.16%	18.80%	-6.36%	0.4678261	
23	2	石橋貴明	21.74%	23.90%	24.39%	0.49%	0.4662481	
24	2	及川光博	21.69%	15.72%	28.75%	13.02%	0.4657595	
25	2	反町隆史	21.01%	17.40%	23.84%	6.44%	0.4583950	
26	2	長渕剛	20.73%	21.59%	19.89%	-1.70%	0.4553333	
27	2	TOKIO	20.62%	18.45%	23.84%	5.39%	0.4541374	
28	2	ダウンタウン	20.47%	23.27%	23.57%	0.30%	0.4524591	
29	2	ウッチャンナンチャン	20.18%	19.50%	23.02%	3.53%	0.4492702	
30	2	稲垣吾郎	20.09%	13.42%	26.02%	12.60%	0.4482319	
31	2	吉田栄作	19.69%	19.08%	21.39%	2.31%	0.4437840	
32	2	沢田研二	19.39%	18.45%	17.57%	-0.87%	0.4403745	
33	2	つんく	19.39%	17.82%	20.98%	3.16%	0.4402864	
34	2	松本人志	19.32%	21.59%	20.44%	-1.16%	0.4395339	
35	2	武田真治	19.10%	16.56%	22.34%	5.78%	0.4370648	
36	2	ウド鈴木	18.92%	18.24%	20.84%	2.61%	0.4349319	
37	2	香取慎吾	18.91%	13.21%	27.25%	14.04%	0.4348629	
38	2	田原俊彦	18.86%	17.61%	18.39%	0.78%	0.4343109	
39	2	西川貴教	18.78%	15.30%	23.43%	8.13%	0.4333488	
40	2	猿岩石	18.75%	19.71%	21.12%	1.41%	0.4330182	
41	2	泉谷しげる	18.69%	20.34%	18.53%	-1.81%	0.4322831	
42	2	国分太一	18.65%	12.58%	24.11%	11.54%	0.4318390	
43	2	真田広之	18.64%	15.51%	20.03%	4.51%	0.4317072	
44	2	西城秀樹	18.56%	18.87%	17.71%	-1.16%	0.4307580	
45	2	矢沢永吉	18.53%	20.75%	17.98%	-2.77%	0.4305037	
46	2	いしだ壱成	18.51%	14.05%	26.84%	12.79%	0.4301781	
47	2	柴田恭兵	18.42%	18.24%	19.21%	0.97%	0.4292331	
48	2	南原清隆	18.12%	17.82%	21.25%	3.43%	0.4256634	
49	2	松崎しげる	18.05%	20.34%	15.67%	-4.67%	0.4248334	
50	2	シブがき隊	18.00%	16.77%	16.89%	0.12%	0.4243213	
51	2	水谷豊	17.89%	18.03%	17.44%	-0.59%	0.4229642	
52	2	少年隊	17.78%	14.26%	17.71%	3.46%	0.4216692	
53	2	西田敏行	17.67%	18.24%	15.53%	-2.71%	0.4203534	
54	2	V6	17.66%	14.88%	22.62%	7.73%	0.4202294	
55	2	舘ひろし	17.44%	18.87%	17.17%	-1.70%	0.4176173	
56	2	諸星和己	17.35%	14.68%	19.62%	4.94%	0.4164818	
57	2	ナインティナイン	17.33%	18.03%	19.89%	1.86%	0.4162994	
58	2	デーモン小暮	17.27%	18.87%	17.71%	-1.16%	0.4155733	0.4131526
59	3	逸見政孝	17.00%	17.40%	19.35%	1.95%	0.4122987	
60	3	沖田浩之	16.85%	13.63%	15.67%	2.04%	0.4104581	

60	3	沖田浩之	16.85%	13.63%	15.67%	2.04%	0.4104581
61	3	武田鉄矢	16.77%	15.72%	19.89%	4.17%	0.4095588
62	3	田代まさし	16.68%	17.19%	17.71%	0.52%	0.4084326
63	3	高橋克典	16.60%	15.30%	19.35%	4.04%	0.4074654
64	3	保阪尚輝	16.53%	12.16%	21.25%	9.09%	0.4065377
65	3	中居正広	16.50%	13.00%	21.93%	8.94%	0.4061523
66	3	渡辺徹	16.39%	16.35%	15.40%	-0.96%	0.4048700
67	3	間寛平	16.24%	18.03%	16.21%	-1.82%	0.4029846
68	3	東山紀之	16.23%	10.90%	21.25%	10.35%	0.4028935
69	3	キャイ〜ン	16.21%	15.93%	20.98%	5.05%	0.4025719
70	3	はらたいら	16.14%	18.87%	14.58%	-4.29%	0.4017895
71	3	やしきたかじん	16.09%	18.87%	12.94%	-5.93%	0.4011015
72	3	中村雅俊	16.08%	15.93%	15.12%	-0.81%	0.4009743
73	3	山口達也	15.99%	10.27%	20.44%	10.16%	0.3998273
74	3	中井貴一	15.96%	13.63%	17.71%	4.08%	0.3995109
75	3	袴田吉彦	15.62%	9.22%	19.89%	10.67%	0.3952776
76	3	野猿	15.59%	16.35%	17.03%	0.68%	0.3948554
77	3	ローリー	15.28%	12.79%	16.62%	3.83%	0.3909091
78	3	永瀬正敏	15.28%	12.37%	20.44%	8.07%	0.3908590
79	3	陣内孝則	15.18%	11.11%	19.62%	8.51%	0.3896774
80	3	植木等	15.05%	14.88%	13.49%	-1.40%	0.3879727
81	3	草なぎ剛	15.02%	10.06%	20.71%	10.65%	0.3876003
82	3	長瀬智也	15.00%	9.85%	22.62%	12.76%	0.3872894
83	3	石原裕次郎	14.94%	15.30%	16.62%	1.32%	0.3864985
84	3	糸井重里	14.76%	18.24%	13.08%	-5.16%	0.3841645
85	3	いかりや長介	14.48%	18.03%	15.26%	-2.77%	0.3805180
86	3	渡哲也	14.45%	15.30%	14.03%	-1.27%	0.3801866
87	3	中山秀征	14.25%	15.30%	14.31%	-1.00%	0.3775531
88	3	井ノ原快彦	14.24%	9.43%	20.84%	11.41%	0.3773694
89	3	円広志	14.21%	15.93%	11.04%	-4.90%	0.3769496
90	3	森田剛	14.21%	9.22%	18.12%	8.90%	0.3769434
91	3	時任三郎	14.13%	11.95%	12.53%	0.58%	0.3759372
92	3	哀川翔	14.03%	11.95%	13.49%	1.54%	0.3746037
93	3	滝沢秀明	14.02%	5.24%	19.75%	14.51%	0.3744157
94	3	三浦友和	13.97%	8.60%	15.67%	7.07%	0.3738221
95	3	ザ・ぼんち	13.96%	13.42%	10.76%	-2.65%	0.3736385
96	3	岡村隆史	13.80%	14.47%	17.44%	2.97%	0.3715184
97	3	今田耕司	13.69%	15.93%	15.80%	-0.13%	0.3699807
98	3	松岡昌宏	13.66%	11.11%	18.53%	7.42%	0.3696618
99	3	森且之	13.60%	9.64%	19.21%	9.57%	0.3687412
100	3	伊武雅刀	13.38%	13.21%	11.31%	-1.90%	0.3658149
101	3	爆笑問題	13.35%	13.42%	15.94%	2.52%	0.3653275
102	3	北島三郎	13.33%	14.26%	12.94%	-1.31%	0.3651051
103	3	タモリ	13.30%	16.35%	13.08%	-3.27%	0.3647069
104	3	野口五郎	13.22%	14.05%	14.17%	0.12%	0.3635584
105	3	本木雅弘	13.14%	9.22%	16.62%	7.40%	0.3625329
106	3	寺尾聰	13.11%	14.47%	10.35%	-4.11%	0.3621329
107	3	豊川悦司	13.10%	9.01%	18.66%	9.65%	0.3619601
108	3	草刈正雄	12.99%	10.90%	13.90%	2.99%	0.3604100
109	3	岸谷五朗	12.91%	8.60%	15.26%	6.66%	0.3593240
110	3	竹野内豊	12.78%	5.66%	18.94%	13.28%	0.3574579
111	3	山本譲二	12.77%	13.63%	11.72%	-1.91%	0.3572978
112	3	V6／Coming Century	12.70%	9.85%	16.62%	6.77%	0.3564104
113	3	赤井英和	12.68%	11.95%	13.08%	1.13%	0.3560779
114	3	志村けん	12.63%	18.24%	13.76%	-4.48%	0.3553307
115	3	嵐	12.62%	9.22%	17.17%	7.94%	0.3552361
116	3	岡田准一	12.56%	5.45%	18.94%	13.49%	0.3543768
117	3	田村正和	12.29%	10.27%	16.08%	5.80%	0.3505084
118	3	加藤茶	12.26%	15.72%	12.53%	-3.19%	0.3501902
119	3	金城武	12.23%	7.76%	17.57%	9.82%	0.3497818
120	3	大沢たかお	11.94%	5.03%	17.17%	12.13%	0.3456052

121	3	城島茂	11.94%	13.21%	14.58%	1.37%	0.3455579
122	3	伊丹十三	11.91%	13.21%	10.22%	-2.99%	0.3450758
123	3	青島幸男	11.80%	12.16%	11.85%	-0.31%	0.3435305
124	3	ロンドンブーツ1号2号	11.79%	10.90%	14.31%	3.40%	0.3434034
125	3	大沢樹生	11.78%	4.82%	14.44%	9.62%	0.3431665
126	3	萩原健一	11.75%	11.95%	11.99%	0.04%	0.3427463
127	3	いっこく堂	11.59%	13.63%	15.40%	1.77%	0.3404110
128	3	グレートチキンパワーズ	11.59%	10.06%	15.53%	5.47%	0.3404070
129	3	V6／20th Century	11.55%	9.64%	14.58%	4.93%	0.3398386
130	3	勝俣州和	11.54%	10.06%	12.81%	2.74%	0.3397004
131	3	唐沢寿明	11.43%	6.92%	17.17%	10.25%	0.3380201
132	3	天野ひろゆき	11.33%	11.74%	12.40%	0.66%	0.3366563
133	3	杉本哲太	11.21%	9.85%	13.35%	3.50%	0.3348349
134	3	所ジョージ	11.21%	11.95%	13.62%	1.67%	0.3347926
135	3	河相我聞	11.18%	8.81%	15.12%	6.32%	0.3343614
136	3	柳葉敏郎	10.91%	7.76%	14.71%	6.96%	0.3303174
137	3	加山雄三	10.90%	14.26%	9.81%	-4.45%	0.3301566
138	3	ケイン・コスギ	10.85%	9.01%	14.44%	5.43%	0.3293903
139	3	椎名桔平	10.70%	5.45%	15.26%	9.81%	0.3271206
140	3	杉良太郎	10.65%	10.27%	9.54%	-0.74%	0.3264114
141	3	長嶋一茂	10.46%	12.58%	10.22%	-2.36%	0.3234274
142	3	三宅健	10.31%	5.45%	14.99%	9.54%	0.3211638
143	3	西村雅彦	10.14%	8.81%	14.17%	5.36%	0.3184957
144	3	山本淳一	10.14%	6.08%	11.17%	5.09%	0.3184590
145	3	加勢大周	10.11%	7.97%	12.26%	4.30%	0.3180338
146	3	小林旭	10.09%	9.64%	9.13%	-0.52%	0.3177136
147	3	松田優作	10.06%	9.85%	9.95%	0.09%	0.3171996
148	3	佐藤浩市	10.04%	5.03%	14.31%	9.27%	0.3168357
149	3	竹中直人	9.93%	9.43%	11.17%	1.74%	0.3151569
150	3	たのきんトリオ	9.89%	5.87%	10.76%	4.89%	0.3144878
151	3	芦屋雁之助	9.83%	9.64%	9.81%	0.17%	0.3134838
152	3	森本レオ	9.75%	8.18%	12.94%	4.77%	0.3122166
153	3	加藤晴彦	9.68%	6.08%	16.49%	10.41%	0.3110721
154	3	ネプチューン	9.67%	9.43%	10.90%	1.47%	0.3110273
155	3	関根勤	9.66%	10.27%	11.44%	1.17%	0.3107658
156	3	東野幸治	9.65%	9.85%	9.95%	0.09%	0.3106707
157	4	アリtoキリギリス	9.50%	12.58%	11.31%	-1.27%	0.3082770
158	4	萩原聖人	9.39%	7.55%	13.62%	6.08%	0.3064641
159	4	清水宏次朗	9.22%	6.50%	8.58%	2.08%	0.3036179
160	4	三上博史	9.21%	5.66%	12.40%	6.74%	0.3035142
161	4	中条きよし	9.18%	10.27%	8.58%	-1.69%	0.3029113
162	4	江頭2:50	9.14%	13.42%	9.54%	-3.88%	0.3023468
163	4	柏原崇	9.02%	4.19%	14.17%	9.98%	0.3003029
164	4	岩城滉一	8.96%	5.87%	9.81%	3.94%	0.2993410
165	4	なすび	8.95%	8.39%	10.76%	2.38%	0.2992341
166	4	上岡龍太郎	8.94%	9.64%	8.86%	-0.79%	0.2989750
167	4	仲村トオル	8.93%	6.29%	11.99%	5.70%	0.2988355
168	4	的場浩司	8.92%	5.87%	11.85%	5.98%	0.2986735
169	4	渡部篤郎	8.84%	5.03%	14.31%	9.27%	0.2973379
170	4	あおい輝彦	8.70%	8.39%	8.04%	-0.35%	0.2949166
171	4	東幹久	8.68%	9.22%	11.85%	2.63%	0.2946272
172	4	薬丸裕英	8.63%	7.55%	9.26%	1.72%	0.2937270
173	4	吉岡秀隆	8.62%	7.97%	10.49%	2.52%	0.2936365
174	4	緒形直人	8.56%	6.50%	9.95%	3.45%	0.2925737
175	4	ココリコ	8.54%	9.85%	10.35%	0.50%	0.2921561
176	4	浅野忠信	8.49%	6.50%	13.35%	6.85%	0.2913926
177	4	鹿賀丈史	8.47%	7.97%	9.67%	1.71%	0.2911016
178	4	内藤剛志	8.38%	6.92%	11.44%	4.53%	0.2894235
179	4	島田紳助	8.32%	10.27%	8.04%	-2.23%	0.2883977
180	4	阿部寛	8.31%	6.29%	9.54%	3.25%	0.2882134

0.3098645

181	4	石黒賢	8.30%	6.50%	9.54%	3.04%	0.2881046
182	4	伊東四朗	8.22%	8.39%	9.67%	1.29%	0.2866860
183	4	ピーター	8.11%	4.40%	9.81%	5.41%	0.2848452
184	4	田中康夫	8.11%	8.81%	7.90%	-0.90%	0.2847389
185	4	ラサール石井	8.09%	8.18%	8.72%	0.54%	0.2844720
186	4	うじきつよし	8.06%	7.97%	8.17%	0.21%	0.2838637
187	4	高倉健	7.94%	6.71%	9.54%	2.83%	0.2817688
188	4	役所広司	7.90%	6.08%	8.86%	2.78%	0.2811163
189	4	田中健	7.87%	6.50%	8.17%	1.68%	0.2805363
190	4	矢部浩之	7.85%	8.18%	8.58%	0.41%	0.2800914
191	4	筑紫哲也	7.82%	11.53%	7.90%	-3.63%	0.2797219
192	4	美川憲一	7.79%	7.34%	8.58%	1.25%	0.2790618
193	4	小林稔侍	7.76%	7.13%	8.45%	1.32%	0.2786438
194	4	ふかわりょう	7.74%	7.13%	10.63%	3.50%	0.2781779
195	4	古舘伊知郎	7.72%	7.13%	9.40%	2.27%	0.2778202
196	4	伊集院光	7.70%	10.27%	8.58%	-1.69%	0.2775526
197	4	松本幸四郎	7.69%	5.66%	10.22%	4.56%	0.2773275
198	4	井手らっきょ	7.65%	9.43%	7.22%	-2.21%	0.2765466
199	4	萩本欽一	7.60%	8.18%	7.36%	-0.82%	0.2756474
200	4	筒井道隆	7.50%	4.40%	11.04%	6.63%	0.2739270
201	4	笑福亭鶴瓶	7.50%	9.43%	6.81%	-2.62%	0.2739131
202	4	佐野史郎	7.47%	8.39%	9.81%	1.42%	0.2732641
203	4	上川隆也	7.46%	3.35%	11.31%	7.95%	0.2731191
204	4	伊ッセー尾形	7.46%	8.81%	6.95%	-1.86%	0.2730773
205	4	藤原竜也	7.40%	3.77%	10.49%	6.72%	0.2720934
206	4	羽賀研二	7.40%	6.71%	9.40%	2.69%	0.2720351
207	4	石坂浩二	7.40%	8.39%	7.36%	-1.03%	0.2720307
208	4	ヒロミ	7.34%	6.92%	8.58%	1.66%	0.2709250
209	4	佐藤敦啓	7.27%	2.73%	9.13%	6.40%	0.2696655
210	4	ダチョウ倶楽部	7.27%	9.01%	8.17%	-0.84%	0.2695545
211	4	高田純次	7.25%	7.55%	8.31%	0.76%	0.2692279
212	4	コロケ	7.24%	7.55%	8.31%	0.76%	0.2690184
213	4	二宮和也	7.22%	3.14%	11.17%	8.03%	0.2686910
214	4	筧利夫	7.20%	6.08%	9.54%	3.46%	0.2684190
215	4	緒形拳	7.19%	7.97%	8.45%	0.48%	0.2682143
216	4	風間トオル	7.16%	4.40%	9.81%	5.41%	0.2675068
217	4	小堺一機	7.15%	7.13%	8.58%	1.46%	0.2674386
218	4	池田貴族	7.11%	5.24%	8.45%	3.21%	0.2666278
219	4	Mr. マリック	7.09%	9.22%	8.17%	-1.05%	0.2662553
220	4	久米宏	7.07%	6.71%	7.90%	1.19%	0.2658164
221	4	別所哲也	7.01%	4.61%	8.86%	4.24%	0.2647536
222	4	極楽とんぼ	7.00%	7.55%	8.45%	0.90%	0.2645594
223	4	定岡正二	6.98%	8.81%	7.63%	-1.18%	0.2642131
224	4	神谷明	6.93%	6.50%	6.13%	-0.37%	0.2631916
225	4	ジミー大西	6.92%	7.13%	7.63%	0.50%	0.2630511
226	4	石田純一	6.92%	6.50%	9.40%	2.90%	0.2629773
227	4	大竹まこと	6.85%	7.34%	6.40%	-0.93%	0.2616855
228	4	片岡鶴太郎	6.85%	7.13%	7.49%	0.37%	0.2616709
229	4	金子賢	6.84%	4.19%	9.95%	5.75%	0.2615531
230	4	大橋巨泉	6.81%	7.55%	6.27%	-1.28%	0.2608995
231	4	辰巳琢郎	6.80%	6.50%	7.90%	1.40%	0.2607306
232	4	神田正輝	6.78%	5.66%	8.04%	2.38%	0.2603837
233	4	萩原流行	6.78%	4.82%	8.72%	3.90%	0.2602991
234	4	大鶴義丹	6.76%	4.61%	7.63%	3.02%	0.2600849
235	4	愛川欽也	6.75%	7.76%	7.77%	0.01%	0.2598670
236	4	原田龍二	6.75%	2.73%	8.99%	6.27%	0.2598402
237	4	梅宮辰夫	6.74%	6.50%	7.22%	0.72%	0.2595938
238	4	安藤政信	6.71%	4.19%	10.35%	6.16%	0.2590447
239	4	高橋英樹	6.64%	5.45%	7.63%	2.18%	0.2576990
240	4	野村宏伸	6.61%	4.61%	8.31%	3.70%	0.2571529

241	4	柳沢慎吾	6.60%	6.08%	8.04%	1.96%	0.2568207
242	4	今井雅之	6.57%	4.61%	7.22%	2.61%	0.2564067
243	4	奥田瑛二	6.57%	4.61%	7.36%	2.74%	0.2564057
244	4	寺脇康文	6.54%	3.35%	9.40%	6.05%	0.2557764
245	4	ガダルカナル・タカ	6.52%	7.55%	6.68%	-0.87%	0.2554022
246	4	赤坂泰彦	6.52%	5.87%	7.77%	1.90%	0.2553607
247	4	渡辺謙	6.45%	4.40%	7.36%	2.95%	0.2540498
248	4	桂三枝	6.39%	7.34%	5.45%	-1.89%	0.2528654
249	4	野々村真	6.39%	5.66%	7.49%	1.83%	0.2528571
250	4	つぶやきシロー	6.39%	7.34%	8.31%	0.97%	0.2527155
251	4	山口良一	6.34%	4.61%	5.99%	1.38%	0.2517712
252	4	高嶋政伸	6.34%	7.13%	7.49%	0.37%	0.2517125
253	4	大浦龍宇一	6.31%	4.40%	7.90%	3.50%	0.2511967
254	4	稲川淳二	6.31%	7.97%	6.40%	-1.56%	0.2511909
255	4	浅草キッド	6.29%	9.85%	5.04%	-4.81%	0.2507677
256	4	横山やすし	6.27%	7.34%	6.27%	-1.07%	0.2503531
257	4	オール阪神・巨人	6.26%	7.34%	7.08%	-0.25%	0.2502394
258	4	京本政樹	6.24%	5.24%	7.49%	2.25%	0.2497736
259	4	マイケル富岡	6.21%	6.92%	6.95%	0.03%	0.2491985
260	4	山崎邦正	6.20%	7.97%	6.13%	-1.84%	0.2489932
261	4	長塚京三	6.20%	3.77%	8.45%	4.67%	0.2489863
262	4	丹波哲郎	6.17%	6.29%	6.68%	0.39%	0.2484058
263	4	三宅裕司	6.15%	6.50%	6.95%	0.45%	0.2480180
264	4	渥美清	6.15%	6.08%	6.40%	0.32%	0.2480004
265	4	トミーズ雅	6.06%	6.50%	6.54%	0.04%	0.2461331
266	4	みのもんだ	6.05%	6.71%	7.49%	0.78%	0.2460378
267	4	渡嘉敷勝男	6.05%	8.60%	6.13%	-2.46%	0.2458944
268	4	関口宏	5.95%	7.13%	6.54%	-0.59%	0.2438791
269	4	堺正章	5.93%	7.55%	7.22%	-0.33%	0.2434852
270	4	平田満	5.90%	2.31%	7.08%	4.78%	0.2428023
271	4	きたろう	5.87%	6.92%	5.18%	-1.74%	0.2422372
272	4	松村雄基	5.85%	2.73%	7.77%	5.04%	0.2418612
273	4	田中邦衛	5.79%	6.29%	6.40%	0.11%	0.2406146
274	4	世良公則	5.78%	4.40%	6.13%	1.73%	0.2404560
275	4	松村邦洋	5.77%	8.18%	6.13%	-2.05%	0.2402690
276	4	山城新伍	5.77%	5.24%	5.59%	0.34%	0.2402426
277	4	北村総一朗	5.71%	5.03%	6.81%	1.78%	0.2389992
278	4	畑正憲	5.71%	6.50%	5.86%	-0.64%	0.2388839
279	4	安岡力也	5.70%	6.50%	5.72%	-0.78%	0.2387253
280	4	生島ヒロシ	5.67%	6.71%	5.45%	-1.26%	0.2382061
281	4	ウィッキー	5.65%	7.97%	5.04%	-2.93%	0.2377719
282	4	菅原文太	5.65%	5.45%	5.99%	0.54%	0.2376709
283	4	松方弘樹	5.64%	5.45%	6.54%	1.09%	0.2374904
284	4	渡辺いっけい	5.62%	3.35%	7.36%	4.00%	0.2370974
285	4	福留功男	5.57%	5.87%	5.45%	-0.42%	0.2359881
286	4	グッチ祐三	5.56%	6.71%	6.81%	0.10%	0.2357179
287	4	風見しんご	5.55%	5.45%	6.95%	1.50%	0.2355737
288	4	そのまんま東	5.53%	6.50%	7.49%	0.99%	0.2351084
289	4	天本英世	5.49%	7.55%	5.04%	-2.51%	0.2342070
290	4	ラッキィ池田	5.48%	5.66%	5.18%	-0.48%	0.2340943
291	4	坂本九	5.47%	5.24%	6.54%	1.30%	0.2338359
292	4	石橋凌	5.46%	3.35%	6.13%	2.78%	0.2335823
293	4	田村亮	5.45%	4.82%	7.90%	3.08%	0.2333886
294	4	古尾谷雅人	5.44%	3.77%	6.27%	2.49%	0.2332013
295	4	森脇健児	5.43%	3.77%	6.68%	2.90%	0.2329672
296	4	古谷一行	5.41%	4.82%	7.08%	2.26%	0.2326986
297	4	宅麻伸	5.39%	4.19%	7.49%	3.30%	0.2322491
298	4	ハナ肇	5.39%	5.66%	4.77%	-0.89%	0.2321117
299	4	見栄晴	5.36%	4.61%	5.99%	1.38%	0.2315330
300	4	海砂利水魚	5.31%	6.29%	6.81%	0.52%	0.2304316

301	4	高嶋政宏	5.30%	5.66%	6.13%	0.47%	0.2302545
302	4	横山ノック	5.28%	7.13%	5.72%	-1.41%	0.2298435
303	4	清水圭	5.28%	5.66%	6.40%	0.74%	0.2297836
304	4	小林亜星	5.28%	5.87%	4.90%	-0.97%	0.2296905
305	4	テリー伊藤	5.26%	7.13%	5.99%	-1.13%	0.2294220
306	4	ルー大柴	5.25%	5.87%	5.99%	0.12%	0.2290341
307	4	三田村邦彦	5.24%	3.77%	6.95%	3.17%	0.2289098
308	4	高知東生	5.24%	2.52%	7.08%	4.57%	0.2288279
309	4	布施博	5.23%	3.56%	7.08%	3.52%	0.2286983
310	4	谷啓	5.22%	5.87%	5.18%	-0.69%	0.2285778
311	4	松平健	5.22%	4.82%	5.86%	1.04%	0.2285417
312	4	坂上二郎	5.22%	5.66%	4.90%	-0.76%	0.2284338
313	4	デーブ・スペクター	5.21%	5.45%	5.86%	0.41%	0.2282218
314	4	ツービート	5.21%	4.82%	4.77%	-0.05%	0.2281718
315	4	出川哲朗	5.19%	6.71%	6.13%	-0.58%	0.2278717
316	4	よゐこ	5.18%	5.24%	6.54%	1.30%	0.2276229
317	4	ホンジャマカ	5.15%	6.71%	7.08%	0.38%	0.2269785
318	4	松尾貴史	5.15%	5.45%	5.45%	0.00%	0.2269206
319	4	津川雅彦	5.15%	5.03%	6.13%	1.10%	0.2268987
320	4	阿藤海	5.15%	6.50%	5.04%	-1.46%	0.2268935
321	4	野村義男	5.14%	5.45%	4.77%	-0.68%	0.2268212
322	4	山下真司	5.14%	3.77%	6.27%	2.49%	0.2266153
323	4	伊原剛志	5.14%	1.89%	7.36%	5.47%	0.2266101
324	4	蟹江敬三	5.13%	4.19%	6.27%	2.07%	0.2264132
325	4	西川きよし	5.12%	6.08%	5.72%	-0.36%	0.2262458
326	4	笑福亭笑瓶	5.10%	6.29%	5.18%	-1.11%	0.2257589
327	4	勝村政信	5.06%	2.73%	5.18%	2.45%	0.2249127
328	4	中尾彬	5.02%	4.82%	5.99%	1.17%	0.2240000
329	4	田辺誠一	5.01%	2.10%	9.26%	7.17%	0.2237352
330	4	井上順	4.98%	6.08%	5.72%	-0.36%	0.2232571
331	4	西郷輝彦	4.98%	3.77%	5.86%	2.08%	0.2232352
332	4	石塚英彦	4.98%	3.98%	5.86%	1.88%	0.2232259
333	4	北野誠	4.97%	5.45%	4.90%	-0.55%	0.2229073
334	4	内田裕也	4.96%	4.61%	4.77%	0.16%	0.2227914
335	4	斉木しげる	4.96%	5.24%	4.90%	-0.34%	0.2227690
336	4	やすし・きよし	4.95%	5.45%	4.77%	-0.68%	0.2225056
337	4	デビット伊東	4.93%	4.82%	6.40%	1.58%	0.2219905
338	4	窪塚洋介	4.93%	1.68%	9.40%	7.72%	0.2219362
339	4	熊川哲也	4.92%	3.56%	6.68%	3.11%	0.2219219
340	4	恵俊彰	4.92%	4.40%	7.08%	2.68%	0.2219125
341	4	モト冬樹	4.88%	5.66%	5.72%	0.06%	0.2208640
342	4	ダンカン	4.87%	5.87%	4.90%	-0.97%	0.2207220
343	4	清水アキラ	4.87%	5.45%	5.72%	0.27%	0.2206222
344	4	美輪明宏	4.86%	3.98%	7.63%	3.65%	0.2203439
345	4	段田安則	4.85%	3.14%	8.45%	5.30%	0.2203213
346	4	西村和彦	4.84%	1.68%	7.22%	5.54%	0.2200842
347	4	岸部シロー	4.84%	5.24%	4.90%	-0.34%	0.2199322
348	4	橋爪功	4.83%	4.82%	6.27%	1.45%	0.2197545
349	4	根津甚八	4.82%	4.19%	5.86%	1.67%	0.2195544
350	4	西川のりお	4.81%	5.66%	4.50%	-1.16%	0.2193309
351	4	三國連太郎	4.81%	3.14%	5.45%	2.30%	0.2192615
352	4	にしきのあきら	4.80%	6.50%	5.59%	-0.91%	0.2190952
353	4	藤田まこと	4.78%	5.24%	5.45%	0.21%	0.2187160
354	4	桂文珍	4.77%	6.29%	4.50%	-1.79%	0.2184970
355	4	渡瀬恒彦	4.76%	3.56%	4.90%	1.34%	0.2181936
356	4	美木良介	4.76%	2.31%	6.68%	4.37%	0.2181383
357	4	風間杜夫	4.74%	4.82%	5.99%	1.17%	0.2176183
358	4	道場六三郎	4.72%	4.61%	5.59%	0.97%	0.2171526
359	4	三ツ矢雄二	4.71%	3.98%	4.50%	0.51%	0.2170716
360	4	バカルティ	4.71%	5.24%	5.04%	-0.20%	0.2170257

361	4	坂上忍	4.69%	3.35%	5.72%	2.37%	0.2165708
362	4	徳光和夫	4.69%	5.45%	5.59%	0.14%	0.2165491
363	4	江守徹	4.65%	4.82%	5.04%	0.22%	0.2156162
364	4	山寺宏一	4.64%	3.56%	5.18%	1.61%	0.2154270
365	4	高島忠夫	4.63%	5.24%	5.31%	0.07%	0.2152485
366	4	穴戸開	4.63%	4.82%	5.31%	0.49%	0.2151284
367	4	キートン山田	4.61%	5.03%	3.95%	-1.08%	0.2147544
368	4	塩沢兼人	4.61%	4.40%	4.22%	-0.18%	0.2147067
369	4	中村俊介	4.60%	2.73%	7.49%	4.77%	0.2145217
370	4	ドロonz	4.60%	4.82%	6.13%	1.31%	0.2143810
371	4	佐藤B作	4.58%	5.24%	4.90%	-0.34%	0.2140755
372	4	板東英二	4.58%	5.03%	5.45%	0.42%	0.2140069
373	4	古谷徹	4.57%	4.19%	4.50%	0.30%	0.2137162
374	4	三浦洋一	4.55%	2.94%	5.45%	2.51%	0.2132377
375	4	露木茂	4.53%	4.40%	5.31%	0.91%	0.2129072
376	4	池内博之	4.53%	4.19%	6.95%	2.76%	0.2127568
377	4	林家こぶ平	4.50%	4.19%	5.18%	0.98%	0.2120981
378	4	勝新太郎	4.50%	5.03%	5.45%	0.42%	0.2120412
379	4	柄本明	4.47%	4.19%	4.22%	0.03%	0.2113163
380	4	宇崎竜童	4.46%	4.40%	4.77%	0.37%	0.2112648
381	4	坂田利夫	4.45%	5.66%	4.90%	-0.76%	0.2110270
382	4	伊藤高史	4.45%	1.68%	5.72%	4.04%	0.2108994
383	4	鶴見辰吾	4.41%	2.94%	5.45%	2.51%	0.2100545
384	4	加藤剛	4.40%	2.94%	5.31%	2.38%	0.2098210
385	4	堤真一	4.40%	2.10%	7.36%	5.26%	0.2097216
386	4	地井武男	4.39%	4.40%	6.54%	2.14%	0.2095590
387	4	TAKE2	4.39%	4.82%	7.22%	2.40%	0.2094932
388	4	中村勘九郎	4.39%	3.77%	5.99%	2.22%	0.2094093
389	4	竹内力	4.37%	3.77%	5.18%	1.40%	0.2090727
390	4	原田大二郎	4.36%	4.82%	4.50%	-0.33%	0.2088003
391	4	田中義剛	4.36%	4.19%	4.90%	0.71%	0.2087990
392	4	柳生博	4.31%	3.77%	4.77%	0.99%	0.2077070
393	4	宇津井健	4.29%	3.56%	3.95%	0.39%	0.2072304
394	4	内野聖陽	4.29%	1.05%	7.77%	6.72%	0.2072273
395	4	コント55号	4.29%	4.82%	4.36%	-0.46%	0.2070659
396	5	森田健作	4.27%	3.77%	5.31%	1.54%	0.2065694
397	5	村上弘明	4.26%	2.10%	6.27%	4.17%	0.2063432
398	5	渡辺正行	4.25%	4.82%	4.22%	-0.60%	0.2062281
399	5	峰竜太	4.25%	4.61%	5.45%	0.84%	0.2060870
400	5	川谷拓三	4.25%	2.94%	4.22%	1.29%	0.2060417
401	5	小野寺昭	4.24%	5.03%	4.22%	-0.81%	0.2060100
402	5	立川談志	4.24%	5.45%	4.50%	-0.95%	0.2059317
403	5	斉藤洋介	4.24%	3.35%	4.90%	1.55%	0.2059049
404	5	榎木孝明	4.23%	3.14%	4.22%	1.08%	0.2055740
405	5	紳助・竜介	4.21%	3.98%	4.36%	0.38%	0.2052797
406	5	ナポレオンズ	4.19%	5.03%	3.95%	-1.08%	0.2046540
407	5	北大路欣也	4.18%	3.56%	4.36%	0.80%	0.2045264
408	5	里見浩太郎	4.18%	4.19%	5.59%	1.39%	0.2044931
409	5	車だん吉	4.18%	5.03%	4.09%	-0.94%	0.2043943
410	5	山崎努	4.17%	4.61%	4.22%	-0.39%	0.2041631
411	5	藤井隆	4.12%	5.24%	5.04%	-0.20%	0.2029359
412	5	ポール・牧	4.10%	5.87%	4.36%	-1.51%	0.2025730
413	5	大森うたえもん	4.10%	3.98%	3.54%	-0.44%	0.2024673
414	5	金山一彦	4.09%	2.10%	4.09%	1.99%	0.2021250
415	5	ビートキョシ	4.07%	5.03%	4.09%	-0.94%	0.2016685
416	5	朋友	4.07%	3.35%	5.99%	2.64%	0.2016626
417	5	穴戸錠	4.05%	5.24%	4.36%	-0.88%	0.2013626
417	5	ラッシャー板前	4.05%	4.82%	4.36%	-0.46%	0.2013626
417	5	せんだみつお	4.05%	6.08%	5.04%	-1.04%	0.2013626
420	5	島崎俊郎	4.02%	5.24%	3.41%	-1.84%	0.2006240

0.2065763

421	5	小松政夫	4.00%	3.77%	3.41%	-0.37%	0.1999882
422	5	森繁久彌	4.00%	2.94%	3.95%	1.02%	0.1999003
423	5	生瀬勝久	3.99%	2.94%	6.81%	3.88%	0.1997955
424	5	梅垣義明	3.98%	4.19%	4.09%	-0.11%	0.1994459
425	5	竜雷太	3.97%	4.40%	3.95%	-0.45%	0.1993577
426	5	山本耕史	3.97%	2.31%	5.72%	3.42%	0.1992913
427	5	ベンガル	3.94%	4.40%	3.95%	-0.45%	0.1984532
428	5	ビジーフォー	3.92%	5.24%	4.09%	-1.15%	0.1978847
429	5	真木蔵人	3.91%	3.56%	4.90%	1.34%	0.1978164
430	5	山本晋也	3.89%	4.82%	3.68%	-1.14%	0.1973099
431	5	加藤雅也	3.89%	1.05%	4.50%	3.45%	0.1972626
432	5	山田雅人	3.89%	4.40%	4.09%	-0.32%	0.1972208
433	5	松尾伴内	3.88%	4.61%	4.09%	-0.52%	0.1970226
434	5	小錦八十吉	3.81%	5.87%	2.45%	-3.42%	0.1950935
435	5	ヨネスケ	3.80%	3.77%	2.72%	-1.05%	0.1950261
436	5	永六輔	3.79%	5.03%	3.41%	-1.63%	0.1946311
437	5	小倉智昭	3.78%	3.77%	3.54%	-0.23%	0.1944503
438	5	福井謙二	3.73%	3.98%	3.68%	-0.30%	0.1931403
439	5	橋幸夫	3.71%	2.73%	3.95%	1.23%	0.1926187
440	5	大滝秀治	3.64%	2.52%	3.13%	0.62%	0.1908156
441	5	藤村俊二	3.63%	2.73%	4.50%	1.77%	0.1906231
442	5	つまみ枝豆	3.61%	4.61%	3.68%	-0.93%	0.1900188
443	5	小原裕貴	3.61%	1.26%	6.40%	5.15%	0.1899691
444	5	千葉真一	3.60%	5.03%	3.41%	-1.63%	0.1897653
445	5	石橋保	3.57%	1.68%	4.63%	2.96%	0.1890015
446	5	西岡徳馬	3.57%	2.73%	4.36%	1.63%	0.1889641
447	5	チャーリー浜	3.51%	4.82%	4.09%	-0.73%	0.1873827
448	5	財津一郎	3.50%	3.56%	4.09%	0.52%	0.1870991
449	5	長門裕之	3.49%	2.94%	4.09%	1.15%	0.1867082
450	5	鈴木一真	3.48%	1.05%	4.77%	3.72%	0.1865543
451	5	アンタッチャブル	3.48%	5.24%	3.41%	-1.84%	0.1865276
452	5	原田芳雄	3.46%	2.31%	4.36%	2.05%	0.1860454
453	5	渡辺裕之	3.43%	1.89%	4.22%	2.34%	0.1853200
454	5	前田吟	3.41%	3.56%	3.41%	-0.16%	0.1845854
455	5	小林薫	3.39%	2.10%	4.36%	2.26%	0.1840154
456	5	太平シロー	3.38%	3.77%	3.41%	-0.37%	0.1839677
457	5	神田利則	3.37%	2.52%	4.22%	1.71%	0.1837073
458	5	小橋賢児	3.37%	2.94%	6.13%	3.20%	0.1836831
459	5	伊崎充則	3.36%	1.68%	4.63%	2.96%	0.1833508
460	5	羽場裕一	3.35%	0.63%	5.04%	4.41%	0.1830465
461	5	千原兄弟	3.34%	3.98%	3.95%	-0.03%	0.1828107
462	5	吹越満	3.34%	2.52%	5.04%	2.53%	0.1827447
463	5	峰岸徹	3.33%	1.89%	3.41%	1.52%	0.1824558
464	5	栗田貫一	3.31%	3.98%	3.41%	-0.58%	0.1818851
465	5	デンジャラス	3.30%	3.56%	4.09%	0.52%	0.1815220
466	5	B&B	3.29%	2.94%	3.68%	0.74%	0.1814865
467	5	沢村一樹	3.29%	1.47%	5.31%	3.85%	0.1814071
468	5	三浦浩一	3.28%	1.26%	3.95%	2.69%	0.1810901
469	5	二谷英明	3.27%	1.89%	3.41%	1.52%	0.1809198
470	5	フランキー堺	3.27%	3.14%	3.68%	0.53%	0.1808532
471	5	風間俊介	3.26%	1.89%	4.63%	2.75%	0.1804779
472	5	藤竜也	3.25%	1.47%	4.50%	3.03%	0.1803478
473	5	村井国夫	3.25%	2.31%	4.36%	2.05%	0.1802714
474	5	ジョーダンズ	3.25%	3.56%	3.13%	-0.43%	0.1802583
475	5	渋谷すばる	3.25%	1.26%	6.13%	4.87%	0.1802402
476	5	永島敏行	3.23%	2.73%	3.68%	0.95%	0.1797921
477	5	× - GUN	3.21%	4.19%	4.90%	0.71%	0.1792802
478	5	西村晃	3.20%	2.94%	3.68%	0.74%	0.1789609
479	5	白竜	3.17%	1.05%	4.09%	3.04%	0.1779268
480	5	吉田照美	3.15%	3.14%	3.54%	0.40%	0.1774411

3-3. クラスタリング

認知度が低い上、アイテム数が多くなる下位レイヤーにおいては、特にクラスタリングによってオブジェクト数を縮減して、構造的な解釈が可能な状態にしなくてはならない。クラスタリングを行う方法としてはニューラルネットワーク(Kohonen)を採用した。従来型の多変量解析がリッチな行列に対し固有値計算を適用し、最適解を得る硬直的な方法であるのに対して、ニューラルネットワークは殆どの要素がゼロである疎行列であるため、競合学習(シミュレーション)によって近似解を得る柔軟的な方法が適合的だと考えたからである。ただしニューラルネットワークは、偶発性に左右されやすいことが難点である。相性の良いアイテム同士が初めから近隣であれば良いが、そうでない場合、部分最適な結合が生じる場合がある。そこで、行われるクラスタリングの全てが間違っていないという仮定の下に Kohonen ネットワークを複数回実行し、そのたびに全てのアイテム同士の位置関係を計量することで2アイテム間の近似性を計る指数「アイテム間得点」を利用した。この値の高いペアから順次結び付けていけば、有機的なクラスタリング過程を確認しながら、クラスタリングを完成させることが可能である。

3-3-1. アイテム間得点の算出方法

使用したソフトは SPSS Clementine8.0 である。アイテム×ユーザからなる入力ファイルを用意し、クリックと Null を True と False に置き換える。ソフトに入力し、アイテム数に応じて、レイヤー1は 3×2 の6マス、レイヤー2は 8×7 の56マス、レイヤー3は 10×10 の100マス、レイヤー4は 16×15 の240マスと出力ノードを変化させ、競合学習させる。そして、出力結果である自己組織化マップを基に全ペアについて得点化した。得点化は、中央のアイテム A の座標とし、これを基点にアイテム B との位置関係によりウエイト付けしたものである(図.3-12)。このプロセスを10回繰り返し総和を得て、100点満点のアイテム間得点を算出し(表.3-11)、クラスタリングを有効とする閾値を得た。

図.3-12

3	3	4	3	3
3	4	5	4	3
4	5	10	5	4
3	4	5	4	3
3	3	4	3	3

表.3-11

ItemName	ItemName	アイテム間得点
少年隊	シブがき隊	100
堂本剛	堂本光一	100
ナインティナイン	ダウンタウン	95
香取慎吾	稲垣吾郎	95
松本人志	ダウンタウン	95
沢田研二	真田広之	95
木村拓哉	香取慎吾	95
西田敏行	水谷豊	93
v6	TOKIO	90
松本人志	ナインティナイン	90
堂本光一	国分太一	90
堂本剛	国分太一	90
木村拓哉	稲垣吾郎	90
西田敏行	松崎しげる	89
西城秀樹	真田広之	84
嘉門達夫	イモ欽トリオ	83
水谷豊	松崎しげる	82
猿岩石	つんく	80
沢田研二	西城秀樹	79

3-3-2. 単純得点によるクラスタリング

図.3-13

単純得点によるクラスタリングには、Kiichi システム¹³を利用した。

まず「アイテム間得点計算」タブにおいて、「ファイル選択」で Kohonen の結果ファイル 10 回分を入力し、「計算開始」すると、アイテム間得点が算出され、下のウィンドウに表示される。(図.3-13)

次に「クラスタリング」タブを選択し、「クラスタリング」を実行すると、クラスターツリーが表示される。(図.3-14)

そして「VIEW2」を実行すると、アイテム同士の関係性が描画される。(図.3-15) このシステムを利用し、レイヤーごとのクラスタリングを行った。

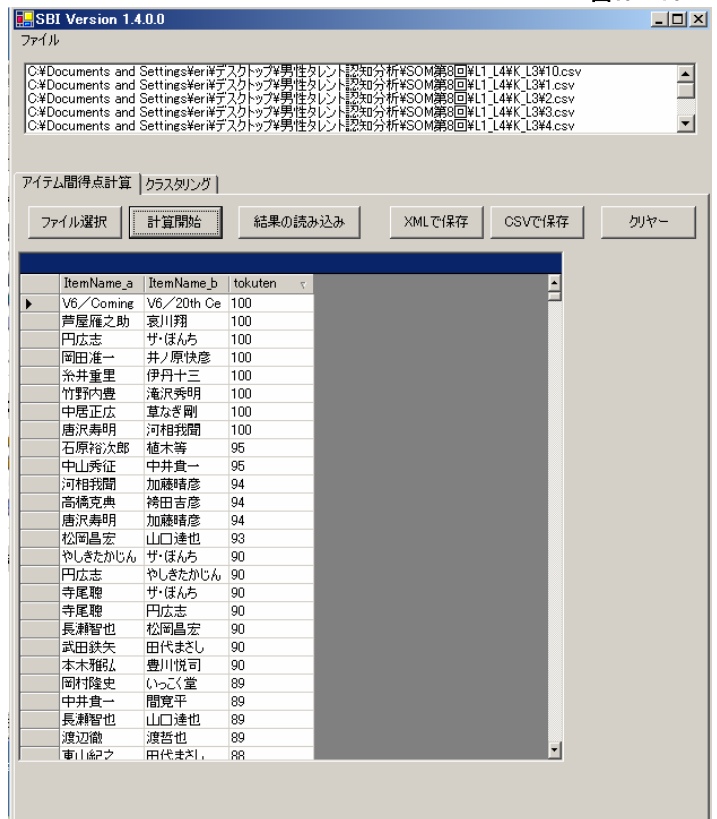
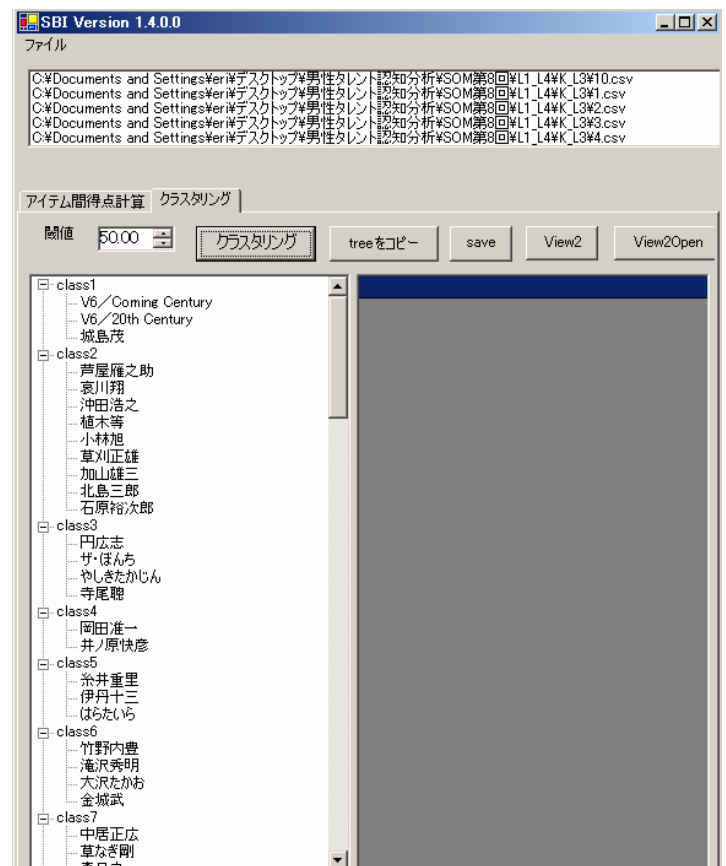
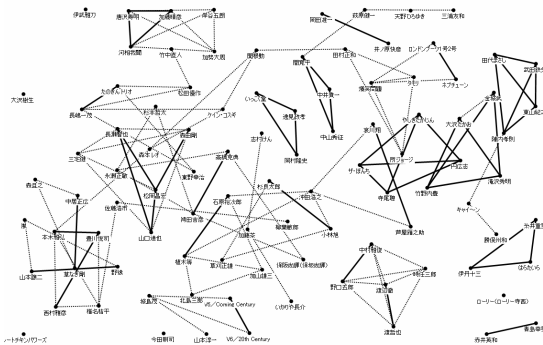


図.3-15



¹³大学院政策・メディア研究科後期博士課程で熊坂研究室に所属する伊藤貴一が、大澤・岡崎[2003]のKeyGraph およびパネモデルを参考に、アイテム間得点用に開発したクラスタリング可視化システム。

3-3-3. 補正得点によるクラスター補正

単純得点によるクラスタリングに加えて、序列距離を数値化し、算出した補正得点を利用した¹⁴。これを利用することで序列効果が強く残存するレイヤー4を中心に、正確なクラスタリングが可能となった。単純得点によるクラスタリング結果の中で不適切なものがあった場合に、補正得点を参考に新たな繋がりを見出すことができた。

表.3-12

序列距離	補正係数
0	0.693147181
1	0.693147181
2	1
3	1.098612289
4	1.386294361
5	1.609437912
6	1.791759469
7	1.945910149
8	2.079441542
9	2.197224577
10	2.302585093

¹⁴ 表では途中までしか載せていないが本来は 75 まである。

3-4. クラスターツリー作成

以上により、レイヤー内でのクラスタリングが完了した。これは同一平面内でのセグメンテーションである。しかし本論の主旨は全体構造の可視化であり、それを達成するためには、レイヤー間を縦断する解析が必要となる。ここで利用する解析技法は、データマイニングの代表的なツールとして知られる相関ルールである。

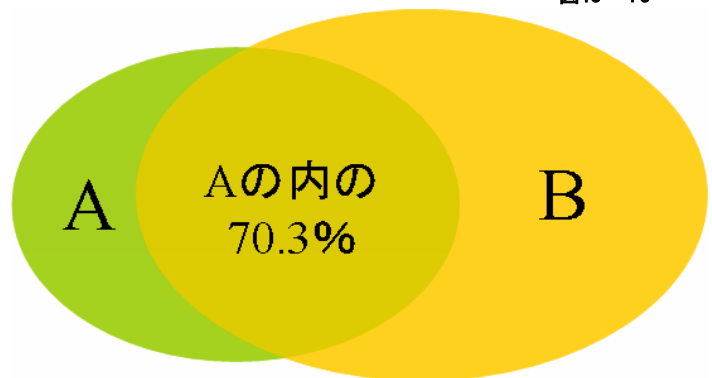
3-4-1. 相関ルール

相関ルール (Association Rule) の最も有名な適用事例はマーケットバスケット分析である。とりわけ米大手スーパーのウォルマートが「ビール」を買う人は「おむつ」を買うという因果関係を発見した事例が代表的である。マーケットバスケット分析の入力データは POS データであり、様々な買い物客のショッピングカートのデータを蓄積し、その結果、同一カート内に高い頻度で現われる商品の組み合わせを析出する。そしてその結果がマーケティングに活用されるのである。

この、POS データと商品の組み合わせは、iMap データとアイテムの組み合わせにも通じる。そして、「アサヒスーパードライ」ではなく「ビール」、「パンパース」ではなく「おむつ」であるという点は、上述の例が上位カテゴリーの組み合わせに対して適用されていることを意味する。同様にこれを iMap の分析に当てはめるならば「アイテム」ではなく「クラスター」ということになる。広範な事例と、先例との適合性から、クラスターツリーの作成には相関ルールを用いることとした。

前提条件となる「ビール」は Body、結果として導き出される「おむつ」は Head、その信頼性の指標は Confidence (確信度もしくは信頼度) と呼ばれる。右のベン図のように A を Body、B を Head とするならば、その信頼度とは A 内部に占める B との重複領域の比率のことである。クラスターツリー作成の基本的な考え方は、下位レイヤーのクラスターを基点の Body とし、上位レイヤーのクラスターを Head としたときに、最も高い信頼度を示すクラスターに接合することである。

図.3-13



3-4-2. 信頼度差と信頼度比

ただし、単純に信頼度の大小を比較するだけでは最適なクラスターに接合できない場合も多い。この理由は Head の支持率格差にあり、これを補正するための方法として一般的にも「リフト率」(後述の「信頼度比」と同義)などが用いられている。

本論においても Head の平均支持率には甚大な格差がある。レイヤー1 のクラスターを例に挙げる

なら、1位の「明石家さんま」(38.42%)と6位の「ビートたけし」(28.42%)との間には10%もの開きがあり、仮に信頼度が35%の場合、Headが明石家さんまならば平均よりも低いことになるし、逆にHeadがビートたけしならば平均よりも高いことになってしまう。

このような問題を解決すべく、クラスターツリーの作成に際しては、信頼度のほかに、信頼度差、信頼度比という指標を利用した。「信頼度差」とは信頼度からHeadの支持率を引いた値であり、「信頼度比」とは信頼度をHeadの支持率で割ったものである。いずれもシンプルかつ利用頻度の高い指標として知られている。また当然、これらの指標が食い違う可能性も多分にある。その場合は、信頼度差、信頼度比、信頼度の順でプライオリティを置いた。

3-4-3. レイヤー間の接続方法

図.3-14

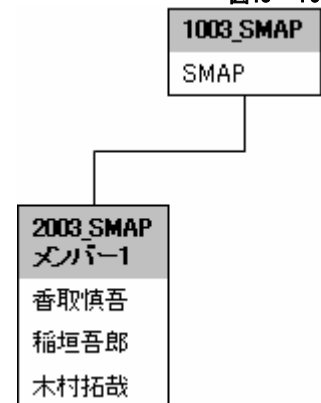
LAYER	CLUSTER	CLUSTER_NAME	CLUSTER_ID	CLUSTER_NAME	信頼度	信頼度差	信頼度比	有効
2	2003	SMAPメンバー1	1003	SMAP	70.3	33.8	1.9260274	T
2	2003	SMAPメンバー1	1005	Kinki Kids	64.9	30.6	1.8921283	T
2	2003	SMAPメンバー1	1002	福山雅治	67.5	30	1.8	T
2	2003	SMAPメンバー1	1001	明石家さんま	66.3	23.8	1.56	T
2	2003	SMAPメンバー1	1006	ビートたけし	50.2	19	1.6089744	T
2	2003	SMAPメンバー1	1004	江口洋介	48.8	15.4	1.4610778	T

本章の最後に、クラスターツリー作成における接続の具体例を示す。(図.3-15)ここで取り上げるのはレイヤー2の「SMAPメンバー1」(香取慎吾、稲垣吾郎、木村拓哉)であり、このクラスターをBodyとしたとき、レイヤー1のどのアイテムがHeadとして最適かを求めるというものである。

計算結果が図.3-14である。その結果、信頼度が最も高いレイヤー1の相手は「SMAP」であった。しかしHeadであるSMAPの支持率を加味しなければ正しい結果とは断言できない。そこで信頼度差、信頼度比という別の指標にも目を向けてみる。するとそのいずれの指標においても「SMAP」が第一位であることが確かめられ、かなり高い信頼性が保証されたことになる。この結果を基に右図のように下位のレイヤー2のクラスターである「SMAPメンバー1」から上位のレイヤー1のクラスターである「SMAP」へと線を引く。

この例ようにして、レイヤー4のクラスターからレイヤー3のクラスターへ、レイヤー3のクラスターからレイヤー2のクラスターへと線を結び、必ずレイヤー1のいずれかのクラスターへと到達できるように作成した樹形図が「クラスターツリー」である。クラスターツリーの完成により、それまでレイヤー内で終始していた差異化と統合のメカニズムは、全レイヤーへと拡張されたことになる。

図.3-15



第 4 章

結果と解釈

4－1. アイテム間得点によるクラスタリング

4－2. 完成したクラスターとその説明

4－3. クラスターツリー分析

第4章 結果と解釈

4-1. アイテム間得点によるクラスタリング

ここでは、前章で行った単純得点及び補正得点によるクラスタリングの解釈を行う。

4-1-1. レイヤー1

レイヤー1 はアイテム数が 6 と少ないため、クラスタリングは行わなかった。しかしながら、単純得点によるクラスタリング結果を見ると、「SMAP」「Kinki Kids」「福山雅治」「江口洋介」クラスターと「明石家さんま」「ビートたけし」クラスターに分かれ、お笑いとそれ以外としてきれいに分かれたのは興味深い。ユーザの中で俳優及び歌手と、お笑いとの差別化がなされていることが想像できるからである。

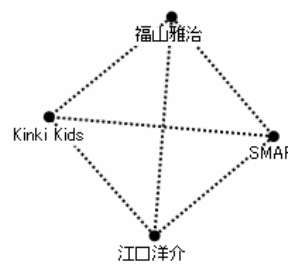


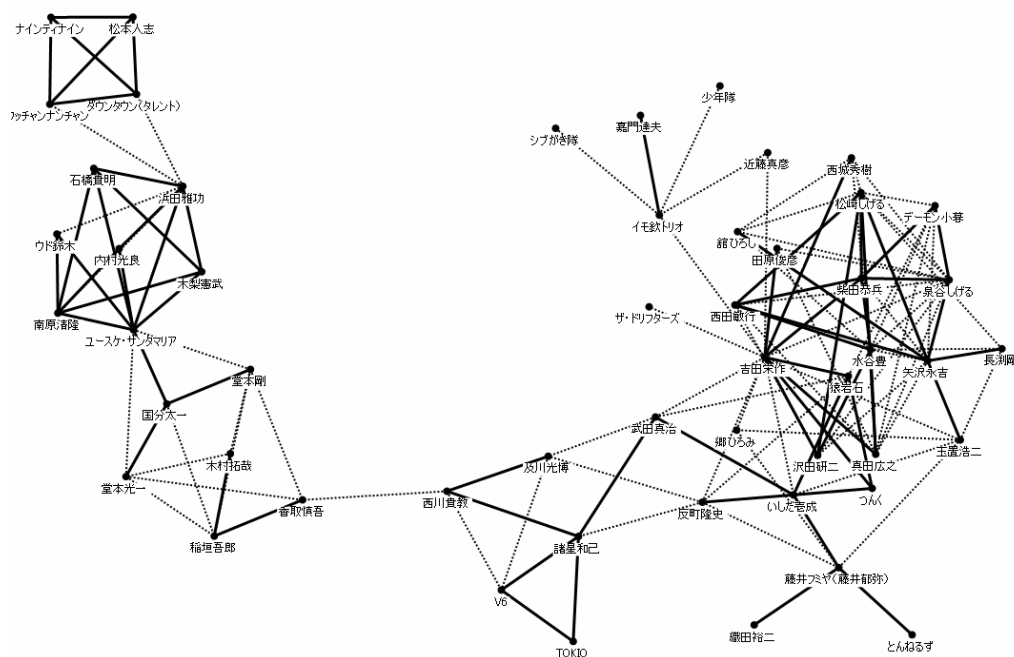
図.4-1



4-1-2. レイヤー2

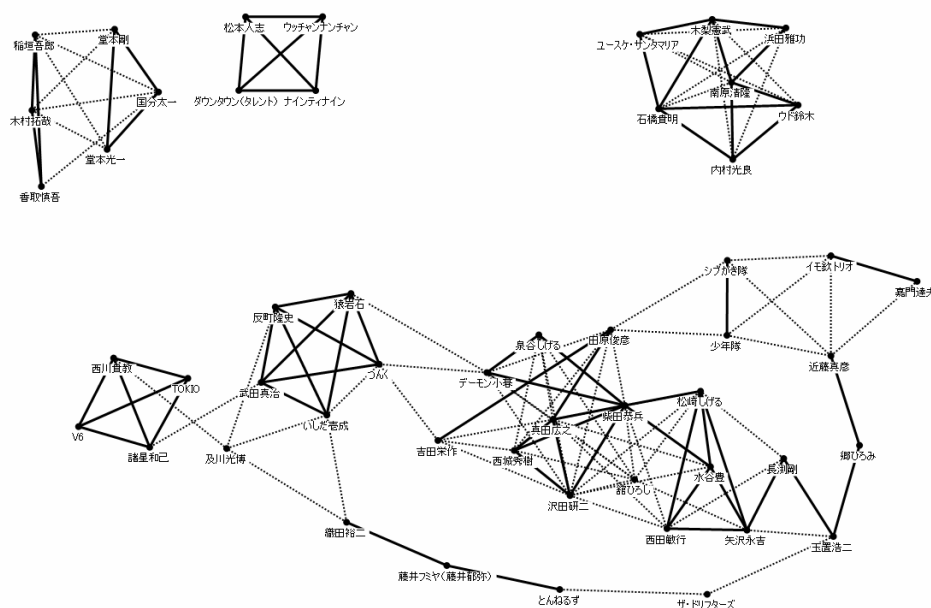
レイヤー2では上位確率は5%、補正上位確率は10%とし、描画を行った。(図.4-2)いくつかの大きな固まりができ、その内容もジャニーズ、お笑い、ミュージシャンと概ね分かれている。

図.4-2



補正得点によるクラスタリングも、単純得点と同様に上位確率5%、補正上位確率10%として描画した。(図.4-3) 序列効果がほとんど感じられないレイヤーであるため、単純得点によるクラスタリングとさほど変化はない。

図.4-3



4-1-3. レイヤー3

レイヤー3 の上位確率は1%、補正上位確率は 2.5%として、描画した。(図.4-4)レイヤー2同様、いくつかそれらしい固まりは見えるが、補正を必要とする部分もある。

図.4-4

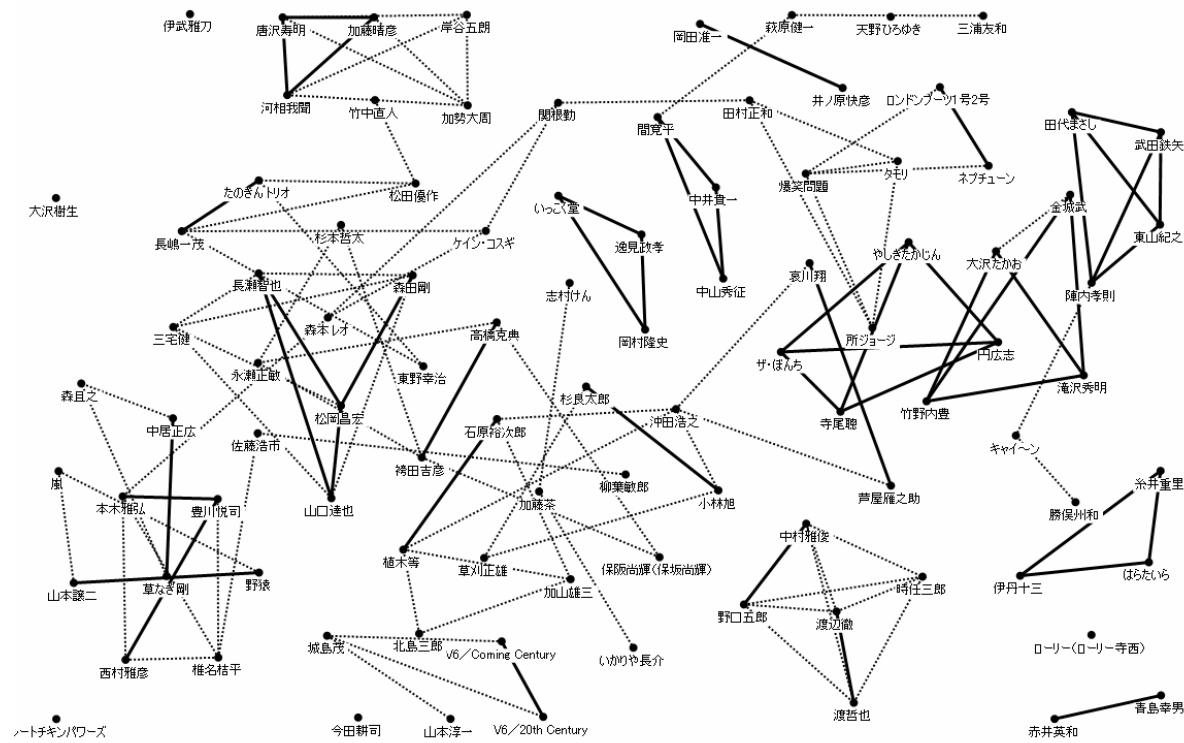


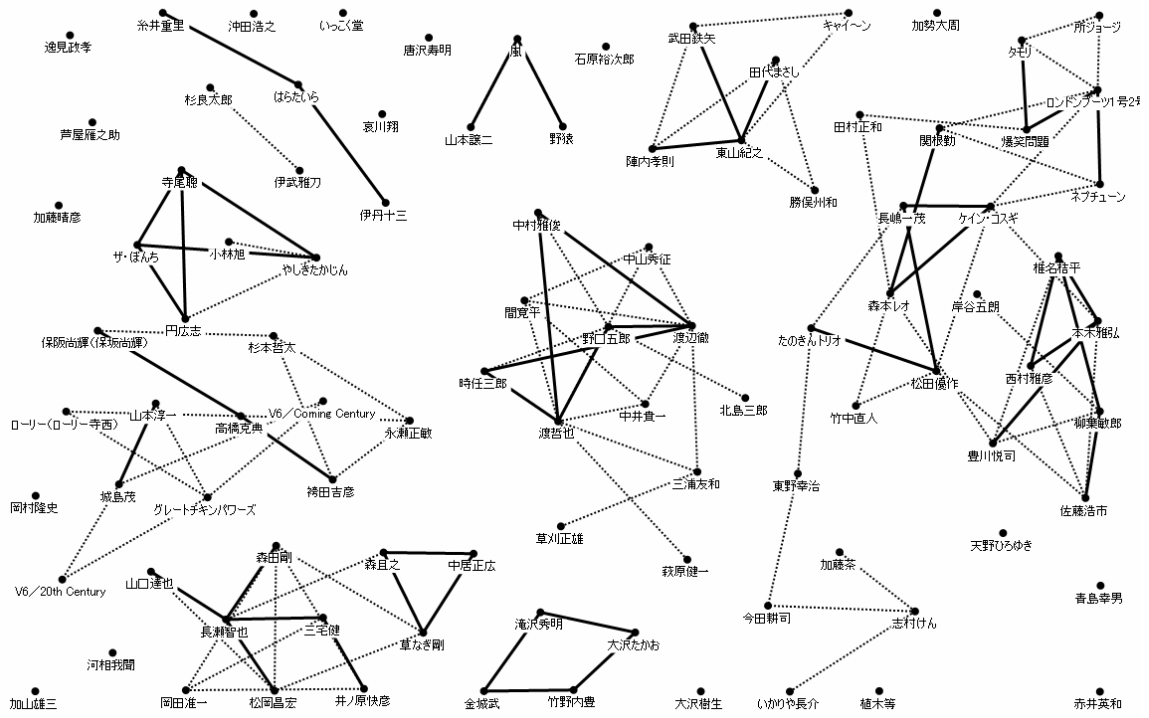
表.4-1

補正得点によるクラスタリングも、単純得点同様上位確率1%、補正上位確率2.5%として描画を行った。(図.4-4)

単純得点に比べて、補正得点によって結びついた例として、「嵐」と「V6/20thCentury」、「V6/Coming Century」がある。上位確率1%では、単純得点同様「野猿」「山本譲二」としか繋がらなかったが、補正得点を見ると、「V6/20th Century」「V6/Coming Century」との相関が高いことがわかる。

アイテムA	アイテムB	補正得点
嵐	野猿	277.3171488
嵐	山本譲二	238.2083201
嵐	V6/20th Century	98.87510598
嵐	V6/Coming Century	98.87510598
嵐	山本淳一	88.88370154
嵐	渡辺徹	56.41800174
嵐	寺尾聡	54.9170634
嵐	円広志	54.41915811
嵐	やしきたかじん	46.2195248
嵐	城島茂	45.56001018

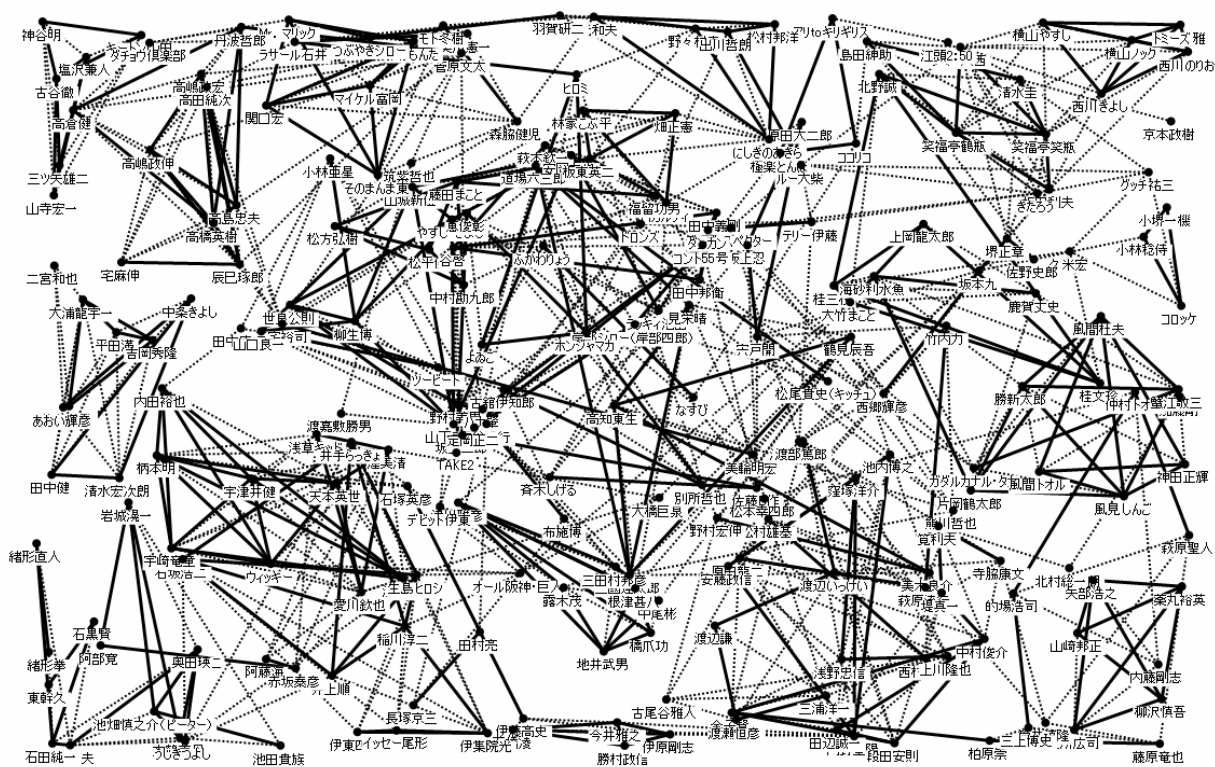
图.4-5



4-1-4.レイヤー4

レイヤー4 もレイヤー3と同様に、上位確率は1%、補正上位確率は 2.5%とした。(図.4-6) しかし、レイヤー4はアイテム数が膨大な上、序列効果が強く残存していることから、単純得点によるクラスタリングだけでは不十分であり、補正得点によるクラスタリングが必要である。

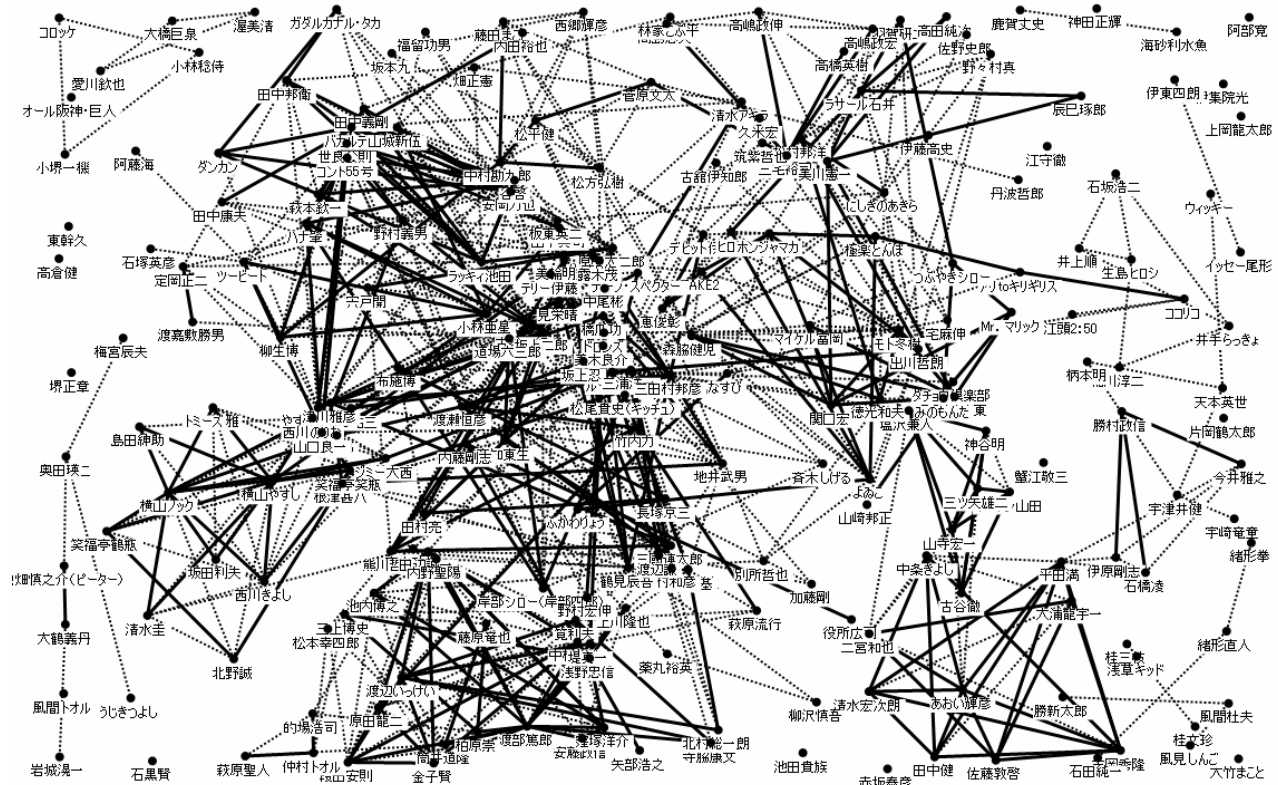
図.4-6



補正得点でも、単純得点同様上位確率1%、補正上位確率2.5%として描画を行った。(図.4-

7)

图.4-7



しかしながら、補正得点だけでは説明できないような繋がりが多く、レイヤー4に限っては相関ルール¹⁵を用いて信頼度を算出し、補足的に使用した。相関ルールを用いた例として、「グッチ裕三」と「清水アキラ」及び「モト冬樹」との繋がりなどがある。このように、レイヤー4は補正得点表と相関ルールを参照しながらひとつひとつ繋がりを見つけ、クラスタリングを行った。

表.4-2

結果	前提条件 1	表 4-2 確信度
グッチ裕三	清水アキラ	72.1
グッチ裕三	ダンカン	71.9
グッチ裕三	林家こぶ平	70.7
グッチ裕三	江守徹	70
グッチ裕三	田中義剛	69.6
グッチ裕三	中冬樹	69.6

4-2. 完成したクラスターとその説明

4-2-1. レイヤー1

レイヤー1はクラスタリングを行っていないため、全て単体のアイテムがクラスターとなっている。言うまでもなく、国民的なタレントが揃っている。俳優、お笑い、マルチタレントのバランスが取れており、男性タレント全体の構図が見えるレイヤーである。特筆すべきは、6個中2個を占めるジャニーズ事務所所属タレントの存在であろう。SMAP はともかく、Kinki Kids は TOKIO、V6 と言った先にデビューしているグループを超える認知度を誇っていることがわかる。

表.4-3

CLUSTER_ID	ITEM_NAME	CLUSTER_NAME
1001	明石家さんま	明石家さんま
1002	福山雅治	福山雅治
1003	SMAP	SMAP
1004	江口洋介	江口洋介
1005	Kinki Kids	Kinki Kids
1006	ビートたけし	ビートたけし

4-2-2.レイヤー2

レイヤー2は28クラスターとなった。クリーニングの甲斐あって、序列効果はほとんど見られず、基本的に単純得点によるクラスターリングを採用した。ここでもレイヤー1同様、「SMAP」や「TOKIO」といったジャニーズタレントの繋がりが非常に強く、しかもグループのメンバー同士でクラスターが出来上がったのは興味深い結果である。ジャニーズというひとつのジャンルでの差別化の上に、グループ同士での差別化がユーザの中に明確に存在するということであろう。他にも、「ダウンタウン」「ウッチャンナンチャン」と言ったお笑い芸人もグループ及びそのメンバーで繋がったが、例外として「とんねるず」はメンバーである「石橋貴明」「木梨憲武」と、グループ名「とんねるず」は繋がりが弱く、別のクラスターとなった。この理由として、グループ名「とんねるず」はジャンル「邦楽」での認知が強いためであると考えられる。俳優に関しては、「いしだ壱成」と「武田真治」と言う同時代に中性的なイメージで認知度を上げた二人が「ユニセックス」クラスターをなしているし、ミュージシャンでは「西川貴教」「及川光博」からなる「アイドル系ミュージシャン」クラスターも同様なイメージで共通することから、“中性的”というイメージの絶大さが見て取れるであろう。

レイヤー2の全体的な特徴としては、アイテムの露出の仕方によるものはもちろん、時代性も大きく関わったクラスターリングになっている点である。また、一部を除いて今なお第一線で活躍しているアイテムが並んでいるということも見逃せない。

表.4-4

CLUSTER_ID	ITEM_NAME	CLUSTER_NAME
2001	少年隊	80年代ジャニーズ
2001	シブがき隊	80年代ジャニーズ
2001	田原俊彦	80年代ジャニーズ
2001	近藤真彦	80年代ジャニーズ
2002	堂本剛	Kinki Kids
2002	堂本光一	Kinki Kids
2003	香取慎吾	SMAP
2003	稲垣吾郎	SMAP
2003	木村拓哉	SMAP
2004	沢田研二	70～80年代アイドル歌謡
2004	西城秀樹	70～80年代アイドル歌謡
2004	郷ひろみ	70～80年代アイドル歌謡
2005	柴田恭兵	刑事もの
2005	真田広之	刑事もの
2005	館ひろし	刑事もの
2006	西田敏行	歌手兼俳優
2006	水谷豊	歌手兼俳優
2007	松崎しげる	伝説カリスマ系ロッカー
2007	矢沢永吉	伝説カリスマ系ロッカー
2007	長瀬剛	伝説カリスマ系ロッカー
2007	玉置浩二	伝説カリスマ系ロッカー
2008	V6	90年代後半ジャニーズ
2008	TOKIO	90年代後半ジャニーズ
2009	西川貴教	アイドル系ミュージシャン
2009	及川光博	アイドル系ミュージシャン
2010	嘉門達夫	コミックシンガー
2010	イモ欽トリオ	コミックシンガー
2011	いしだ壱成	ユニセックス
2011	武田真治	ユニセックス
2012	内村光良	ウッチャンナンチャン
2012	南原清隆	ウッチャンナンチャン
2012	ウッチャンナンチャン	ウッチャンナンチャン
2013	木梨憲武	とんねるず
2013	石橋貴明	とんねるず
2014	泉谷しげる	実はミュージシャン
2014	デーモン小暮	実はミュージシャン
2015	ダウンタウン	ダウンタウン
2015	松本人志	ダウンタウン
2015	浜田雅功	ダウンタウン
2016	ユースケ・サンタマリア	ユースケ・サンタマリア
2017	とんねるず	とんねるず
2018	国分太一	国分太一
2019	反町隆史	反町隆史
2020	吉田栄作	吉田栄作
2021	ザ・ドリフターズ	ザ・ドリフターズ
2022	ウド鈴木	ウド鈴木
2023	諸星和己	諸星和己
2024	猿岩石	猿岩石
2025	つんく	つんく
2026	藤井フミヤ	藤井フミヤ
2027	織田裕二	織田裕二
2028	ナインティナイン	ナインティナイン

4-2-3.レイヤー3

表.4-5

CLUSTER_ID	ITEM_NAME	CLUSTER_NAME			
3001	V6／Coming Century	90年後半ジャニーズ	3017	松岡昌宏	TOKIO
3001	V6／20th Century	90年後半ジャニーズ	3017	山口達也	TOKIO
3001	嵐	90年後半ジャニーズ	3017	長瀬智也	TOKIO
3002	哀川翔	Vシネマ	3018	森田剛	V6
3002	沖田浩之	Vシネマ	3018	三宅健	V6
3003	伊武雅刀	稲村ジェーン出演	3018	岡田准一	V6
3003	草刈正雄	稲村ジェーン出演	3018	井ノ原快彦	V6
3004	小林旭	国民的タレント	3019	武田鉄矢	元グループ
3004	芦屋雁之助	国民的タレント	3019	田代まさし	元グループ
3004	杉良太郎	国民的タレント	3019	東山紀之	元グループ
3005	植木等	国民的タレント	3019	陣内孝則	元グループ
3005	北島三郎	国民的タレント	3020	本木雅弘	anan系大人の色気俳優
3006	加山雄三	石原プロ	3020	豊川悦司	anan系大人の色気俳優
3006	石原裕次郎	石原プロ	3020	椎名桔平	anan系大人の色気俳優
3006	渡哲也	石原プロ	3021	西村雅彦	古畑任三郎
3007	円広志	一発屋歌手	3021	田村正和	古畑任三郎
3007	ザ・ぼんち	一発屋歌手	3022	佐藤浩市	演技派脇役
3007	やしきたかじん	一発屋歌手	3022	柳葉敏郎	演技派脇役
3007	寺尾聰	一発屋歌手	3023	野猿	フジ企画
3008	糸井重里	クイズ	3023	山本譲二	フジ企画
3008	伊丹十三	クイズ	3024	ロンドンブーツ1号2号	中堅芸人
3008	はらたいら	クイズ	3024	ネプチューン	中堅芸人
3009	竹野内豊	主役級美形俳優	3024	爆笑問題	中堅芸人
3009	滝沢秀明	主役級美形俳優	3025	松田優作	80年代の顔
3009	大沢たかお	主役級美形俳優	3025	たのきんトリオ	80年代の顔
3009	金城武	主役級美形俳優	3026	長嶋一茂	スポーツ系
3010	中居正広	SMAP	3026	ケイン・コスギ	スポーツ系
3010	草なぎ剛	SMAP	3027	東野幸治	Wコージ
3010	森且之	SMAP	3027	今田耕司	Wコージ
3011	河相我聞	恋愛バラエティ	3028	所ジョージ	90年代～バラエティの顔
3011	加藤晴彦	恋愛バラエティ	3028	タモリ	90年代～バラエティの顔
3012	加勢大周	ヒューマンドラマ俳優	3029	加藤茶	ドリフ
3012	岸谷五朗	ヒューマンドラマ俳優	3029	いかりや長介	ドリフ
3012	唐沢寿明	ヒューマンドラマ俳優	3029	志村けん	ドリフ
3013	間寛平	お茶の間バラエティ	3030	勝俣州和	ウリナリ出演組
3013	中山秀征	お茶の間バラエティ	3030	キャイ〜ン	ウリナリ出演組
3014	中井貴一	70年代後半青春ドラマ	3030	天野ひろゆき	ウリナリ出演組
3014	萩原健一	70年代後半青春ドラマ	3031	ローリー	夜もヒッパレ
3014	三浦友和	70年代後半青春ドラマ	3031	グレートチキンパワーズ	夜もヒッパレ
3014	中村雅俊	70年代後半青春ドラマ	3032	城島茂	癒し系ジャニーズ
3014	時任三郎	70年代後半青春ドラマ	3032	山本淳一	癒し系ジャニーズ
3014	渡辺徹	70年代後半青春ドラマ	3033	森本レオ	癒し系中年タレント
3015	中村雅俊	80年代前半歌大ヒット	3033	関根勤	癒し系中年タレント
3015	野口五郎	80年代前半歌大ヒット	3034	竹中直人	竹中直人
3016	高橋克典	役どころお決まり	3035	大沢樹生	大沢樹生
3016	袴田吉彦	役どころお決まり	3036	岡村隆史	岡村隆史
3016	永瀬正敏	役どころお決まり	3037	いっこく堂	いっこく堂
3016	保阪尚輝	役どころお決まり	3038	逸見政孝	逸見政孝
3016	杉本哲太	役どころお決まり	3039	赤井英和	赤井英和
			3040	青島幸男	青島幸男

レイヤー3は39クラスターになる。レイヤー2よりも活動していた年代の差が開き、ジャンルの幅も広がる。相変わらず SMAP、TOKIO、V6 などのジャニーズタレントの繋がりは強いが、例外として「癒し系ジャニーズ」クラスターが出現した。これは、TOKIO のメンバーでありながら、元光 GENJI の「山本淳一」とクラスターを形成した「城島茂」の特異性を物語っていると言える。また、「V シネマ」「石原プロ」といったイメージを持ちやすいアイテムはユーザの認知のされ方も同一であると推測できる。注目すべきは「ロンドンブーツ1号2号」「ネプチューン」「爆笑問題」からなる「中堅芸人」クラスターであり、彼らは全員『タモリの Super ボキャブラ天国』に出演経験があり、今現在では看板番組をいくつか持つようになったという共通点がある。それぞれ、吉本興業、ワタナベエンターテインメント、タイタンと所属事務所は違うものの、同時代性及び活躍の度合いで同一の認知をされており、同じクラスターになるのは納得であろう。

また、レイヤー3 には同じ番組に出演していたという繋がりによるクラスター形成がいくつか見られる。「田村正和」と「西村雅彦」の「古畑任三郎」クラスターや、「勝俣州和」「キャイーン」「天野ひろゆき」の「ウリナリ出演組」クラスターは、番組の印象が非常に強く、出演者であるアイテム自身の個性を超えていたのだと想像できる。「70 年代後半青春ドラマ」クラスターは、それぞれ「中井貴一」「時任三郎」が『ふぞろいの林檎たち』、「中村雅俊」が『俺たちの旅』『夕日が丘の総理大臣』、「萩原健一」が『太陽にほえろ!』、「三浦友和」が『西部警察』に出演していて、当時一大ブームとなった青春ドラマの代表的な出演者で構成されている。テレビドラマが絶大に支持されていた時代ならではの認識であると言えよう。

4-2-4.レイヤー4

表.4-6

CLUSTER_ID	ITEM_NAME	CLUSTER_NAME			
4001	渥美清	亡くなったスター	4013	坂上二郎	欽ちゃんファミリー
4001	坂本九	亡くなったスター	4013	コント55号	欽ちゃんファミリー
4001	勝新太郎	亡くなったスター	4013	鉄本欽一	欽ちゃんファミリー
4002	赤坂泰彦	ラジオDJ	4013	小堺一機	欽ちゃんファミリー
4002	伊集院光	ラジオDJ	4013	見栄晴	欽ちゃんファミリー
4002	稲川淳二	ラジオDJ	4013	風見しんご	欽ちゃんファミリー
4003	今井雅之	強面俳優	4014	谷啓	クレージーキャッツ
4003	伊原剛志	強面俳優	4014	ハナ肇	クレージーキャッツ
4003	石橋凌	強面俳優	4015	桂文珍	バラエティ中堅
4003	勝村政信	強面俳優	4015	桂三枝	バラエティ中堅
4004	山寺宏一	声優	4015	上岡龍太郎	バラエティ中堅
4004	三ツ矢雄二	声優	4015	北野誠	バラエティ中堅
4004	塩沢兼人	声優	4015	ジミー大西	バラエティ中堅
4004	古谷徹	声優	4015	片岡鶴太郎	バラエティ中堅
4004	キートン山田	声優	4015	清水圭	バラエティ中堅
4004	神谷明	声優	4015	イッセー尾形	バラエティ中堅
4005	田中健	大ヒットドラマ出演	4016	斉木しげる	シティボーイズ
4005	清水宏次朗	大ヒットドラマ出演	4016	きたろう	シティボーイズ
4005	中条きよし	大ヒットドラマ出演	4016	大竹まこと	シティボーイズ
4005	平田満	大ヒットドラマ出演	4017	池内博之	映画系美形俳優
4005	大浦龍宇一	大ヒットドラマ出演	4017	窪塚洋介	映画系美形俳優
4005	吉岡秀隆	大ヒットドラマ出演	4017	安藤政信	映画系美形俳優
4005	岩城滉一	大ヒットドラマ出演	4017	浅野忠信	映画系美形俳優
4006	横山やすし	吉本興業	4018	モト冬樹	ものまね
4006	横山ノック	吉本興業	4018	グッチ裕三	ものまね
4006	西川のりお	吉本興業	4018	コロクケ	ものまね
4006	西川きよし	吉本興業	4018	清水アキラ	ものまね
4006	トミー・ズ雅	吉本興業	4018	松尾昌史	ものまね
4006	やすし・きよし	吉本興業	4019	田辺誠一	ドラマ系美形俳優
4006	坂田利夫	吉本興業	4019	内野聖陽	ドラマ系美形俳優
4006	島田紳助	吉本興業	4019	中村俊介	ドラマ系美形俳優
4006	オール阪神・巨人	吉本興業	4019	原田龍二	ドラマ系美形俳優
4007	笑福亭鶴瓶	師弟関係	4019	柏原崇	ドラマ系美形俳優
4007	笑福亭笑瓶	師弟関係	4019	森原竜也	ドラマ系美形俳優
4008	にしきのあきら	バラエティ脇役	4019	金子賢	ドラマ系美形俳優
4008	そのまんま東	バラエティ脇役	4020	伊東四朗	怪演俳優
4008	マイケル富岡	バラエティ脇役	4020	阿藤海	怪演俳優
4008	森脇健児	バラエティ脇役	4020	柄本明	怪演俳優
4008	つぶやきシロー	バラエティ脇役	4021	緒形直人	ドラマ系クール俳優
4009	高嶋政伸	高嶋親子	4021	緒形拳	ドラマ系クール俳優
4009	高嶋政宏	高嶋親子	4021	石黒賢	ドラマ系クール俳優
4009	高島忠夫	高嶋親子	4021	東幹久	ドラマ系クール俳優
4010	高田純次	バラエティ俳優	4021	阿部寛	ドラマ系クール俳優
4010	柳沢慎吾	バラエティ俳優	4022	高知東生	顔の濃い脇役俳優
4010	菜丸裕英	バラエティ俳優	4022	美木良介	顔の濃い脇役俳優
4011	堺正章	クイズ&司会	4022	鶴見辰吾	顔の濃い脇役俳優
4011	板東英二	クイズ&司会	4022	野村宏伸	顔の濃い脇役俳優
4011	福留功男	クイズ&司会	4022	別所哲也	顔の濃い脇役俳優
4011	山城新伍	クイズ&司会	4022	風間トオル	顔の濃い脇役俳優
4011	露木茂	クイズ&司会	4023	松方弘樹	時代劇
4011	みのもんた	クイズ&司会	4023	松平健	時代劇
4011	関口宏	クイズ&司会	4023	中村勘九郎	時代劇
4011	徳光和夫	クイズ&司会	4023	藤田まこと	時代劇
4011	愛川欽也	クイズ&司会	4023	西郷輝彦	時代劇
4011	大橋巨泉	クイズ&司会	4024	ピーター	中性タレント
4011	石坂浩二	クイズ&司会	4024	池田貴族	中性タレント
4011	生島ヒロシ	クイズ&司会	4025	佐藤敦啓	新旧ジャニーズ
4011	うじきつよし	クイズ&司会	4025	二宮和也	新旧ジャニーズ
4011	岸部シロー(岸部四)	クイズ&司会	4025	あおい輝彦	新旧ジャニーズ
4012	筑紫哲也	ニュースキャスター			
4012	久米宏	ニュースキャスター			

CLUSTER_ID	ITEM_NAME	CLUSTER_NAME			
4026	風間杜夫	中高年演技派	4038	極楽とんぼ	若手芸人
4026	蟹江敬三	中高年演技派	4038	コクリコ	若手芸人
4026	津川雅彦	中高年演技派	4038	アリtoキリギリ	若手芸人
4026	地井武男	中高年演技派	4038	よゐこ	若手芸人
4026	根津甚八	中高年演技派	4038	ふかわりょう	若手芸人
4026	橋爪功	中高年演技派	4038	TAKE2	若手芸人
4026	三國連太郎	中高年演技派	4038	田村亮	若手芸人
4026	三田村邦彦	中高年演技派	4038	矢部浩之	若手芸人
4026	宇津井健	中高年演技派	4038	海砂利水魚	若手芸人
4026	渡瀬恒彦	中高年演技派	4038	バカルディ	若手芸人
4027	萩原聖人	眼光鋭い俳優	4039	穴戸開	Vシネマ
4027	仲村トオル	眼光鋭い俳優	4039	坂上忍	Vシネマ
4027	的場浩司	眼光鋭い俳優	4039	原田大二郎	Vシネマ
4027	三上博史	眼光鋭い俳優	4039	竹内力	Vシネマ
4028	奥田瑛二	マルチ俳優	4039	山下真司	Vシネマ
4028	井上順	マルチ俳優	4039	萩原流行	Vシネマ
4028	大鶴義丹	マルチ俳優	4039	安岡力也	Vシネマ
4028	鹿賀丈史	マルチ俳優	4040	辰巳琢郎	バラエティ常連
4029	古谷一行	劇団出身演技派	4040	ラサール石井	バラエティ常連
4029	役所広司	劇団出身演技派	4040	野々村真	バラエティ常連
4029	内藤剛志	劇団出身演技派	4040	ホンジャマカ	バラエティ常連
4029	長塚京三	劇団出身演技派	4040	ヒロミ	バラエティ常連
4030	田中邦衛	北海道	4040	恵俊彰	バラエティ常連
4030	畑正憲	北海道	4040	デビット伊東	バラエティ常連
4031	宇崎竜童	音楽系タレント	4040	石塚英彦	バラエティ常連
4031	内田裕也	音楽系タレント	4040	林家こぶ平	バラエティ常連
4031	世良公則	音楽系タレント	4041	西村和彦	スクールウォーズ
4031	山口良一	音楽系タレント	4041	松村雄基	スクールウォーズ
4031	小林亜星	音楽系タレント	4042	佐野史郎	90年代ドラマ名脇役
4031	野村義男	音楽系タレント	4042	殿田安則	90年代ドラマ名脇役
4032	松村邦洋	アク強タレント	4042	小林稔侍	90年代ドラマ名脇役
4032	山崎邦正	アク強タレント	4042	渡辺いっけい	90年代ドラマ名脇役
4032	出川哲朗	アク強タレント	4042	寛利夫	90年代ドラマ名脇役
4032	タチョウ倶楽部	アク強タレント	4042	寺脇康文	90年代ドラマ名脇役
4032	ルー大柴	アク強タレント	4042	北村総一朗	90年代ドラマ名脇役
4032	羽賀研二	アク強タレント	4042	佐藤B作	90年代ドラマ名脇役
4032	江頭2:50	アク強タレント	4042	古尾谷雅人	90年代ドラマ名脇役
4032	京本政樹	アク強タレント	4042	布施博	90年代ドラマ名脇役
4032	テリー伊藤	アク強タレント	4043	渡部篤郎	大河主役経験俳優
4032	デーブ・スペック	アク強タレント	4043	上川隆也	大河主役経験俳優
4033	ツービート	たけし軍団	4043	堤真一	大河主役経験俳優
4033	浅草キッド	たけし軍団	4044	美輪明宏	芸術
4033	井手らっきょ	たけし軍団	4044	熊川哲也	芸術
4033	ダンカン	たけし軍団	4045	三宅裕司	日テレ系司会
4033	田中義剛	たけし軍団	4045	古舘伊知郎	日テレ系司会
4033	ガダルカナル・タカ	たけし軍団	4046	柳生博	平成教育委員会パネラー
4034	菅原文太	東映・日活スター	4046	田中康夫	平成教育委員会パネラー
4034	高橋英樹	東映・日活スター	4046	天本英世	平成教育委員会パネラー
4034	高倉健	東映・日活スター	4046	渡嘉敷勝男	平成教育委員会パネラー
4035	梅宮辰夫	ワイドショー常連	4047	ドロンス	電波少年
4035	石田純一	ワイドショー常連	4047	なすび	電波少年
4035	宅麻伸	ワイドショー常連	4047	伊藤高史	電波少年
4035	美川憲一	ワイドショー常連	4048	松本幸四郎	王様のレストラン
4035	神田正輝	ワイドショー常連	4048	筒井道隆	王様のレストラン
4036	渡辺謙	劇団から主役へ	4049	定岡正二	経歴様々タレント
4036	三浦洋一	劇団から主役へ	4049	道場六三郎	経歴様々タレント
4036	加藤剛	劇団から主役へ	4049	ウィッキー	経歴様々タレント
4037	丹波哲郎	バラエティ進出俳優	4049	ラッキィ池田	経歴様々タレント
4037	中尾彬	バラエティ進出俳優	4049	Mr. マリック	経歴様々タレント
4037	江守徹	バラエティ進出俳優			

レイヤー4は49クラスターである。上位の3レイヤーに比べて、バイプレイヤー的な存在が増える。目新しいジャンルとして、「山寺宏一」「三ツ矢雄二」「塩谷兼人」「古谷徹」「キートン山田」からなる「声優」クラスターがある。今までまったく出てこなかった種類のアイテムであるが、互いに非常に強い相関があるうえに、他のアイテムとの繋がりが非常に弱く、特徴的である。知っている人とそうではない人の差が大きく開くジャンルであることが見て取れる。ユーザの認知として興味深いのは、「ドラマ系美形俳優」クラスターと「映画系美形俳優」クラスターとの差異である。共に現在中心となって活躍している若手俳優が属していることに変わりはないが、その活躍の場によってクラスターが分かれていることから、認知の違いが推測できる。同様に、バイプレイヤー的な俳優の認識もいくつか分類されており、興味深い。しかしながら、その分類にはレイヤー1～3ほどの明確さを持たず、レイヤー4レベルの認知度になると、ユーザそれぞれの持つイメージの複雑化・多様化が推測できる。だからこそ、脇役俳優という特に名前が前面に押し出されにくいジャンルで活動する男性タレントの認知は、特段時代性に左右されやすいと言えるだろう。例えば、「中高年演技派」クラスターと「90年代ドラマ名脇役」クラスターの大きな違いは後者の方がより近年に認知度を上げたという点である。

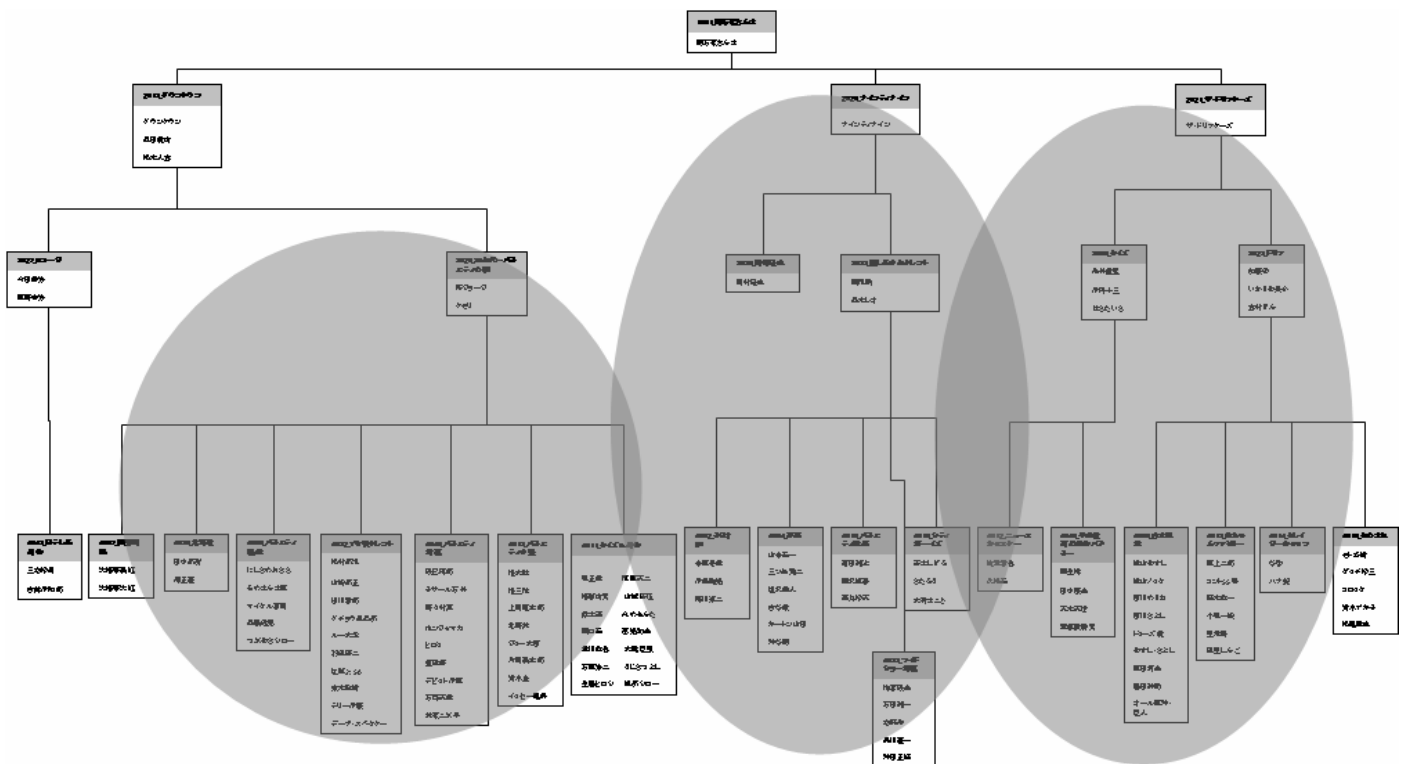
また、バラエティで活躍するタレントでも「たけし軍団」クラスターのようなグループでクラスタリングされる場合と、「アク強タレント」クラスターのような同イメージでクラスタリングされる場合が混在している。「若手芸人」クラスターの面々は、今ではクラスター2でもおかしくない活躍を見せ、クラスター全体で成功している点で興味深い。一方で、バラエティの中でもグループでもイメージでもとらえられない面々が存在する。そのとらえられなさによって結び付けられたクラスターが「バラエティ常連」クラスターである。吉本でもたけしでも体を張る芸人でもない彼らの認識が共通しているということから、ユーザの批評家としての一面が垣間見られる。

4-3. クラスターツリー分析

クラスターツリーを、レイヤー1に所属するアイテムごとに分け、分析していく。

4-4-1. 領域 1

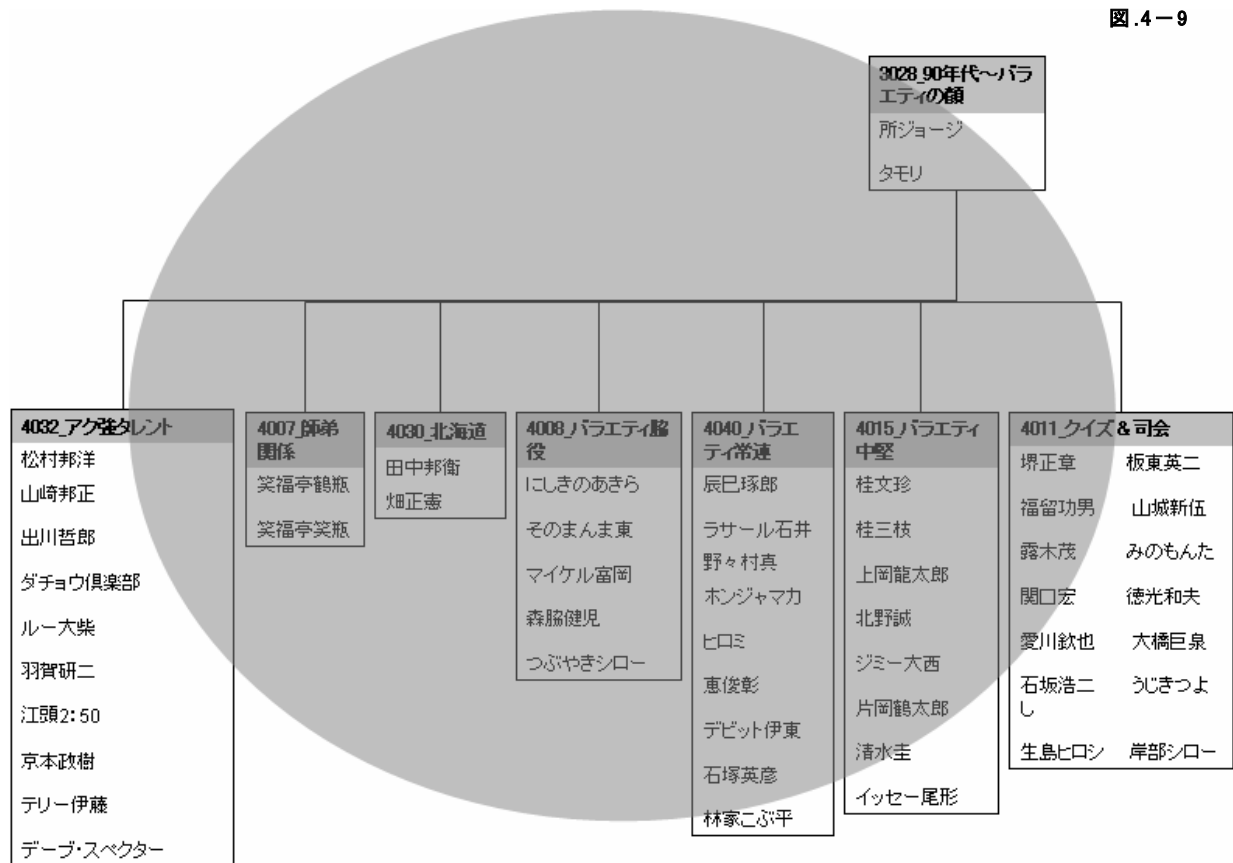
図.4-8



領域 1 は「明石家さんま」を中心としたお笑い・バラエティタレント領域である。全体の特徴として、関西方面のアイテムが多く所属し、年代も幅広いことがあげられる。コント・漫才という伝統的なお笑いの流れを汲んだアイテムが多いとも言えるだろう。よって領域1を『ベーシックなお笑い』領域と名づけた。

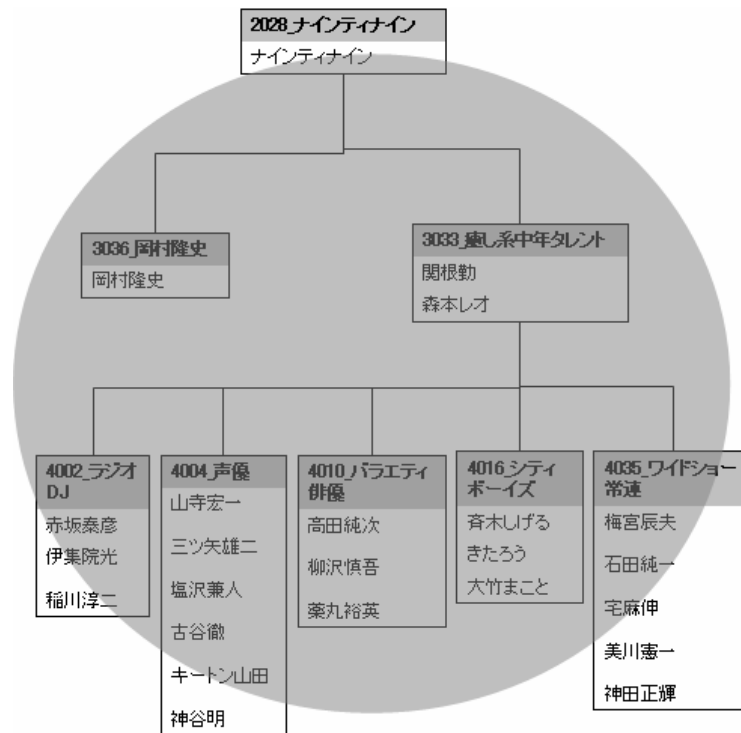
「明石家さんま」に繋がるレイヤー2のクラスターは「ダウンタウン」「サインティナイン」「ザ・ドリフターズ」の3つである。その固まりごとに見ると、「ダウンタウン」以下は『現代：TVバラエティの主演』（図.4-10）、「サインティナイン」以下は『現代：ラジオ他』（図.4-11）、「ザ・ドリフターズ」以下は『過去：伝統芸』（図.4-12）という大きな特徴が見えてくる。

図.4-9

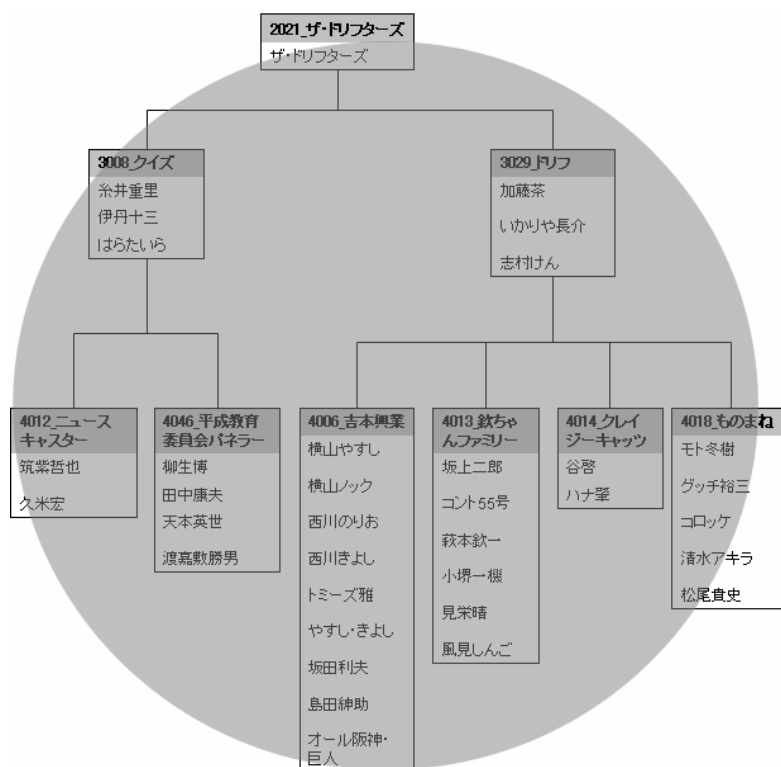


「ダウンタウン」以下を見ると、レイヤー3の「90年代～バラエティの顔」クラスターが目につく。このクラスターはいわゆる90年代の“大御所”と言ってよいアイテムであり、「ダウンタウン」は“大御所”に最も近い位置にあることが想像できる。「90年代～バラエティの顔」クラスター以下のレイヤー4クラス他は全て、現在TVでよく目にする男性タレントによって構成されており、まさにTVバラエティの中心を担う領域と呼べるだろう。基本的には、常連・脇役・中堅といった印象が強いクラスターばかりだが、「アク強タレント」クラスターは例外である。このことから、脇役的な隙間に入れるタレント×アクの強いタレント＝現代のTVバラエティ、特に19,20時代のファミリー向けバラエティという縮図が見えてくる。

図.4-10



「ナインティナイン」以下の『現代:ラジオ他』領域の特徴は、やはり左下の「ラジオDJ」クラスターや「声優」クラスターの存在であろう。「ダウンタウン」以下の領域と比べると、職人肌のアイテムが増えているのがわかる。言い換えると、持ちネタ的なものが決まっているアイテムが多いということである。これは、どちらかといえば過去のバラエティを彷彿とさせる要素であり、『現在:TVバラエティ』『過去:伝統芸』には含まれた位置にあるこの領域ならではの特徴といえるであろう。



「ザ・ドリフターズ」以下の『過去：伝統芸』領域は、1970年代～1980年代にかけて活躍した男性タレントが中心になっている。『8 時だよ！全員集合』や『欽ちゃんのドン！といってみよう！！』など、一世を風靡したといってもいい番組や、「ものまね」クラスターや「吉本興業」クラスターに見えるブームがこの領域には存在している。そして特筆すべきはこの領域は過去を象徴していながらも、現在にも影響を与え続けている点である。ドリフはバカ殿へと形を変えたし、欽ちゃんファミリーという認識は薄れたが、確かに志村けんは子供に人気があり、『欽ちゃんの仮装大賞』も未だに続く長寿番組である。『平成教育委員会』に至っては最近レギュラー番組として復活を遂げた。『過去：伝統芸』と名づけたが、決して過ぎ去ったわけではなく、未だに続くという意味で伝統なのであるということを証明する領域となっている。

4-4-2. 領域 2

領域 2 は、「福山雅治」を中心とした俳優・音楽領域である。中心となる「福山雅治」が俳優であると同時に歌手としても成功しているように、「藤井フミヤ」や「織田裕二」のように全体的に俳優以外の活動も積極的に行っている男性タレントが多く属する領域である。また、俳優の中でも特に美形で、いわゆるトレンドドラマの中心として出演している印象の強い俳優がほとんどを占めている。よってこの領域は「ジャンルの 2 面性・外見重視」領域と名づけた。

音楽領域と美形俳優領域を繋いでいるのが、その両方での成功者として貴重な存在である「福山雅治」であることは非常に意味深いといえるであろう。

図.4-12

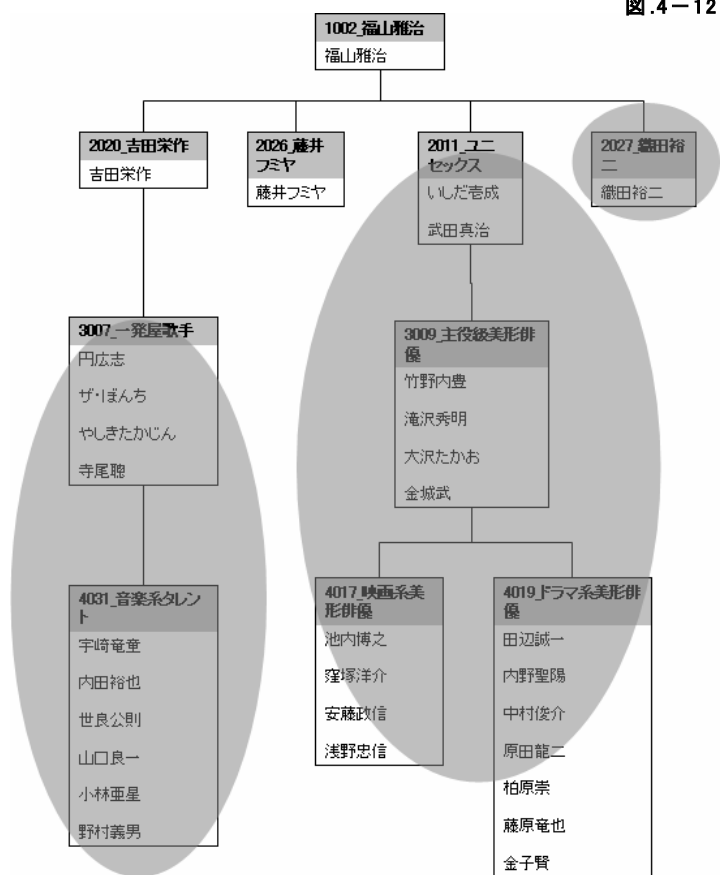


図.4-13

図.4-14

特に注目したいのが、「ユニセックス」クラスター以下の固まりである(図.4-14)。ここには、現在主流となっている俳優のクラスターが繋がっている。そのほとんどがモデル出身であることが知られており、ユニセックス的な俳優から、モデルへとという年代的な流れが見える。

全体から見て左側に位置するのは音楽のイメージが強いタレントである。(図.4-15)単に歌手というよりは、多面的な一部分としての歌手という言い方がふさわしいアイテムが多いのも特徴である。

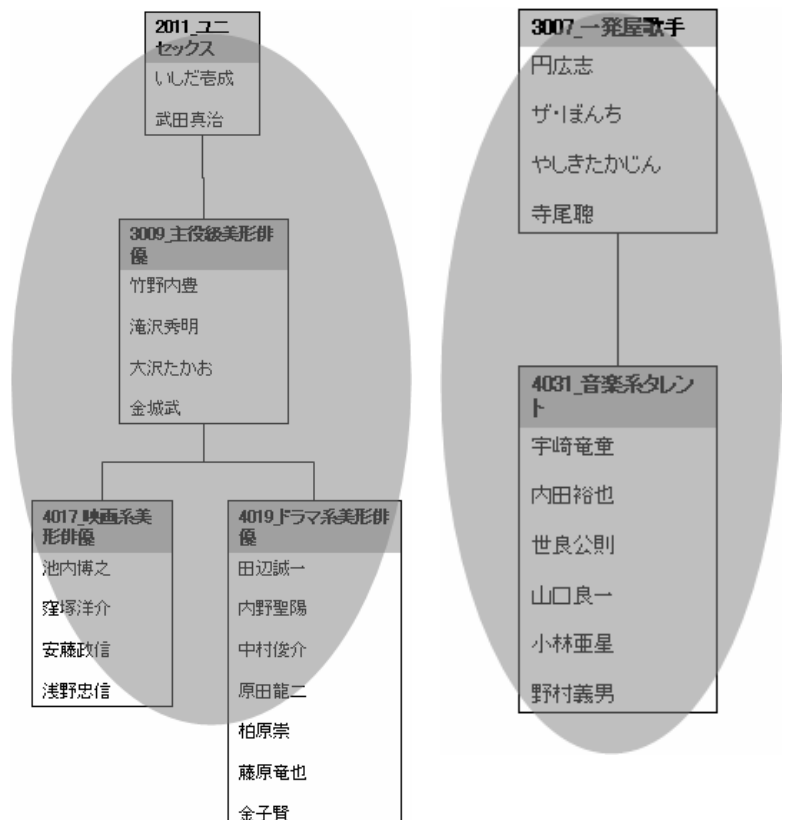


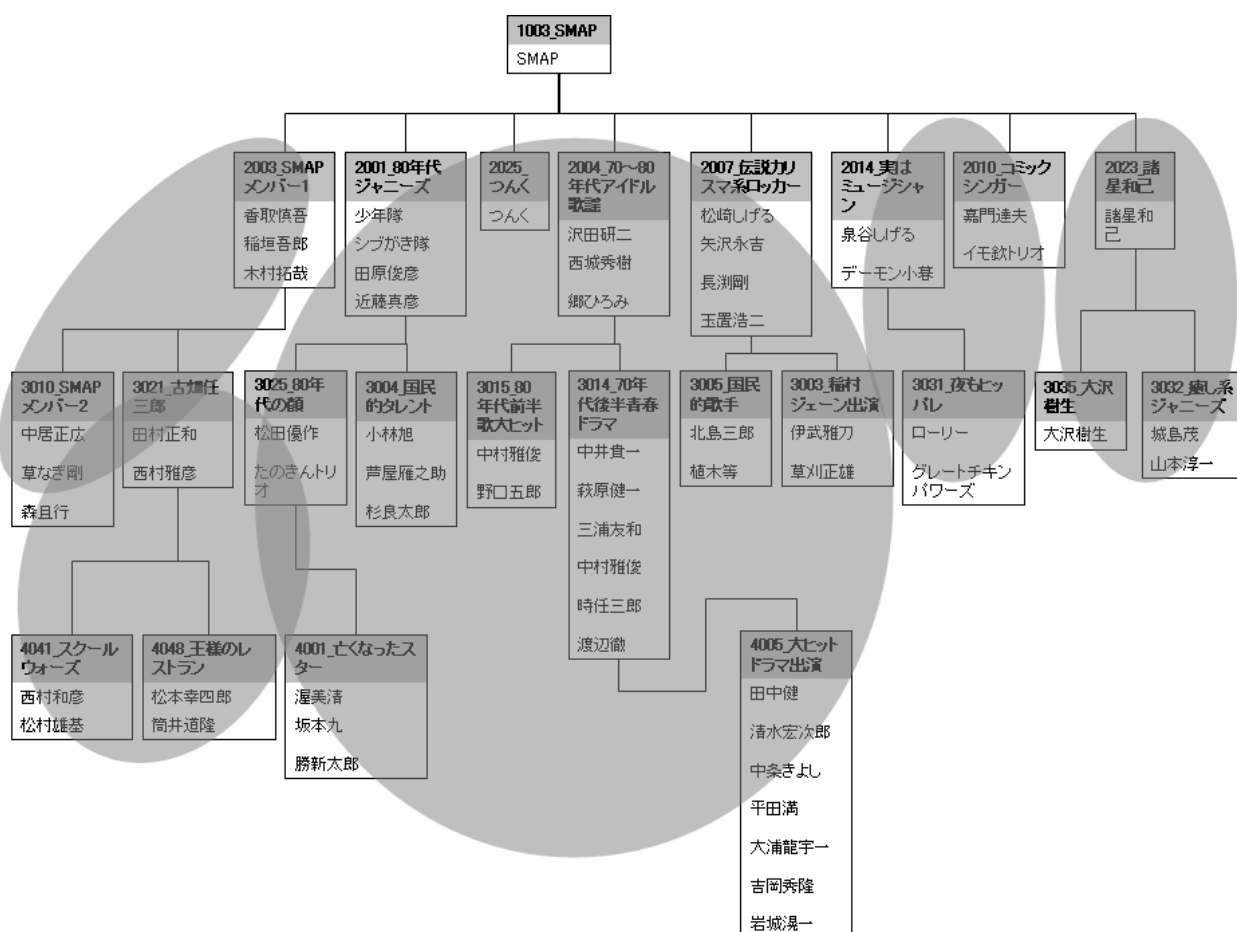
図.4-15



「福山雅治」と単体で繋がっている「織田裕二」は、俳優でありながら歌手としての活動も目立つアイテムであるが、俳優という意味で独立しているのは興味深い。その理由として、「織田裕二」は歌手活動をしているというよりか、自身の出演するドラマの主題歌を歌うという印象が強く、あくまでドラマの完成度を上げるための歌手活動にすぎないということが推測できる。歌手活動をジャンルとしてではなく、俳優の延長線上のものとしてとらえているという点で、「織田裕二」は異質であるといえるだろう。

4-4-3. 領域 3

図.4-16



領域 3 は「SMAP」を中心とした俳優・歌手の領域である。様々なジャンルのアイテムが混在している領域ではあるが、共通するのは国民的なタレントであるということである。よってこの領域は『国民的タレント』領域と名づけた。

最も注目すべきは、「SMAP」がジャニーズタレントとしてではなく、国民的タレントとして認識されている点である。かろうじて右端にジャニーズタレントの領域がある以外に現代のアイドルと呼べるクラスターは存在しない。これはつまり、「SMAP」が現在活躍する他のどのアイドルとも違った認知であるということを示している。『SMAP×SMAP』でコントをしていることがよく引き合いに出されているように、今

までにな活動で「SMAP」はジャニーズという枠を飛び出たはじめての存在であるといえるだろう。80年代にアイドル歌謡が流行し、90年代になるとアイドルとミュージシャンとの差別化が進行した。そして現在、アイドルがひとつのジャンルとして浮き始めた中で、クラスターツリーにおける国民的歌手・俳優との結びつきが非アイドルとしての「SMAP」を象徴している。一方で見逃せないのは、「SMAP」のメンバーそのものにはドラマのクラスター群が繋がっているに過ぎず、ソロとしては国民的存在とまでは至っていないと読み取れる点である。

図.4-17

個別に見ていくと、中心の大きな固まりは「80年代の顔」クラスターや「亡くなったスター」クラスターなどといった、主に70年代～80年代に活躍した俳優・歌手からなっており、特に国民的と呼ぶにふさわしい領域である。(図.4-18)俳優・歌手が混在しているのも、ユーザの中に“過去のスター”といったような認識で共通しているからではないかと想像できる。中には、現在でも変わらず活躍している人もいるが、最も強い印象を残した時期は70年代～80年代にかけてであるという意味で、過去というイメージを持たれやすいのではないかな。

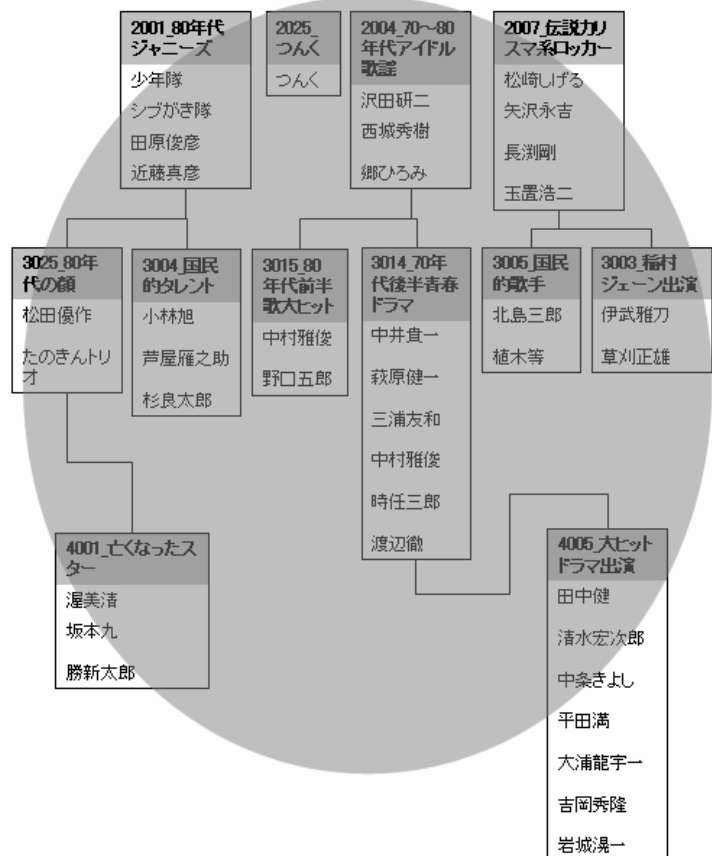
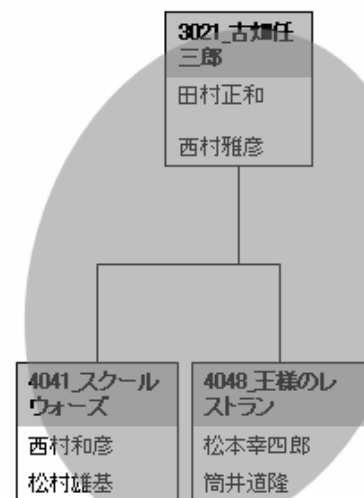


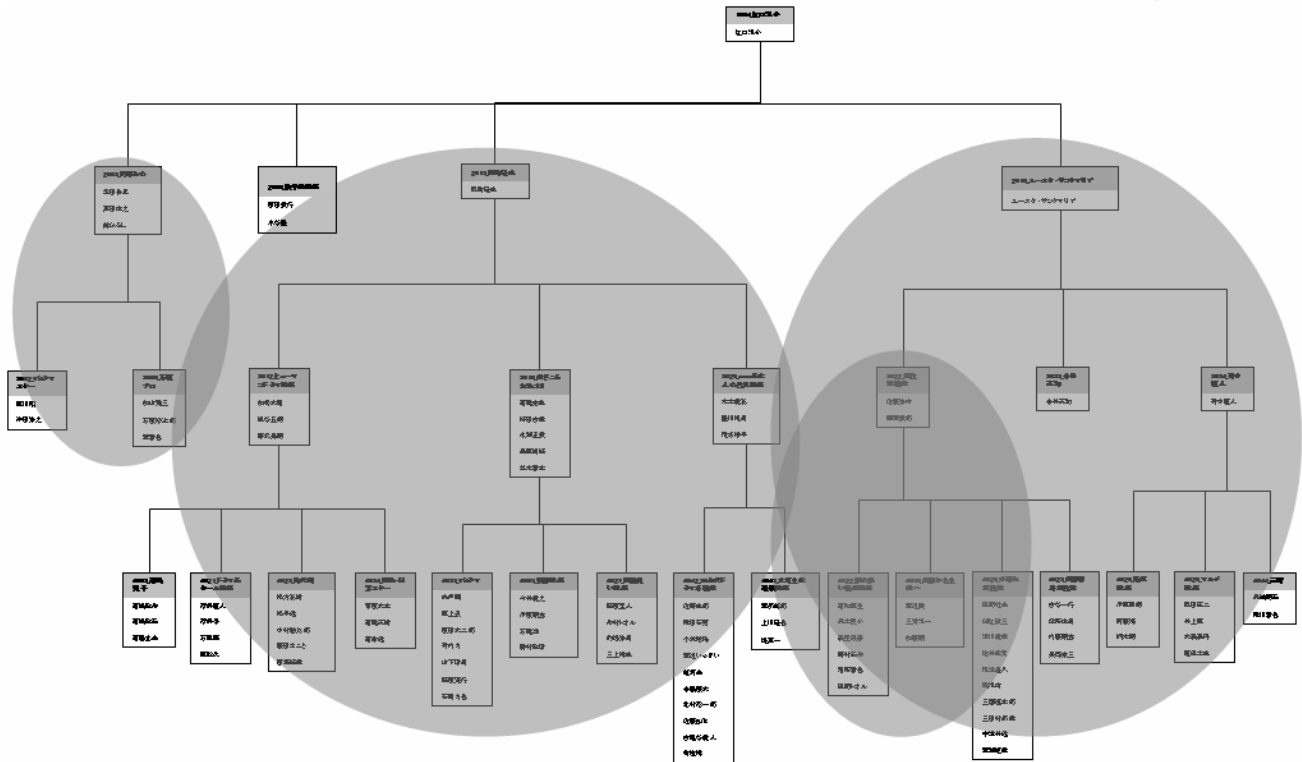
図.4-18

左下の領域は、ドラマの領域である。それぞれヒットしたドラマであるが、それ以上にそのドラマでハマリ役を演じたという意味で共通している。それはつまり、タレントとしてのイメージ以上にドラマの印象が強すぎて、今なおそれを引きずっているとも言え換えられるだろう。



4-4-4. 領域 4

図.4-19



領域4は「江口洋介」を中心とした俳優の巨大な領域である。同様に俳優を中心とした領域 2 との大きな違いは、外見ではなく演技力で語られるアイテムが多いという点である。よってこの領域には『性格俳優』領域と名づけた。

図.4-20

個別に見ると、左端の固まりは「刑事もの」クラスターに繋がる「Vシネマスター」クラスター「石原プロ」クラスターから形成されており、極めて男性的なイメージの俳優という点で共通している。

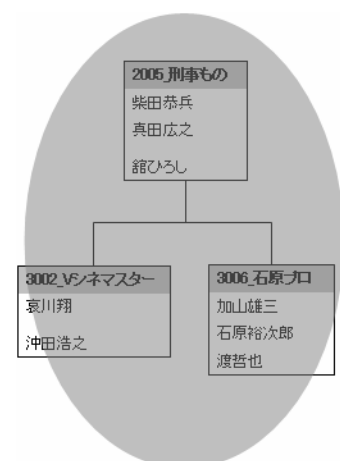
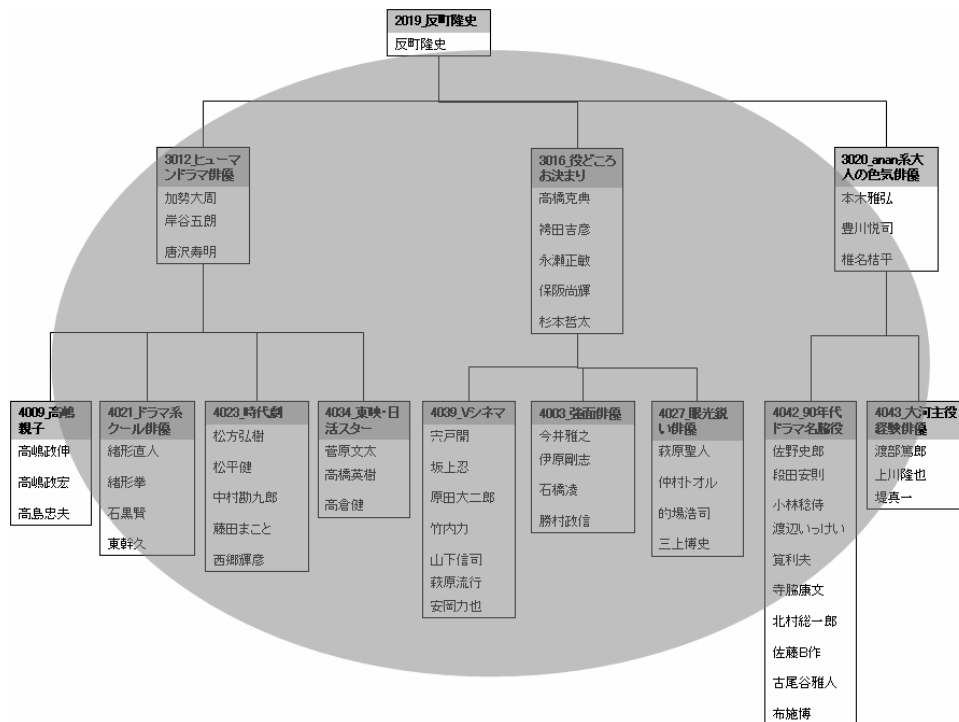


図.4-21

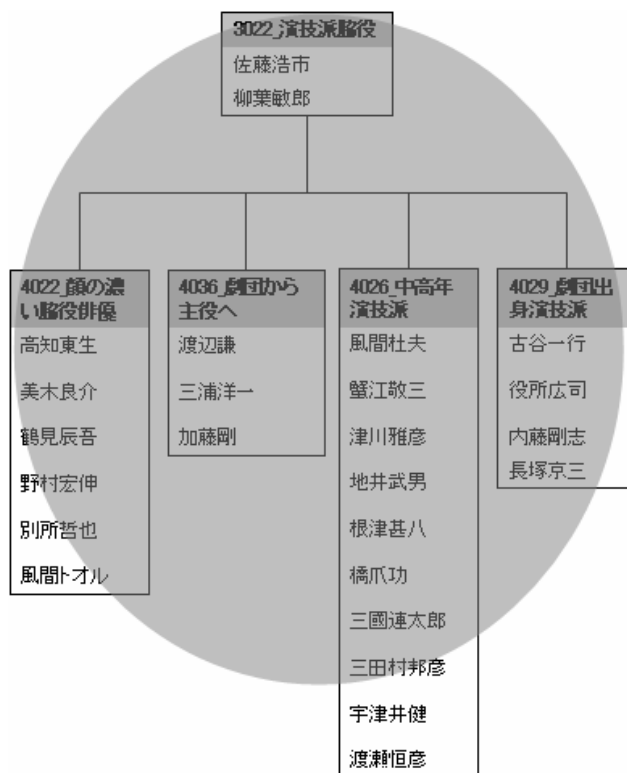


中心の固まりは「反町隆史」から繋がる正統派の性格俳優で構成されている。(図.4-22)「反町隆史」といえば、領域2の方が適切なのではないかとと思われるが、「江口洋介」はもともと『湘南爆走族』で注目され、『ひとつ屋根の下』で人気を得て、最近ではヒューマンドラマにかかせない俳優になってきたという経緯を見れば、納得できる位置であろう。「反町隆史」は不良の役を演じるイメージが強い俳優であるが、最近では『ホットマン』などヒューマンドラマでも活躍しているし、初期に歌手活動を行っていたという点でも共通している。このことから、「反町隆史」がポスト「江口洋介」なのではないかという推測もできるだろう。また、この領域には「時代劇」クラスターや「東映・日活スター」クラスターが存在していることも見逃せない。昔の映画スターがアイドルとは一線を隔していたのは、外見はもとより確かな演技力であったということを示していると言えるだろう。

右端は、「ユースケ・サンタマリア」から繋がる個性派俳優領域であり、ドラマには欠かせない名バイプレイヤーが多く存在している。

図.4-22

「ユースケ・サンタマリア」に繋がる領域に「演技派脇役」クラスターがある。このクラスター以下には、90年代から現在まで活躍する名俳優・名バイプレイヤー多くが存在している。(図.4-23)逆に、領域2においては、このような存在の俳優は入っていないかった。つまり、領域2の俳優が出演しているような、時代を反映し流行を作るドラマと、これらの名脇役は相関が低いということである。これはドラマ業界の低迷に無関係ではないはずだ。外見重視の俳優が中心を担っているということ、ともすればそうせざるを得ない現実には、演技派・名脇役と呼ばれる俳優があまり育っていない現状が反映されていると言えるのではないか。そのような意味で、「ユースケ・サンタマリア」は稀有な存在であるとも解釈できる。



4-4-5. 領域 5

図.4-23

領域 5 は「Kinki Kids」を中心としたジャニーズタレントの領域である。(図.4-24) によってこの領域には『ジャニーズ=アイドル』領域と名づけた。「SMAP」以降にデビューしたグループの全てがこの領域に属している。唯一例外として、「西川貴教」「及川光博」からなる「アイドル系ミュージシャン」クラスターがあるが、これもアイドル性というくくりでみれば、納得できる配置であろう。加えて、「アイドル系ミュージシャン」クラスターの下に「90 年代後半ジャニーズ」クラスターが繋がっていることから、ジャニーズ=アイドルという認識が生まれつつあることも推測できる。

領域 3 の「SMAP」が『国民的タレント』領域のトップに存在するのとはまったく

対照的なこの領域からは、「TOKIO」「V6」「Kinki Kids」「嵐」という「SMAP」以外の現在活躍中のジャニーズタレントはあくまでいまだアイドルとして認知されているということが読み取れる。

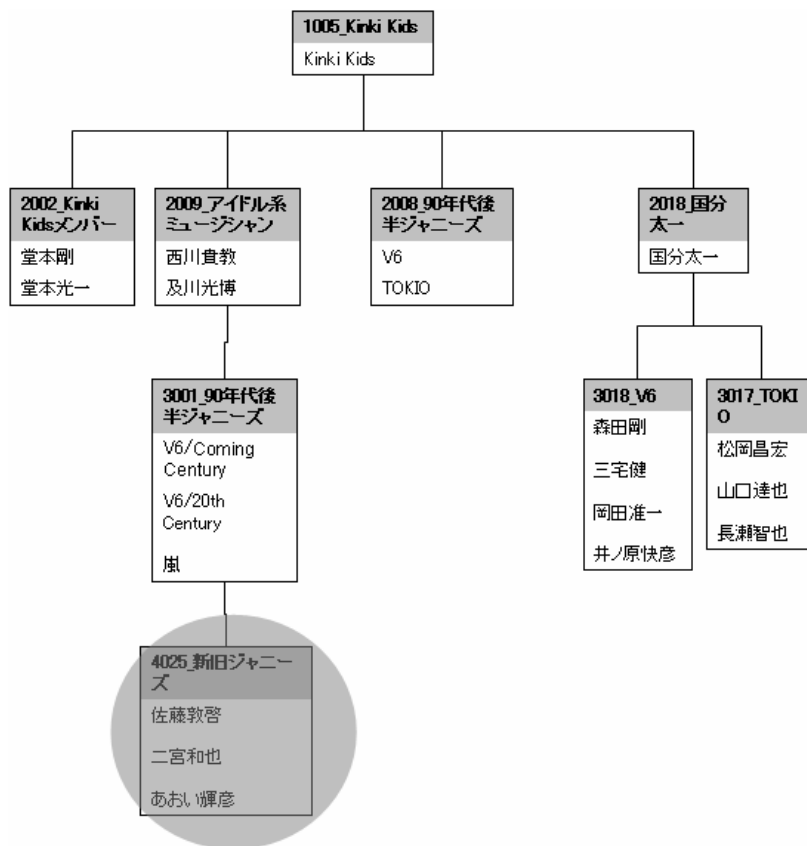
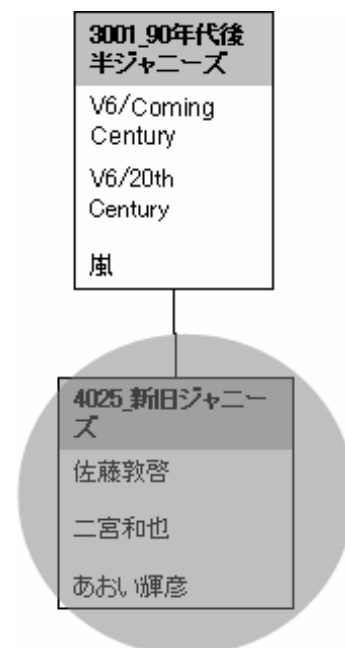


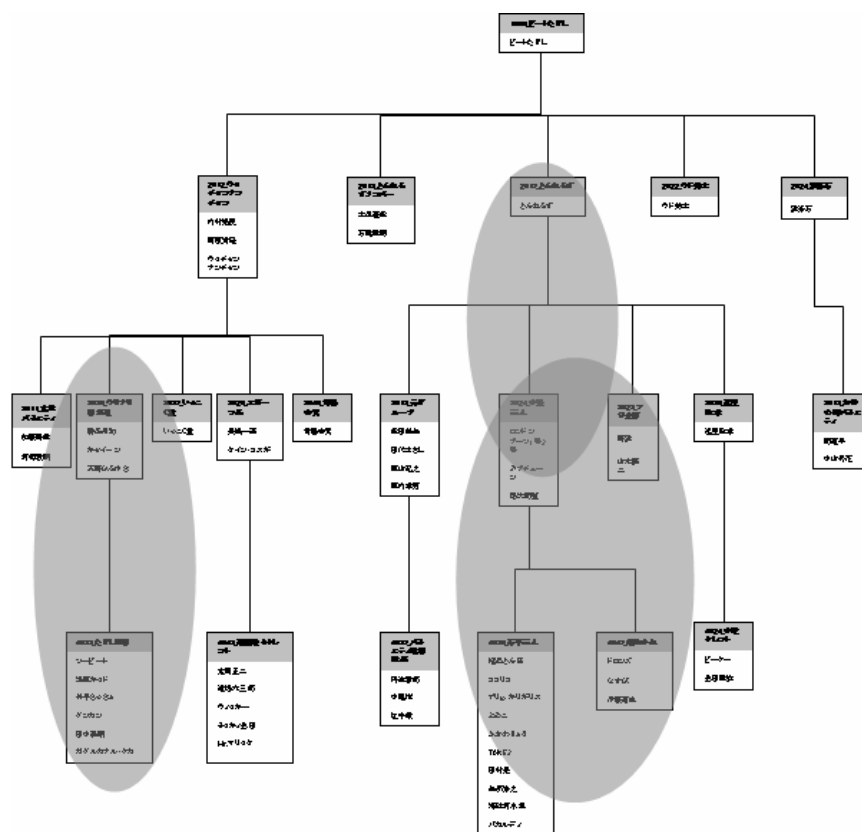
図.4-24

個別に注目したいのは、「90 年代後半ジャニーズ」クラスターに繋がるレイヤー4の「新旧ジャニーズ」クラスターである。(図.4-25)「佐藤敦啓」「二宮和也」「あおい輝彦」から構成されるこのクラスターは、縦の繋がりを重要視するジャニーズファンを象徴している。ジャニーズファンは、ジャニーズタレントを育てる感覚で応援している場合が多く、それは過去から変わらないといわれている。『水戸黄門』で知られる「あおい輝彦」が「ジャニーズ」というジャニーズ事務所の先駆けとなったグループの一員であるということは、年齢層が幅広いジャニーズファンにとって知っていて当然の情報であろう。



4-4-6. 領域 6

图.4-25



領域6は「ビートたけし」を中心としたお笑い・バラエティタレントの領域である。領域1と比べて関東の芸人が多く、お笑いだけに限らず映画出演など多岐にわたる活動の印象も強い。「明石家さんま」を中心とした『ベーシックなお笑い』領域があくまでお笑いをベースに活動しているのとは方向性が違う。「ビートたけし」は言うまでもなく、映画監督として高く評価されていて、だからこそお笑い芸人としての活動がより意味のあるものとしてとらえられる傾向にある。この傾向はこの領域のレイヤー3に属する「中堅芸人」及びレイヤー4に属する「若手芸人」クラスターにも見える。「若手芸人」クラスターは現在ではレイヤー4におさまるところではない活躍を見せているアイテムばかりであるが、活動内容の広さはとどまるところを知らない。飛躍させれば、意図的な自虐的行為つまり仕事としてお笑い芸人を演じている傾向にあると言えるのではないか。この傾向を、私は芸人のアイドル化と捉え、この領域の名前は『アイドル化するお笑い』領域とした。

個別に見れば、「ビートたけし」には「ウッチャンナンチャン」クラスター、「とんねるずメンバー」クラスター、「とんねるず」クラスター、「ウド鈴木」クラスター、「猿岩石」クラスターが繋がっている。

「ウッチャンナンチャン」クラスターに繋がるレイヤー3の「ウリナリ出演組」クラスター及びレイヤー4の「たけし軍団」クラスターは、派閥や大物の番組への出演と言った枠組みで仕切られる印象がつよいクラスターである。(図.4-27)個別に活動はするものの、系統のイメージはユーザに根強く残っていることを示している。

一方、「とんねるず」クラスターに繋がる「中堅芸人」クラスター以下(図.4-28)は、大物が出ている番組と言うよりかは、企画が売りの番組への出演という分け方ができ、より現代的なお笑い芸人のあり方を象徴していると言える。それは同時に、伝統的なお笑いからの脱却をも意味している。

図.4-27



図.4-28

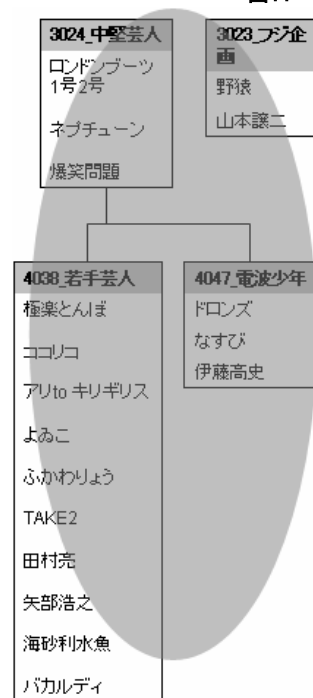
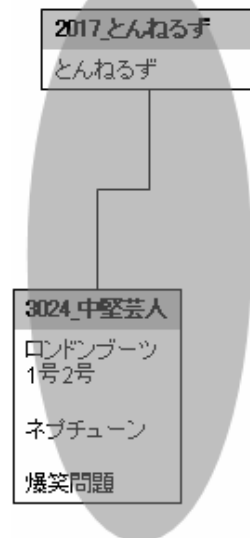


図.4-29

また、「とんねるず」クラスターと「ロンドンブーツ1号2号」「ネプチューン」「爆笑問題」の「中堅芸人」クラスターとの繋がりも注目すべき点である。(図.4-29)「とんねるず」といえば『ねるとん紅鯨団』などでの素人いじりがひとつの特徴であり、「ロンドンブーツ1号2号」や「ネプチューン」も同様の番組が存在する。つまり、「中堅芸人」クラスターがその流れを汲んでいるということがクラスターツリーによって示されたということである。

また、この繋がりはもちろん領域全体に共通する要素として、領域1『ベーシックなお笑い』領域が19,20時代の出演を中心としているのに対して、21時代以降の番組への出演が多いことがあげられるだろう。



第 5 章

総括と展望

第5章 総括と展望

クラスターツリーにおける6つの領域は、それぞれに『ベーシックなお笑い』領域、『ジャンルの2面性・外見重視』領域、『国民的タレント』領域、『性格俳優』領域、『ジャニーズ＝アイドル』領域、『アイドル化するお笑い』領域として、ジャンル及び活動の状況に基づいて解釈することができた。それは自明性の再確認という作業でありながら、同時に新たな発見に繋がる作業でもあった。

例えば、特に俳優についてクラスター及び領域の区切りが困難であった理由として、基となるユーザの認知構造がその部分において特に曖昧であるという仮説がたてられる。俳優は役を演じるのが仕事であるから、ともすれば俳優自身の名前などユーザ(視聴者)は興味を持たない可能性も十分ある。データの不可思議な繋がりやばらつきが顕著であったのが、俳優の中でも主役級・美形ではなく、脇役・バイプレイヤーとされるアイテムであることは、仮説の裏づけのひとつになりうるだろう。単なる客観的データや主観的なランク付けではこの曖昧さを発見することはできなかったに違いない。間主観的な分析によって、はじめて意味を持つ無意味さが、最も興味深い発見のひとつといえる。

しかしながら、これらの分析に使用したデータは2000年当時のものである。現在と比較すればレイヤーを移動するアイテム・クラスターの存在はもちろん、クラスターの崩壊や結合、新たなアイテム・クラスターの出現は当然だろうし、様々な変化想像ができる。例えば、2003年『DATA WATCH』の“究極のタレント好感度 徹底調査”を参考にすると、1位は福山雅治だが、2位はオダギリジョー、3位は妻夫木聡となっており、2000年の時点ではレイヤー4にも入ってきていないタレントが上位に急浮上している。今回作ったクラスターツリーに当てはめるなら、オダギリジョーは「ユニセックス」クラスター周辺の美形俳優が最も近い気がするが、少々異質なイメージもあるだろうし、妻夫木聡に至っては『ジャンルの2面性・外見重視』領域と『性格俳優クラスター』領域のどちらにも当てはまりそうで当てはまらないような気がする。お笑い芸人については、今現在“お笑いブーム”で若手がどんどん出てきては消えてゆくという流れが出来つつあるが、レイヤー2に属する「猿岩石」の今の状況を見ると、認知度が急激に上がると下がるのも早いという法則が見えてくるだろう。領域の中心をも担うジャニーズタレントについては、w-indsのような非ジャニーズアイドルの位置づけがどこなのかが探れれば男性アイドルの構図が描けるかもしれない。

2000年の認知構造分析を通して、ユーザの中にある「俳優」「お笑い」「ジャニーズ」という大きな分類が可視化することができた。この分類は今なお大きくは変化していないと仮定すれば、クラスターツリーは過去・現在における自明性の再確認及び未来における発見の手がかりとして使用することができるだろう。仮に、ユーザの認知が大きく変わっていたとすれば描かれる移動の軌跡のベースとしての意味を持つに違いない。

謝辞

「男性タレント」の認知構造分析をはじめたのは 4 年の春学期でしたが、卒業論文としてまとめることを決めたのはもっとずっと後のことだったので、論文文化にあたっては熊坂研究室の方々に本当に本当にお世話になりました。研究室へ行くたびにアドバイスやありがたいお言葉を下さった荒木秀さん、伊藤貴一さんをはじめ修士・院生の方々、共にデータマイニングに取り組んだゼミの方々、お世話になりました。特に、小野田哲弥さんには、ゼミでも卒業論文でもこれ以上ないくらいにご迷惑をおかけしました。おかげさまで、何とか卒業論文として体裁を整えることが出来ました。データマイニングの意味もわかっていなかった私をここまで連れてきてくださったのは小野田さんはじめ、ひとえに皆さまのおかげです。そして、最後に熊坂賢次先生。いつもあたたかく(ときには厳しく)見守っていただき、ありがとうございました。

参考書籍

- [1] Berry, Michael J. A. and Linoff, Gordon S. (1997) : *Data Mining Techniques: For Marketing, Sales, and Customer Support*, John Wiley & Sons, Inc., New York.
- [2] Bigus, Joseph P. (1996) : *Data Mining with Neural Networks*, The McGraw-Hill Companies, New York.
- [3] Bourdieu, Pierre (1979) : *La distinction. Critique sociale du judgement*, Minuit, Paris.
- [4] Rogers, Everett M. (2003) : *Diffusion of Innovations* 5th ed., The Free Press, New York.
- [5] SPSS (1999) : *Data Mining with Confidence*, SPSS Inc., Chicago.
- [6] 鮑戸弘(1987) : 『社会調査ハンドブック』, 日本経済新聞社.
- [7] 飯尾健太郎(2004) : 『imapcomics:01』, 慶應義塾大学熊坂研究室.
- [8] 石田陽子(1999) : 『TVドラマオールファイル 90's民放版』, アスペクト.
- [9] 井庭崇・福原義久(1998) : 『複雑系入門』, NTT 出版.
- [10] WATER STUDIO&EP-engine(2004) : 『ブランドの達人 - 3 万人のブランドデータバンガー』, ソフトバンクパブリッシング.
- [11] 大澤幸生(2003) : 『チャンス発見の情報技術 - ポストデータマイニング時代の意思決定支援 -』, 東京電機大学出版局.
- [12] 大高利夫(1999) : 『テレビ・タレント人名事典』第 4 版, 日外アソシエーツ.
- [13] Kermanshahi, Bahman (1999) : 『ニューラルネットワークの設計と応用』, 昭晃堂.
- [14] 小松克彦(1999) : 『That's テレビドラマ90's』, ダイアモンド社.
- [15] 坂井直樹・WATER STUDIO&EP-engine(2002) : 『EMOTIONAL PROGRAM BIBLE - 市場分析、ブランド開発のためのマーケティング・メソッド -』, 英治出版.
- [16] 篠崎信雄(1994) : 『統計解析入門』, サイエンス社.
- [17] 中村豊 (2004) : 『メンタルマップの現象学』, 古今書院.
- [18] 武藤佳恭(1996) : 『ニューラルコンピューティング』, コロナ社.
- [19] 徳高平蔵・岸田悟・藤村喜久郎(1999) : 『自己組織化マップの応用』, 海文堂.

- [20] 豊田秀樹(2001)：『金鉱を掘り当てる統計学』，講談社．
- [21] 福田剛志・森本康彦・徳山豪(2001)：『データサイエンスシリーズ③データマイニング』，共立出版．
- [22] 宮台真司・石原英樹・大塚明子(1993)：『サブカルチャー神話解体－少女・音楽・マンガ・性の30年とコミュニケーションの現在－』，PARCO．

参考文献

- [23] Okazaki, Naoaki and Ohsawa, Yukio (2003) : “Polaris: An Integrated Data Miner for Chance Discovery”, In Proceedings of The Third International Workshop on Chance Discovery and Its Management, Crete, Greece.
- [24] Ohsawa, Yukio (2003) : “KeyGraph: Visualized Structure among Event Clusters Ohsawa, Y. and McBurney eds”, Chance Discovery, Springer Verlag, pp.262-275.
- [25] 伊藤貴一(2004)：「自己組織化マップを使った相関ルールのフィルタリング手法の提案」，『第3回シナリオ創発ワークショップ報告要旨集』，pp.31～36．
- [26] 小野田哲弥(2003)：「マンガ事象におけるサブカルチャーの領域規定－20代・30代読者のマンガ家認知情報に基づく構造分析－」．『マンガ研究 vol.4』，日本マンガ学会，pp.190-225．
- [27] 小野田哲弥(2004)：「多様化した文化事象の構造把握に向けた手法開発－インターネット社会調査と自己組織化マップの援用－」，『第38回数理社会学会大会研究報告要旨集』，pp.66～69．
- [28] 小野田哲弥・荒井大樹・熊坂賢次(2003)：「タイトル認知情報に基づくテレビゲーム事象の実証的解釈」，『2003 テレビゲーム産業白書』，メディアクリエイト，pp.188-212．
- [29] 小野田哲弥・中野友香・伊藤江里・和田妙子(2003)：「服飾ブランドの事象構造分析－Kohonen ネットワークを応用した学際研究モデルの開発－」，SPSS OpenHouse ポスターセッション 展示論文，<http://www.spss.co.jp/ronbun/2003pos08.pdf>．
- [30] 熊坂賢次(1996)：「拡散するハビトゥス－新しいライフスタイルを求めて－」，『知の風景－インフォスケープの展開－』，日科技連，pp.52-63．
- [31] 熊坂賢次(1994)：「豊かな情報社会」，『インフォスケープ－情報と環境の新たな地平－』，ジャストシステム，pp.29-76．

参考資料

- [32] 「究極のタレント好感度 徹底調査」，『DATA WATCH』，no.2 2003 秋号，カルチュア・コンビニエンス・クラブ，2003．
- [33] 「嫌いな男ランキング」，『an・an』，2004 年 4 月 14 日号 pp.82-83，マガジンハウス，2004．
- [34] 「好きな男ランキング」，『an・an』，2004 年 4 月 14 日号 pp.77-81，マガジンハウス，2004．